

令和元年度(2019)第2回出雲市障がい者施策推進協議会次第

日時：令和元年12月18日(水)

14:00～16:00

会場：市役所本庁舎3階 庁議室

1 開会

2 健康福祉部長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議 事

(1) 障がい者ニーズ把握等のアンケート調査結果 資料1 資料2 資料3

- ①移動支援事業
- ②障がい者福祉タクシー制度
- ③日中一時支援事業
- ④地域生活支援拠点整備

(2) 地域生活支援拠点整備にかかる諸準備 資料4

5 その他

次回開催予定

○第3回 令和2年(2020)3月11日(水) 14時～16時

6 閉会

出雲市障がい者施策推進協議会委員

平成29年(2017)4月1日～令和2年(2020)3月31日 (3年間)

50音順・敬称略

No.	氏 名	職名等	備 考
1	芦矢 京子	島根県重症心身障がい児(者)を守る会副会長・事務局長	
2	石飛 丈和	出雲市身障者福祉協会理事	
3	石橋 美恵子	島根県東部発達障害者支援センターウィッシュセンター長	
4	和泉 積	出雲市身障者福祉協会理事	
5	糸原 直彦	出雲商工会議所専務理事	
6	井上 明夫	ふあっと施設長	
7	大野 美和	出雲公共職業安定所統括職業指導官	平成31年4月～
8	尾添 純子	出雲市子ども未来部子ども政策課子ども家庭相談室長	
9	勝部 寿子	こころの森会員	
10	金川 克則	島根県立出雲養護学校校長	
11	児玉 浩二	出雲市教育委員会児童生徒支援課長	平成31年4月～
12	児玉 信広	島根県健康福祉部障がい福祉課長	令和元年7月～
13	佐貫 文紀	ふたば園長	平成30年4月～
14	塩飽 邦憲	島根大学名誉教授 島根大学医学部特任教授	会長
15	新宮 直行	出雲市社会福祉協議会事務局次長	
16	新藤 優子	高次脳機能障がいデイケアきらり施設長	副会長
17	須谷 生男	出雲医師会理事	
18	高木 加津枝	出雲障がい者就業・生活支援センターリーフ所長	
19	永岡 秀之	島根県立こころの医療センター地域生活支援室長	
20	柳樂 紀美子	出雲市民生委員児童委員協議会副会長	
21	錦織 正二	出雲成年後見センター会長	
22	原 広治	島根大学大学院教育学研究科教授	
23	藤川 祐介	いちごの会会長	
24	牧野 由美子	島根県出雲保健所長	
25	山本 順久	ハートピア出雲施設長	
26	渡部 幸義	出雲サンホーム副施設長	平成31年2月～

地域のニーズに基づく 効果的な地域生活支援事業実施のための 実態把握事業 アンケート結果概要

資料 1

令和元年（2019）12月
出雲市 福祉推進課
（調査委託先：株式会社エブリプラン）

目次

スライド番号

調査の概要	2
利用者基本情報	3
1. 移動支援事業のアンケート結果	5
2. 障がい者福祉タクシーのアンケート結果	11
3. 日中一時支援事業のアンケート結果	18
4. 地域生活支援拠点整備のアンケート結果	25

1

調査の概要

調査目的	① 移動支援事業、障がい者福祉タクシー制度の利用実態の把握 ② 日中一時支援事業の利用実態の把握 ③ 地域生活支援拠点整備のためのニーズ把握 ④ 「第6 期障がい福祉計画・第2 期障がい児福祉計画」のニーズ把握				
調査方法	直接記入式の調査票を郵送により発送・回収（委託業者により実施）				
調査実施時期	令和元年（2019）9月9日（月）～10月11日（金）				
調査対象 質問数 回答状況	対象	質問数	配布数	回答状況	回答率
	利用者（当事者） ※サービス利用者、障がい者手帳所持者から無作為抽出	42問	1000人	630人	63.0%
	市内法人	9問	全69法人	64法人	92.8%
	市内サービス提供事業所	31問	全149事業所	124事業所	83.2%

利用者基本情報（1）

回答者数：630人

■ アンケート記入者

	本人	本人以外	回答なし
回答数（人）	254	330	46
比率（％）	40.3%	52.4%	7.3%

■ 性別

	男性	女性	回答なし
回答数（人）	333	291	6
比率（％）	52.9%	46.2%	1.0%

■ 年齢（歳）

	<10	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	回答なし
回答数（人）	50	102	77	63	59	51	73	80	52	19	4
比率（％）	7.9%	16.2%	12.2%	10.0%	9.4%	8.1%	11.6%	12.7%	8.3%	3.0%	0.6%

■ 居住地域

	出雲地域	平田地域	佐田地域	多伎地域	湖陵地域	大社地域	斐川地域	出雲市外	回答なし
回答数（人）	387	75	10	8	24	45	75	1	5
比率（％）	61.4%	11.9%	1.6%	1.3%	3.8%	7.1%	11.9%	0.2%	0.8%

■ 生活している場所

	自宅	入所施設	グループホーム	医療機関	その他	回答なし
回答数（人）	516	26	59	6	17	6
比率（％）	81.9%	4.1%	9.4%	1.0%	2.7%	1.0%

3

利用者基本情報（2）

回答者数：630人

■ 障がい者手帳の所持状況

● 身体障がい者手帳

	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	持っていない	回答なし
回答数（人）	134	79	31	47	10	13	162	154
比率（％）	21.3%	12.5%	4.9%	7.5%	1.6%	2.1%	25.7%	24.4%

● 療育手帳

	A	B	持っていない	回答なし
回答数（人）	160	122	191	157
比率（％）	25.4%	19.4%	30.3%	24.9%

● 精神障がい者保健福祉手帳

	1 級	2 級	3 級	持っていない	回答なし
回答数（人）	18	48	11	308	245
比率（％）	2.9%	7.6%	1.7%	48.9%	38.9%

4

1. 移動支援事業のアンケート結果

～調査目的～

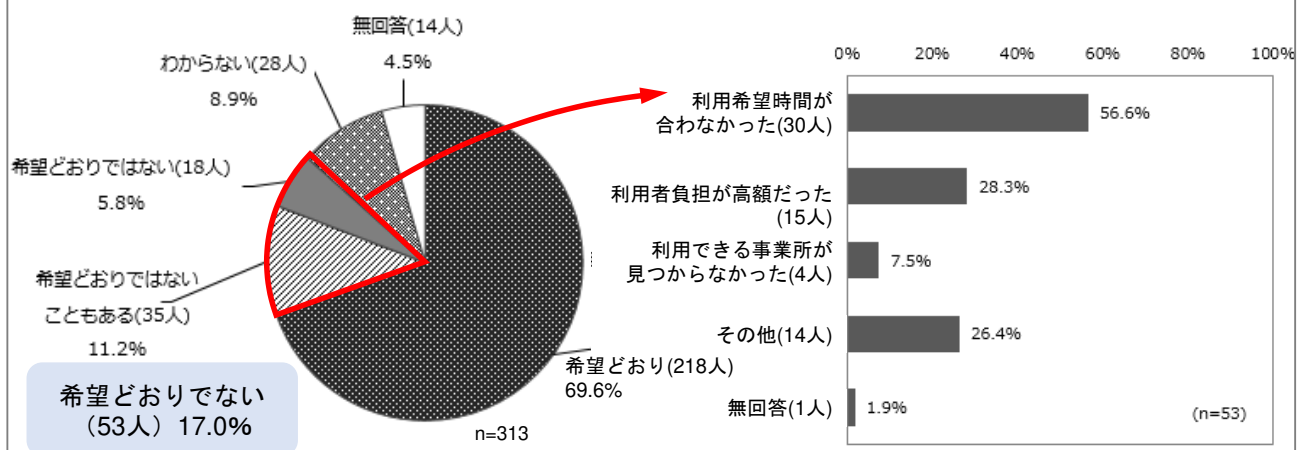
- 1 利用者ニーズと事業所の実態把握
- 2 支給決定者で、利用実績がない場合の実態把握
- 3 特別支援学校の通学支援の実態把握

5

1. 移動支援事業のアンケート結果

満足度（利用者）

〔問24〕 希望どおり利用できていますか。 希望どおりでない場合は、その理由。



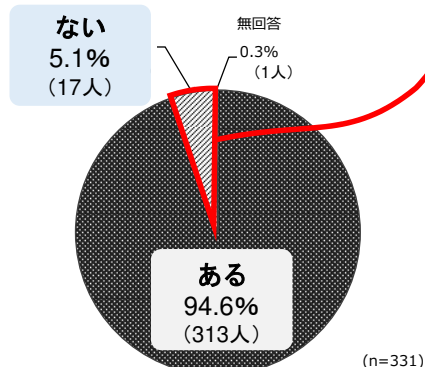
- 利用回数が希望どおりと回答した人218人（69.6%）
- 利用回数が希望どおりでないと回答した人53人（17.0%）の主な理由
 - ✓ 「利用希望時間があわなかった」（56.6%、30人）
 - ✓ 「利用者負担が高額だった」（28.3%、15人）

6

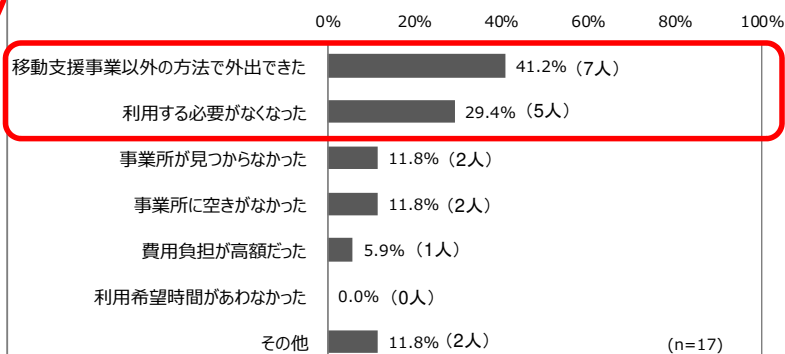
1. 移動支援事業のアンケート結果

支給決定者で利用実績がない場合の実態（利用者）

【問18】あなたは、移動支援事業を利用したことがありますか。



【問18】移動支援事業を利用しなかった理由は何ですか。（複数回答）



- 利用実績がない人は17人（支給決定者331人中5.1%）
- 居住地域による違いはない
- 利用しなかった主な理由
 - ✓ 「移動支援事業以外の方法で外出できた」（41.2%、7人）
 - ✓ 「利用する必要がなくなった」（29.4%、5人）

1. 移動支援事業のアンケート結果

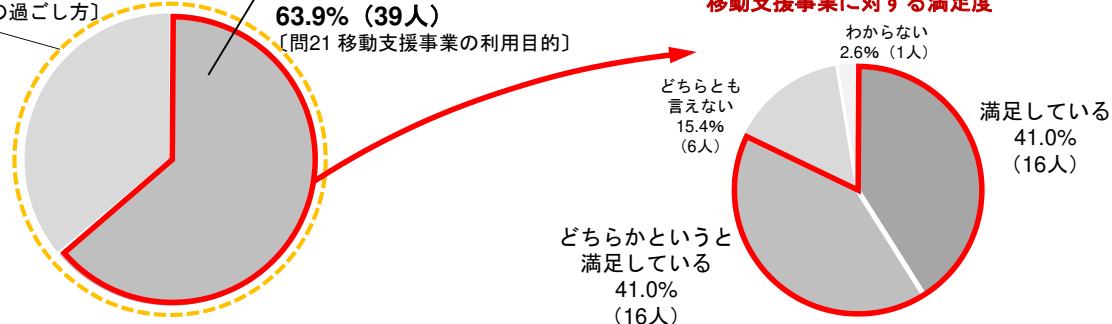
特別支援学校の通学支援（利用者）

【問21】移動支援事業を利用して特別支援学校に通っている人の【問26】移動支援事業の満足度

特別支援学校に通っている人 61人
【問10 日中の過ごし方】

移動支援事業を利用して特別支援学校に通っている人 63.9% (39人)
【問21 移動支援事業の利用目的】

移動支援事業を利用して特別支援学校に通っている人の移動支援事業に対する満足度

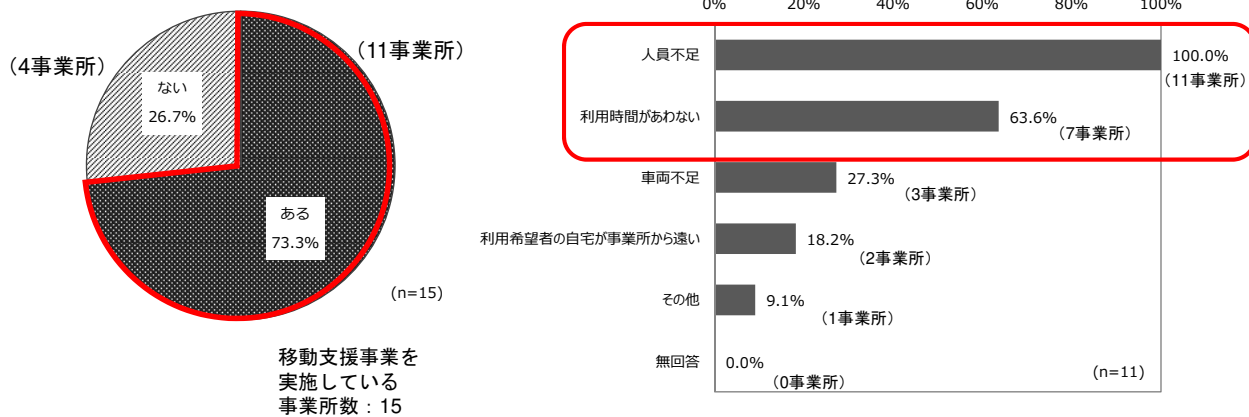


- 日中の過ごし方で「特別支援学校に通っている」と回答した人 61人のうち、移動支援事業を利用して特別支援学校に通っている人は39人（63.9%）
- 移動支援事業を利用して特別支援学校に通っている人の移動支援事業に対する満足度
 - ✓ 「十分満足している」（16人）
 - ✓ 「どちらかという満足している」（16人）計 82.0%

1. 移動支援事業のアンケート結果

利用相談に対応できなかった理由（事業所）

【問19】支給決定者からの利用相談に対応できなかったことがありますか。
断った理由は何ですか（複数回答）。



- 利用相談に対応できなかった主な理由
 - ✓「人員不足」（100%、11事業所）
 - ✓「利用時間があわない」（63.6%、7事業所）

9

1. 移動支援事業のアンケート結果

まとめ

利用者

- 特別支援学校の通学支援に関しては、満足している人が多い。
- 利用回数が希望どおりでないと回答した人の主な理由は「利用希望時間があわなかった」。
- 支給決定者で利用しなかった主な理由は「移動支援事業以外の方法で外出できた」「利用する必要がなくなった」であった。

事業所

- 利用相談に対応できなかった理由として「人員不足」、「利用時間帯が重なること」があげられている。

2. 障がい者福祉タクシーのアンケート結果と交付実績

～調査目的～
利用者ニーズと事業所の実態把握

●障がい者福祉タクシー券の交付対象者（①②は該当必須、③はいずれかに該当）

- ①在宅生活者であること（施設入所者、3か月以上の入院は非該当）
- ②障がい者本人及び配偶者の住民税が非課税または生活保護世帯
- ③次のいずれかに該当する場合
 - ・障がい者手帳を所持（身障1,2級、療育A,B、精神1,2級のいずれか）
 - ・要介護3～5 ※車いす券種(3~5)、ストレッチャー券種(4,5)を交付
 - ・医師の意見書を提出 ※手帳や要介護に該当しない場合、車いす・ストレッチャー券種に限り交付

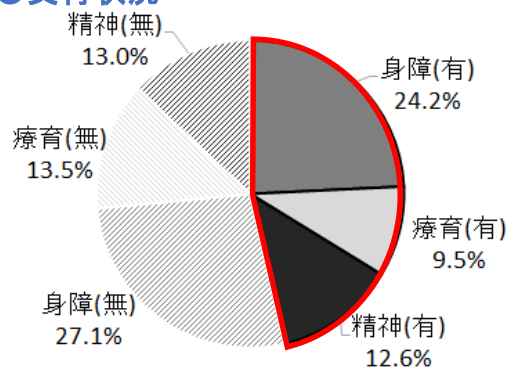
11

2. 障がい者福祉タクシー制度の交付実績

出雲市 障がい者福祉タクシー券交付状況

出雲市内 交付対象者 ※令和元年度住民税非課税、R元.10.31時点在宅かつ手帳所持
※H30.11～R元.10交付実績を対象

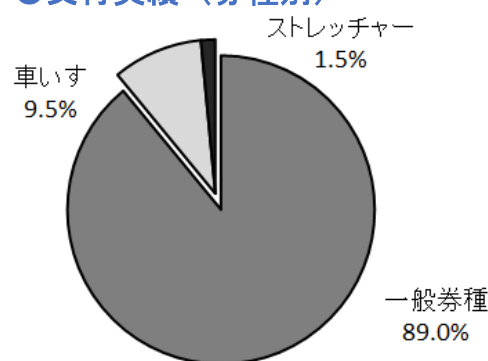
●交付状況



交付あり
46.4%
(1,791人)

交付なし
53.6%
(2,072人)

●交付実績（券種別）

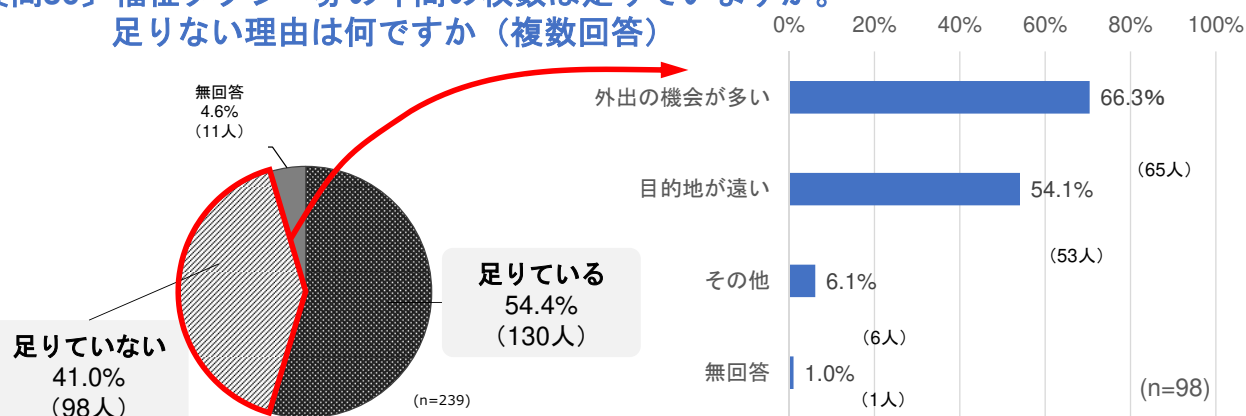


- 出雲市在住手帳所持者9,500人(R元.10.31時点)中、交付対象の該当者は3,863人
- 障がい者福祉タクシー券の交付を受けている人は46.4%
- 交付ありの肢体不自由1,2級の障がい者(車いす、ストレッチャー選択可) 365人中、197人は「一般」、146人は「車いす」、22人は「ストレッチャー」券種を交付
- 交付したタクシー券使用率は、近年61~63%を推移

12

福祉タクシー券の枚数の過不足（利用者）

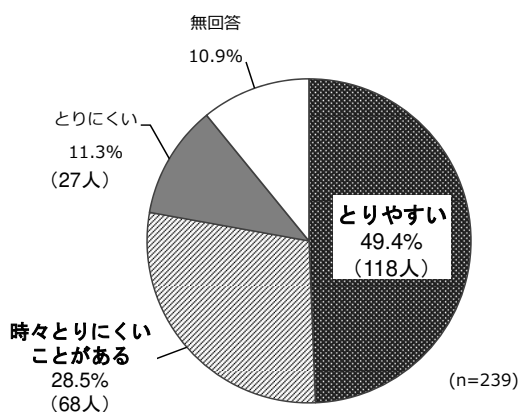
〔問30〕福祉タクシー券の年間の枚数は足りていますか。
足りない理由は何ですか（複数回答）



- 福祉タクシー券は「足りている」人が「足りていない」人より多かった
- 自由記述において、枚数を増やしてほしいという要望も多かった（要望件数 29）
- 足りない理由（主なもの）
 - ✓ 「外出の機会が多い」（66.3%、65人）
 - ✓ 「目的地が遠い」（54.1%、53人）
（利用者の居住地域による違いなし）

タクシーの予約（利用者）

〔問31〕（2）タクシーの予約は
とりやすいですか



福祉タクシー券の枚数の過不足（問30）と
福祉タクシー券の種類の関係

	足りている	足りていない	回答なし	合計
全体	130	98	11	239
福祉タクシー券の種類（問29）				
一般用	113	68	7	188
一般用（視覚障がい）	4	4	0	8
車いす用	9	23	1	33
ストレッチャー用	4	1	0	5
回答なし	0	2	3	5

予約のとりやすさ（問31）と
福祉タクシー券の種類の関係

	とりやすい	時々とりにくい ことがある	とりにくい	回答なし	合計
全体	118	68	27	26	239
福祉タクシー券の種類（問29）					
一般用	97	48	22	21	188
一般用（視覚障がい）	2	4	2	0	8
車いす用	15	13	2	3	33
ストレッチャー用	3	2	0	0	5
回答なし	1	1	1	2	5

- タクシーの予約のとりやすさに関し、居住地域や障がいの程度による違いなし
- 車いす用のタクシー券を持っている人
 - ✓ 福祉タクシー券の枚数が「足りていない」と回答している比率が高い
 - ✓ 予約について、一般用に比べて「時々とりにくいことがある」という回答の比率が高い

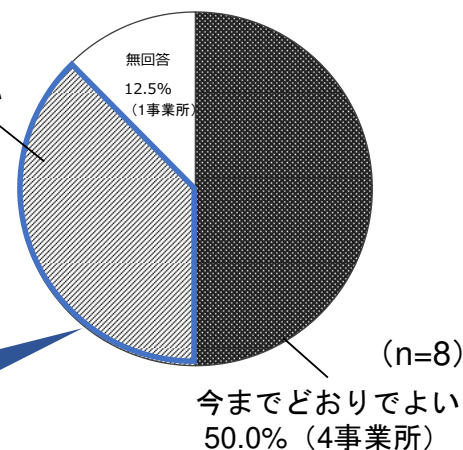
車いす用タクシー券の利用（事業所）

〔事業所 問20〕 現在、車いす用の利用券では一般のタクシーは利用できません。
このことについて、考えをお聞かせください。

一般用も使用できる
ようにしたほうがよい
37.5%（3事業所）

（回答理由より抜粋）

- 事業所での受け入れが難しい時に
一般タクシーへの協力が必要だと思います。
- 乗れるタクシーの台数が増えると
利用者様も困ることが少なくなるのでは。
（車椅子の方で）移乗可の方だと一般タクシーが
使えると良いのではないのでしょうか。



障がい者福祉タクシー事業所向けアンケート（事業所）

（H31.4実施）障がい者福祉タクシー制度 契約28事業所向けアンケート結果

●所有タクシー台数、初乗り運賃、交付状況と使用率

		一般	車いす	ストレッチャー	合計	
タクシー台数 (全28事業所合計)	ジャンボ・大型	39	3	7	49	(台)
	中型	87	2	0	89	(台)
	小型・軽	172	41	3	216	(台)
	合計	298	46	10	354	(台)
初乗り 運賃	一般法人(13事業所)	610 or 650	610～3,090	700～4,060		(円)
	福祉事業所(7事業所)	200～610	100～610	200		(円)
	個人事業所(8事業所)	490	490～680	680		(円)

・法人の場合、貸切運賃を要する場合は高額だが、それ以外は一般車両と同一料金
・車いす、ストレッチャーでは運賃の他、
迎車料や介添料がかかる場合がある

●予約の取りやすさ

（車いす・ストレッチャー対応車両がある21事業所）

事前予約 可		21	当日予約 可		16
不可		0	不可		1
希望通り事前予約可能		7	希望通り当日予約可能		1
予約困難 (複数回答可)	運転手不足	10	予約困難 (複数回答可)	運転手不足	10
	車両不足	6		車両不足	9
	利用時間帯の集中	10		利用時間帯の集中	12

福祉事業所に限らず、法人、個人事業所においても、車両や運転手不足により予約が難しい

まとめ

交付状況	● 交付可能な対象者のうち約半数が交付を受けていない ● 一般・車いす・ストレッチャー用の券種が選べる肢体不自由の障がい者の場合、約半数は一般用の交付を受けている ● タクシー券の使用率は約60%
利用者	● 福祉タクシー券の過不足では、意見が分かれている ● 車いす用の福祉タクシー券で枚数の不足、予約の取りにくさの回答が多い
事業所	● 車いす用の福祉タクシー券での一般タクシーの利用に関しては、意見が分かれている
タクシー制度 契約事業所	● 車いす、ストレッチャー用車両は、運転手や専用車両不足、利用時間帯の集中により予約が取りにくい

3. 日中一時支援事業の アンケート結果

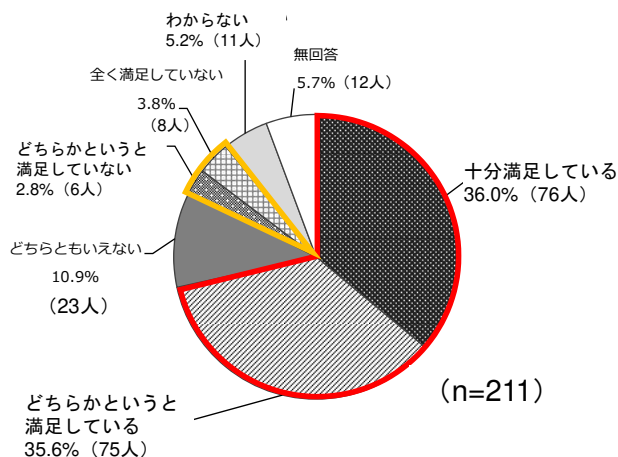
～調査目的～

- 1 短時間利用が多いため、適正な給付費算定時間及び給付額について検討
- 2 児童保護者等から、学校修学時間の利用の問い合わせがあることによる実態把握

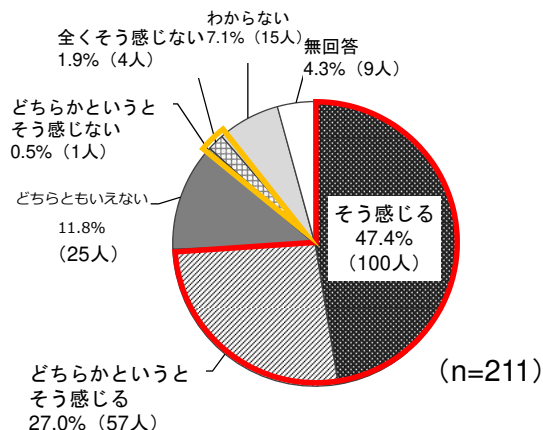
3. 日中一時支援事業のアンケート結果

利用者の満足度（利用者）

〔問40〕 日中一時支援事業に満足していますか。



〔問41〕 日中一時支援事業を利用したことによってあなたの暮らしはよくなりましたか。



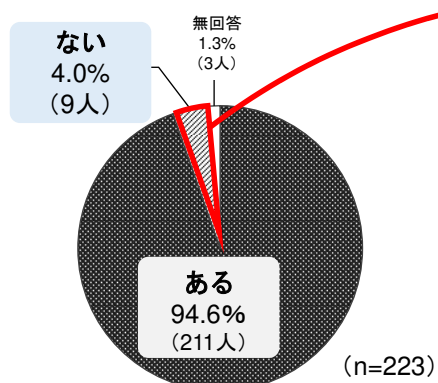
- 満足度は「十分満足している」「どちらかという満足している」をあわせて 71.6%（211人中151人）
- 利用回数に関する調査では、211人中146人（69.2%）が希望どおりと回答
- 利用により生活の質が向上したと感じている人 157人（74.4%）

19

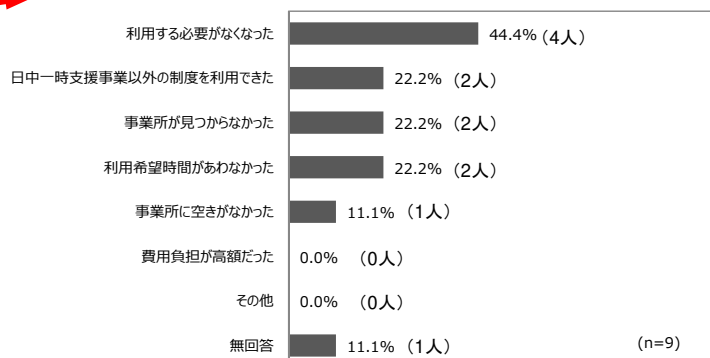
3. 日中一時支援事業のアンケート結果

支給決定者で利用実績がない場合の実態（利用者）

〔問34〕 あなたは、日中一時支援事業を利用したことがありますか。



〔問34〕 日中一時支援事業を利用しなかった理由は何ですか。（複数回答）



- 利用実績がない人は9人（支給決定者223人中4.0%）
- 利用しなかった理由
 - ✓ 「利用する必要がなくなった」（44.4%、4人）
 - ✓ 「日中一時支援事業以外の制度を利用できた」（22.2%、2人）
 - ✓ 「事業所が見つからなかった」（22.2%、2人）
 - ✓ 「利用希望時間があわなかった」（22.2%、2人）
 - ✓ 「事業所に空きがなかった」（11.1%、1人）

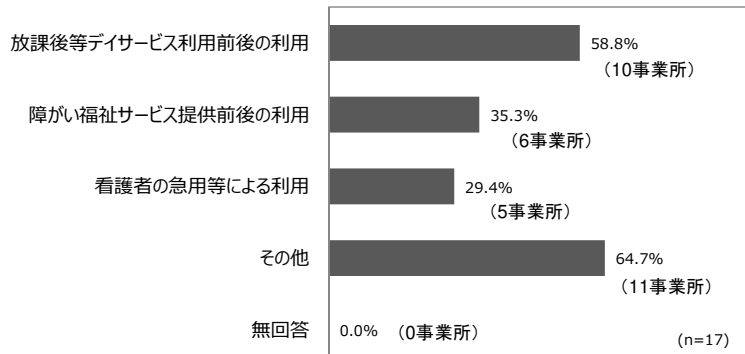
20

3. 日中一時支援事業のアンケート結果

支援状況（1）（事業所）

- 日中一時支援事業を実施していると回答した事業所：20事業所
「見守り」 17事業所（85.0%）
「訓練」 2事業所（10.0%） 「その他」 1事業所（5.0%）

〔問21〕「見守り」について、サービスの具体的な内容は何ですか。（複数回答）



「その他」の内容

- ・ 登校前
- ・ 養護学校の長期休暇中の利用
- ・ 児童発達支援提供後の見守り
- ・ 毎週末の定期利用
- ・ 土日、生活介護登録曜日以外で日中通所を利用したいとき

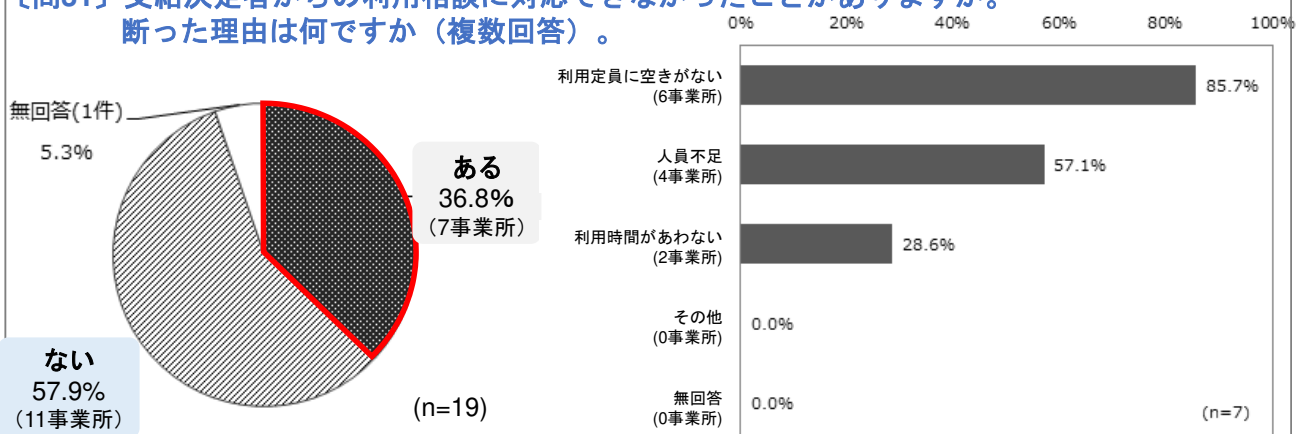
- 「見守り」について、サービスの具体的内容（主なもの）
 - ✓ 「放課後等デイサービス利用前後の利用」（10事業所）
 - ✓ 「障がい福祉サービス提供前後の利用」（6事業所）
 - ✓ 「看護者の急用等による利用」（5事業所）

21

3. 日中一時支援事業のアンケート結果

支援状況（2）（事業所）

〔問31〕支給決定者からの利用相談に対応できなかったことがありますか。断った理由は何ですか（複数回答）。



- 利用相談に対応できなかった理由
 - ✓ 「利用定員に空きがない」（85.7%、6事業所）
 - ✓ 「人員不足」（57.1%、4事業所）
 - ✓ 「利用時間があわない」（28.6%、2事業所）

22

3. 日中一時支援事業のアンケート結果

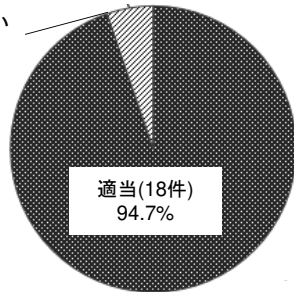
支援状況（3）（事業所）

【問26】 平日と休日及び利用目的に分けて、利用者数が最も多い利用時間を1つ選択。

	利用なし	20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 4時間未満	4時間以上 8時間未満	8時間以上	回答なし
平日									
放課後等デイサービス利用前後の利用	11	0	2	0	0	2	0	0	4
看護者の急用等による利用	12	0	0	0	1	0	0	0	6
障がい福祉サービス提供前後の利用	8	0	0	1	2	1	1	0	6
社会に適応するための日常的な訓練のための利用	11	0	0	1	0	0	2	0	5
その他	0	0	0	0	2	1	0	0	16
休日									
放課後等デイサービス利用前後の利用	11	0	0	1	4	0	0	0	3
看護者の急用等による利用	11	0	0	0	0	0	3	0	5
障がい福祉サービス提供前後の利用	12	0	0	0	0	0	1	0	6
社会に適応するための日常的な訓練のための利用	11	0	0	0	0	0	3	0	5
その他	0	0	0	0	0	0	2	0	17

【問27】 給付費の算定方法（～4時間未満、4～8時間、8時間以上）は適当ですか。

適当ではない
(1件)5.3%



- 平日・休日ともに、1時間未満の利用が多い事業所はわずかであった。
- 給付費の算定方法（19事業所が回答）
 - ✓ 「適当」（94.7%、18事業所）
 - ✓ 「適当ではない」（5.3%、1事業所）

23

3. 日中一時支援事業のアンケート結果

まとめ

利用者

- 利用者の日中一時支援事業の満足度は71.6%、利用回数の満足度は69.2%であった。
- 支給決定者で利用実績がない人は9人（利用申請したことがある人の4.0%）であった。
利用しなかった主な理由は「利用する必要がなくなった」「日中一時支援事業以外の制度を利用できた」
その他、「事業所が見つからなかった」「利用希望時間帯が合わない」「事業所に空きがない」と事業所都合により利用しなかった回答が9人中5人あった。

事業所

- 給付費の算定方法については、適当であると回答している事業所が多かった。
- 利用者からの相談を断った理由として、「利用定員に空きがない」「人員不足」「利用時間があわない」があがっている。

4. 地域生活支援拠点整備のアンケート結果

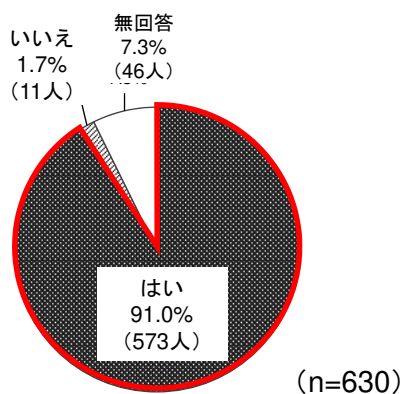
～調査目的～
障がい児者及び法人ニーズ把握

25

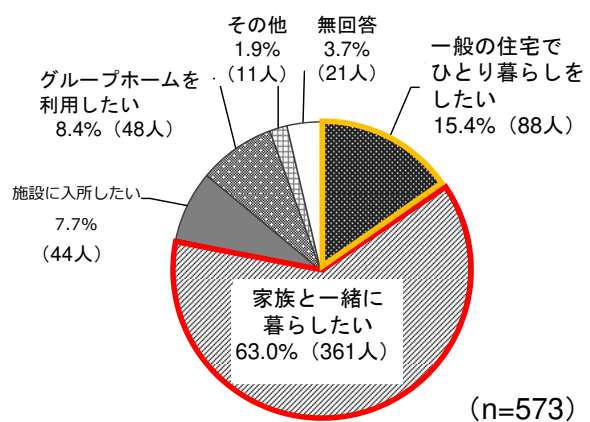
4. 地域生活支援拠点整備のアンケート結果

当事者ニーズ（1）

〔問13〕 あなたは、これからも住み慣れた地域で生活したいですか。



〔問13〕（1）
どのような生活を希望しますか。



- ほとんどの人が住み慣れた地域で生活したいと回答（91.0%、573人）
- 希望する生活（主なもの）
 - ✓ 「家族と一緒に暮らしたい」（63.0%、361人）
 - ✓ 「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」（15.4%、88人）

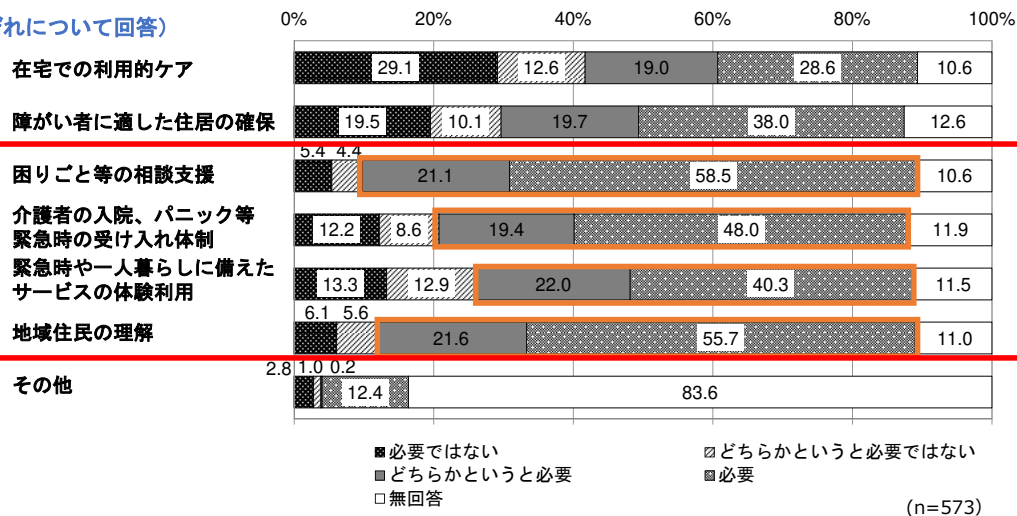
26

4. 地域生活支援拠点整備のアンケート結果

当事者ニーズ (2)

〔問13〕 (2) 住み慣れた地域で生活するためにどのようなことが必要か

(それぞれについて回答)



● 住み慣れた地域で生活するために必要なこと (必要+どちらかという必要)

- ✓ 「困りごと等の相談支援」 (79.6%、456人)
- ✓ 「地域住民の理解」 (77.3%、443人)
- ✓ 「介護者の入院、パニック等緊急時の受け入れ体制」 (67.4%、386人)
- ✓ 「緊急時や一人暮らしに備えたサービスの体験利用」 (62.3%、357人)

27

4. 地域生活支援拠点整備のアンケート結果

当事者ニーズ (3)

〔問42〕 障がい者福祉に関する意見、要望 (自由記述)



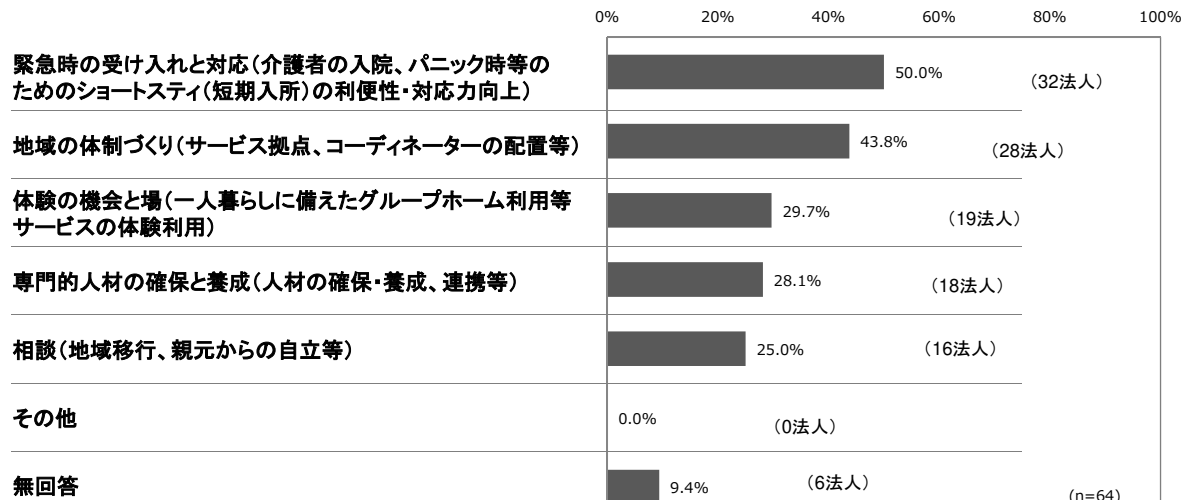
- 今回のアンケートの調査項目以外では、「親亡き後」に関する意見・要望が13件 (回答者内訳：本人回答 1件、本人以外 12件)
- ✓ 内容は、親亡き後の不安・対策の必要性が記載されている。

28

4. 地域生活支援拠点整備のアンケート結果

法人ニーズ (1)

〔問2〕 地域生活支援拠点を整備するにあたって、特に必要と思われる機能を 選択してください。
(選択肢から2つ選択)



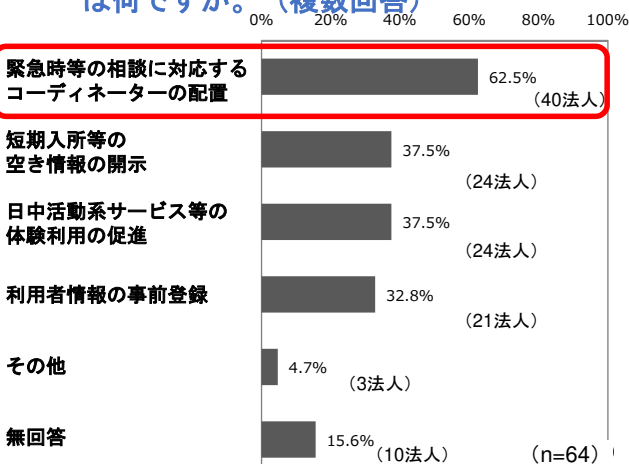
- 必要な機能 (主なもの)
 - ✓ 「緊急時の受け入れと対応」 (50%、32法人)
 - ✓ 「地域の体制づくり」 (43.8%、28法人)
 - ✓ 「体験の機会と場」 (29.7%、19法人)

29

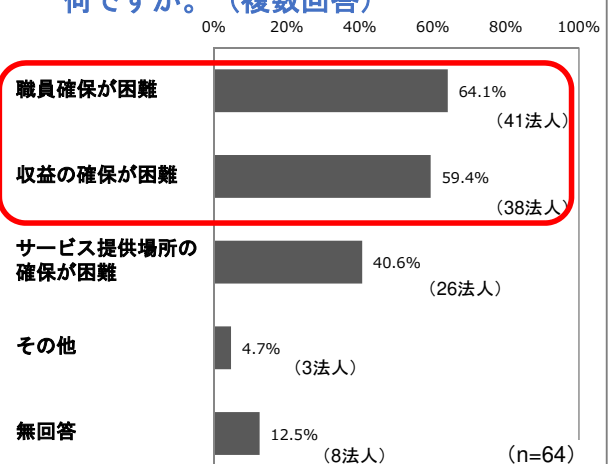
4. 地域生活支援拠点整備のアンケート結果

法人ニーズ (2)

〔問4〕 拠点の円滑な運営に必要な仕組みは何ですか。(複数回答)



〔問5〕 拠点整備にあたっての問題点は何ですか。(複数回答)



- 円滑な運営のために必要な機能 (主なもの)
 - ✓ 「緊急時の相談に対応するコーディネーターの配置」 (62.5%、40法人)
- 整備にあたっての問題点
 - ✓ 「職員の確保が困難」 (64.1%、41法人)
 - ✓ 「収益の確保が困難」 (59.4%、38法人)

30

まとめ

当事者	● 住み慣れた地域で生活したい人がほとんどである。 ● 家族と一緒に暮らしたい人が最も多く、次いで一般の住宅でのひとり暮らしをしたい人が多い。 ● 障がい者福祉に関する意見・要望（自由記述）では、「親亡き後」への不安とその対策の必要性に関する意見が13件寄せられた。
法人	● 地域生活支援拠点整備に必要な機能として、半数の法人が「緊急時の受け入れと対応」をあげている。 ● 運営上の問題点で、回答数が多いものは「職員の確保が困難」、「収益の確保が困難」等であった。 ● 地域生活支援拠点の円滑な運営のため、「緊急時等の相談に対応するコーディネーターの配置」をあげている40法人（62.5%）であった。

地域のニーズに基づく
効果的な地域生活支援事業実施のための
実態把握事業
(データ編)

令和元年（2019） 1 2 月

出 雲 市

- 目 次 -

【利用者】	1
A. 基本情報	2
国〔問 1〕 このアンケート調査票を回答いただく方はどなたですか。(○は1つ).....	2
国〔問 2〕 あなたの年齢をお書きください。	2
国〔問 3〕 あなたの性別を選んでください。(○は1つ).....	3
市〔問 4〕 あなたのお住まいの地域はどこですか。(○は1つ).....	3
国〔問 5〕 あなたはどこで生活していますか。(○は1つ)	4
国〔問 6〕 あなたと一緒に暮らしている人を選んでください。(あてはまるものすべてに○).....	4
国〔問 7〕 あなたが持っている身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の種類を選んでく さい。(○は1つ).....	5
●身体障がい者手帳	5
●療育手帳.....	5
●精神障がい者保健福祉手帳.....	6
国〔問 8〕 手帳以外の障がいの状況について、あてはまるものはありますか。(あてはまるものすべてに○) 6	
国〔問 9〕 あなたの障がい支援区分を選んでください。(○は1つ).....	7
国〔問 10〕 あなたは平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ).....	7
B. 障がい福祉サービス・地域生活支援事業.....	8
市〔問 11〕 あなたは、次の障がい福祉サービスを利用していますか。また、今後(5年以内に)利用したいで すか。(サービスごとに、現在と今後それぞれに○が1つずつ)	8
市〔問 11〕 あなたは、次の障がい福祉サービスを利用していますか。また、今後(5年以内に)利用したいで すか。※18歳未満の方は、短期入所以外は今後の利用のみ回答してください。	9
市〔問 11〕 あなたは、次の障がい福祉サービスを利用していますか。また、今後(5年以内に)利用したいで すか。	10
市〔問 11〕 あなたは、次の障がい福祉サービスを利用していますか。また、今後(5年以内に)利用したいで すか。18歳未満の方にお聞きます。	11
市〔問 12〕 あなたは、次の地域生活支援事業を利用していますか。また、今後(5年以内に)利用したいで すか。(事業ごとに、現在と今後それぞれに○が1つずつ).....	12
市〔問 13〕 あなたは、これからも住み慣れた地域で生活したいですか。(○は1つ).....	13
市〔問 13〕 「はい」を選んだ方にお聞きます。	13
(1) どのような生活を希望しますか。(○は1つ).....	13
市〔問 13〕 (2) 住み慣れた地域で生活するためにどのようなことが必要ですか。(それぞれに○は1つ)....	14
C. 移動について	15
C-1. 外出について	15
国〔問 14〕 あなたは、ふだん、どのくらい外出しますか。(○は1つ).....	15
市〔問 15〕 あなたの外出の方法を教えてください。(あてはまるものすべてに○).....	15
国〔問 16〕 あなたは、外出時にどのようなことでこまっていますか。次のそれぞれについて、あてはまるも のに○をつけてください。	16
C-2. 移動支援事業	17
市〔問 17〕 あなたは、移動支援事業の利用申請をしたことがありますか。(○は1つ)	17
市〔問 18〕 あなたは、移動支援事業を利用したことがありますか。(○は1つ).....	17

市	〔問 18〕 「ない」を選んだ方にお聞きします。移動支援事業を利用しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○).....	18
国	〔問 19〕 移動支援事業の利用のきっかけを教えてください。(○は1つ).....	18
国	〔問 19〕 (1) 「紹介をうけた」を選んだ方にお聞きします。どなたから紹介を受けましたか。(○は1つ).....	19
国	〔問 19〕 (2) 「自分で知った」を選んだ方にお聞きします。どこで知りましたか。.....	19
	(○は1つ).....	19
国	〔問 20〕 あなたは、移動支援事業以外の利用も考えましたか。(○は1つ).....	20
国	〔問 20〕 「考えた」を選んだ方にお聞きします。他の外出方法と比べて、移動支援事業を選んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○).....	20
市	〔問 21〕 あなたの移動支援事業の主な利用目的は何ですか。(○は1つ).....	21
市	〔問 21〕 「通学」を選んだ方にお聞きします。通っている学校を選んでください。(○は1つ).....	21
国	〔問 22〕 あなたが利用している移動支援事業の支援の型を選んでください。(あてはまるものすべてに○).....	22
国	〔問 23〕 あなたは、移動支援事業をどのくらい利用していますか。(○は1つ).....	22
国	〔問 24〕 〔問 23〕 の利用回数は、あなたの希望どおりですか。(○は1つ).....	23
国	〔問 24〕 「希望どおりではないこともある」または「希望どおりではない」を選んだ方にお聞きします。希望どおりではない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○).....	23
国	〔問 25〕 移動支援事業を利用したことで、あなたの外出は増えましたか。(○は1つ).....	24
国	〔問 26〕 あなたは、移動支援事業に満足していますか。(○は1つ).....	24
国	〔問 27〕 移動支援事業を利用したことによって、あなたの暮らしはよくなりましたか。(○は1つ).....	25
	C-3. 障がい者福祉タクシー制度.....	26
市	〔問 28〕 あなたは、障がい者福祉タクシー制度を利用していますか。(○は1つ).....	26
市	〔問 29〕 利用している福祉タクシー券の種類は何ですか。(○は1つ).....	26
市	〔問 30〕 福祉タクシー券の年間の枚数は足りていますか。(○は1つ).....	27
市	〔問 30〕 「足りていない」を選んだ方にお聞きします。足りない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○).....	27
市	〔問 31〕 タクシーの予約についてお聞きします。.....	28
	(1) あなたが予約の連絡をするのはいつですか。(○は1つ).....	28
市	〔問 31〕 (2) 予約はとりやすいですか。(○は1つ).....	28
	D. 日中一時支援事業.....	29
市	〔問 33〕 あなたは、日中一時支援事業の利用申請をしたことがありますか。(○は1つ).....	29
市	〔問 34〕 あなたは、日中一時支援事業を利用したことがありますか。(○は1つ).....	29
市	〔問 34〕 「ない」を選んだ方にお聞きします。利用しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○).....	30
国	〔問 35〕 日中一時支援事業の利用のきっかけを教えてください。(○は1つ).....	31
国	〔問 35〕 (1) 「1. 紹介を受けた」を選んだ方にお聞きします。どなたから紹介を受けましたか。(○は1つ).....	31
国	〔問 35〕 (2) 「2. 自分で知った」を選んだ方にお聞きします。どこで知りましたか。(○は1つ).....	32
国	〔問 36〕 あなたは、日中一時支援事業以外の利用も考えましたか。(○は1つ).....	33
国	〔問 36〕 「考えた」を選んだ方にお聞きします。他のサービスと比べて、日中一時支援事業を選んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○).....	33
国	〔問 37〕 あなたが利用している日中一時支援事業の内容を選んでください。(○は1つ).....	34
国	〔問 38〕 あなたは、日中一時支援事業をどれくらい利用していますか。(○は1つ).....	34

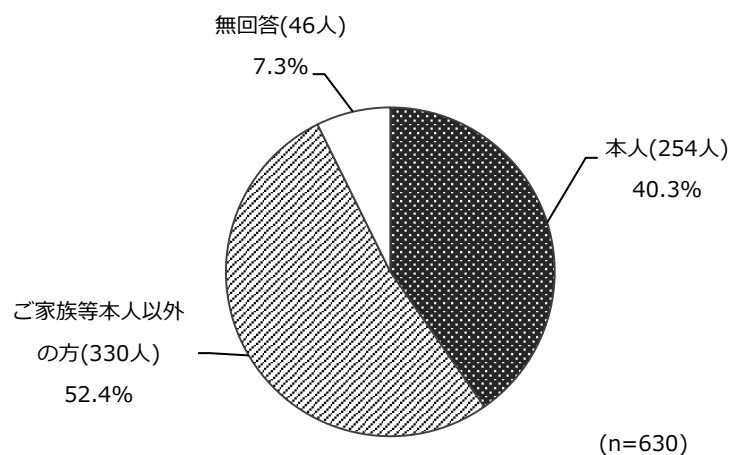
国 〔問 39〕〔問 38〕の利用回数は、あなたの希望どおりですか。(○は1つ).....	35
国 〔問 39〕「希望どおりではないこともある」または「希望どおりではない」を選んだ方にお聞きします。希望どおりではない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○).....	35
国 〔問 40〕あなたは、日中一時支援事業に満足していますか。(○は1つ).....	36
国 〔問 41〕日中一時支援事業を利用したことによって、あなたの暮らしはよくなりましたか。(○は1つ).....	36
【法人】	37
A. 基本情報	38
B. 地域生活支援拠点整備	38
市 〔問 2〕地域生活支援拠点を整備するにあたって、特に必要と思われる機能を2つ選択してください。(○は2つ).....	38
市 〔問 3〕地域生活支援拠点として事業を実施する予定がありますか。(○は1つ).....	39
市 〔問 3〕「ある」と回答した法人にお聞きします。提供予定のサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)	40
市 〔問 4〕地域生活支援拠点の円滑な運営に必要な仕組みは何ですか。(あてはまるものすべてに○).....	41
市 〔問 5〕拠点整備にあたっての問題点は何ですか。(あてはまるものすべてに○).....	42
C. 障がい福祉計画、障がい児福祉計画策定.....	43
市 〔問 6〕貴法人内の各事業所の拡張予定はありますか。(○は1つ).....	43
市 〔問 6〕「ある」を選択した法人にお聞きします。拡張する事業所名、事業名、利用定員を記入し、拡張時期を選択してください。	44
市 〔問 7〕貴法人内の各事業所で、新規事業への参入予定はありますか。(○は1つ).....	45
市 〔問 7〕「ある」を選択した法人にお聞きします。事業所名、参入する事業名、利用定員を記入し、参入時期を選択してください。	46
市 〔問 8〕貴法人内の各事業所で、廃止する予定の事業はありますか。(○は1つ)	47
市 〔問 8〕「ある」を選択した法人にお聞きします。事業所名、廃止する事業名、利用定員を記入し、廃止時期を選択してください。	47
市 〔問 9〕貴法人内の各事業所で、縮小する予定の事業はありますか。(○は1つ)	48
市 〔問 9〕「ある」を選択した法人にお聞きします。縮小する事業所名、事業名、利用定員を記入し、縮小時期を選択してください。	48
【事業所】	49
A. 事業所の基本情報.....	50
B. 障がい福祉サービス、地域生活支援事業全般.....	50
市 〔問 5〕障がい福祉サービスの提供の有無、提供しているサービスについてはその対応状況を選択してください。	50
市 〔問 6〕地域生活支援事業の実施の有無、実施しているものについてはその対応状況を選択してください。	52
市 〔問 7〕中山間地域に居住する障がい者への支援を充実させるため、事業所から市に期待するものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)	53
C. 移動支援事業	54
国 〔問 8〕出雲市における移動支援事業において、提供しているサービス内容および次年度以降の予定を選択してください。(すべてのサービス内容について回答してください。).....	54
国 〔問 9〕利用者の定員(受け入れ可能人数)を記入してください。	55
国 〔問 10〕医療的ケア児・者は利用対象としていますか。(○は1つ).....	55

国	〔問 11〕 移動支援事業のサービス利用者数を障がい種別毎に記入してください。	56
国	〔問 12〕 移動支援事業のサービス利用者数を障がい支援区分別に記入してください。	57
市	〔問 13〕 サービス提供地域を記入してください。(あてはまるものすべてに○)	58
市	〔問 14〕 地域毎の利用者数を記入してください。	58
市	〔問 15〕 利用者へのサービス提供時の課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○).....	59
国	〔問 16〕 移動支援事業の収益の内訳について、金額を記入してください。	59
国	〔問 17〕 移動支援事業の費用の内訳について、金額を記入してください。	59
市	〔問 18〕 移動支援事業の事業所を運営していくうえで課題がありますか。(あてはまるものすべてに○) 60	
市	〔問 19〕 支給決定者からの利用相談に対応できなかったことがありますか。(○は 1 つ).....	60
市	〔問 19〕 「ある」と回答された事業所にお聞きします。断った理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)	61
D. 障がい者福祉タクシー制度		62
市	〔問 20〕 障がい者福祉タクシー制度による事業を実施していますか。(○は 1 つ).....	62
市	〔問 20〕 「実施している」と回答された事業所にお聞きします。現在、車いす用の利用券では一般のタクシーは利用できません。このことについて、考えをお聞かせください。	62
E. 日中一時支援事業.....		63
国	〔問 21〕 出雲市における日中一時支援事業において、提供しているサービス内容および令和 2 年度以降の予定を選択してください。(すべてのサービス内容について回答してください。).....	63
国	〔問 21〕 「見守り」について「提供している」を選択した事業所にお聞きします。サービスの具体的な内容は何ですか。(あてはまるものすべてに○).....	64
国	〔問 22〕 利用者の定員を記入してください。	64
国	〔問 23〕 医療的ケア児・者は利用対象としていますか。(○は 1 つ).....	65
国	〔問 24〕 日中一時支援事業のサービス利用者数を障がい種別毎に記入してください。	65
国	〔問 25〕 日中一時支援事業のサービス利用者数を障がい支援区分別に記入してください。	66
市	〔問 26〕 平日と休日(土、日、祝日等の利用)及び利用目的に分けて、利用者数が最も多い利用時間を 1 つ選択してください。	67
市	〔問 27〕 出雲市では、利用時間を 4 時間未満、4 時間以上 8 時間未満、8 時間以上に分けて日中一時支援事業の給付費を算定しています。このことについてのお考えをお聞かせください。	69
国	〔問 28〕 日中一時支援事業の収益の内訳について、金額を記入してください。	70
国	〔問 29〕 日中一時支援事業の費用の内訳について、金額を記入してください。	70
市	〔問 30〕 日中一時支援事業の事業所を運営していくうえで課題がありますか。	70
市	〔問 31〕 支給決定者からの利用相談に対応できなかったことがありますか。(○は 1 つ).....	71
市	〔問 31〕 「ある」と回答された事業所にお聞きします。断った理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)	71
【タクシー事業者アンケート】		72
タクシー事業所アンケート(別実施)	調査概要	72
タクシー事業所アンケート(別実施)	調査結果 ①タクシーの所有台数及び運賃.....	75
タクシー事業所アンケート(別実施)	調査結果 ②車いすの迎車料等費用.....	75
タクシー事業所アンケート(別実施)	調査結果 ③ストレッチャーの迎車料等費用.....	76
タクシー事業所アンケート(別実施)	調査結果 ④車いす・ストレッチャー車両の予約.....	76

【利用者】

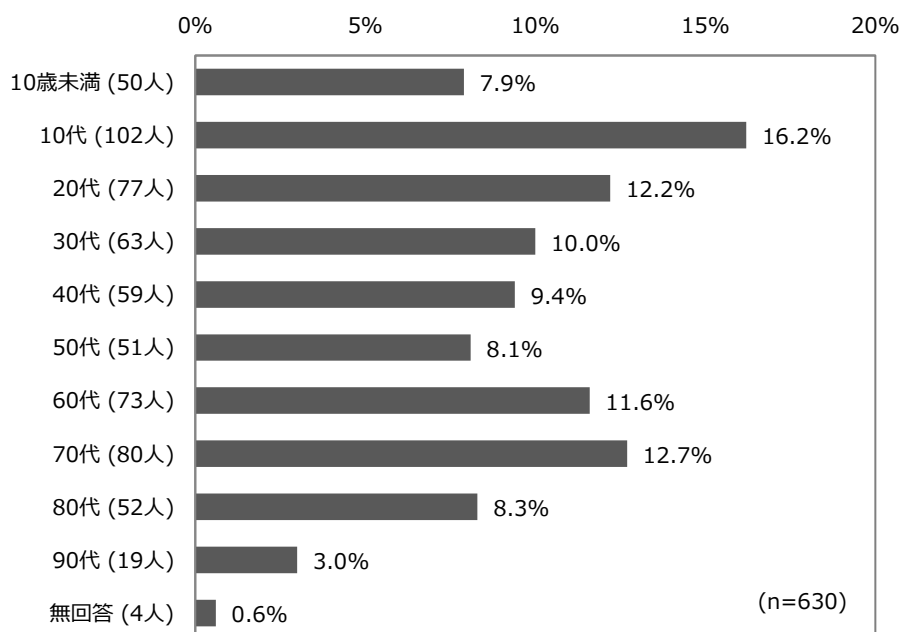
A. 基本情報

国〔問1〕 このアンケート調査票を回答いただく方はどなたですか。(○は1つ)

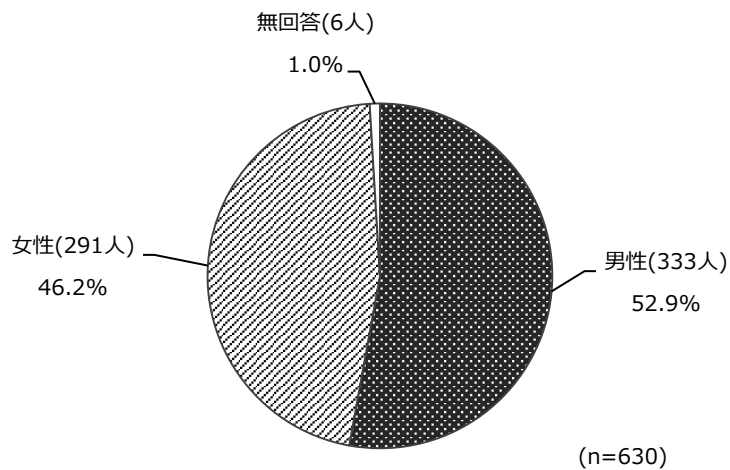


・「本人」が約 40.3%、「ご家族等本人以外の方」が 52.4%となっています。

国〔問2〕 あなたの年齢をお書きください。

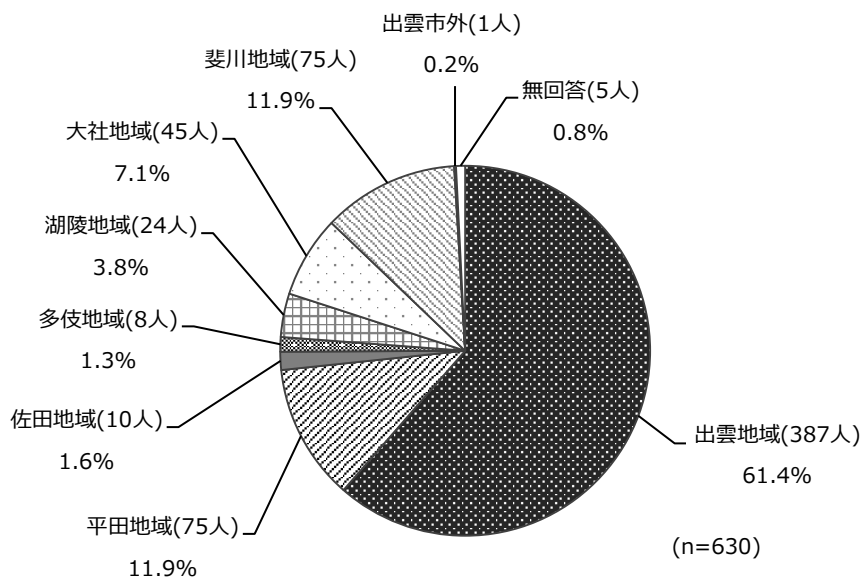


国〔問3〕 あなたの性別を選んでください。(○は1つ)



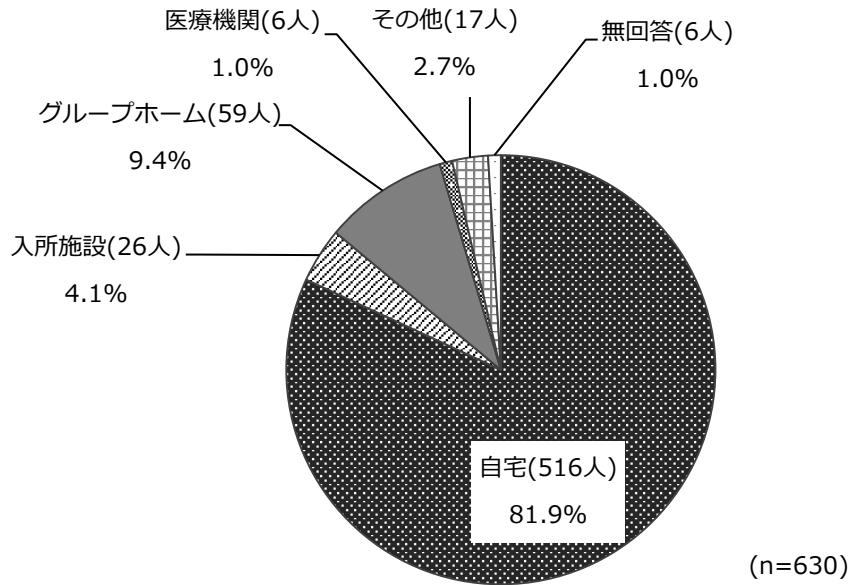
「男性」52.9%、「女性」46.2%となっています。

市〔問4〕 あなたのお住まいの地域はどこですか。(○は1つ)



- ・「出雲地域」が最も多く61.4%、次いで「平田地域」11.9%、「斐川地域」11.9%となっています。
- ・地域の割合は出雲市地域別人口割合と概ね合致します。

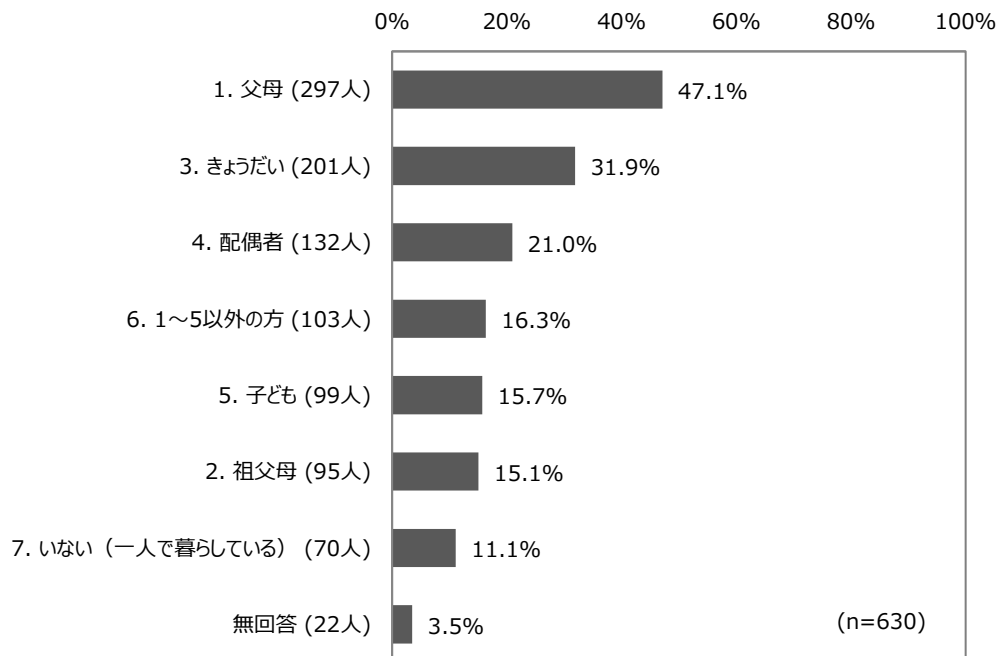
〔問5〕 あなたはどこで生活していますか。(○は1つ)



その他の内容: 店舗

・「自宅」が最も多く81.9%、次いで「グループホーム」9.4%、「入所施設」4.1%となっています。

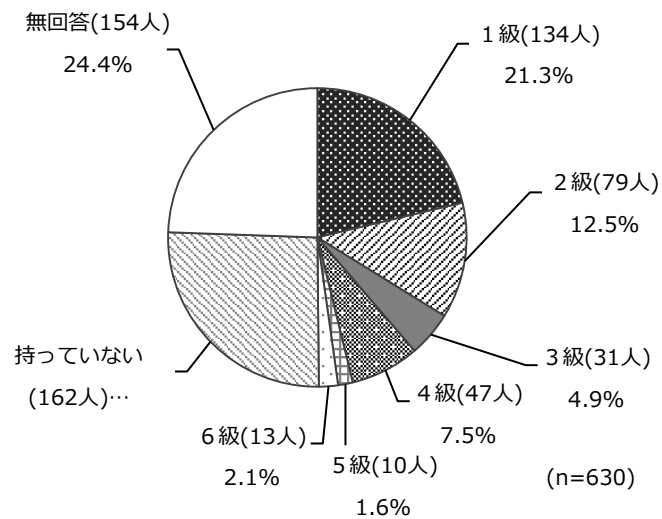
〔問6〕 あなたと一緒に暮らしている人を選んでください。(あてはまるものすべてに○)



・「父母」が最も多く47.1%、次いで「きょうだい」31.9%、「配偶者」21.0%となっています。

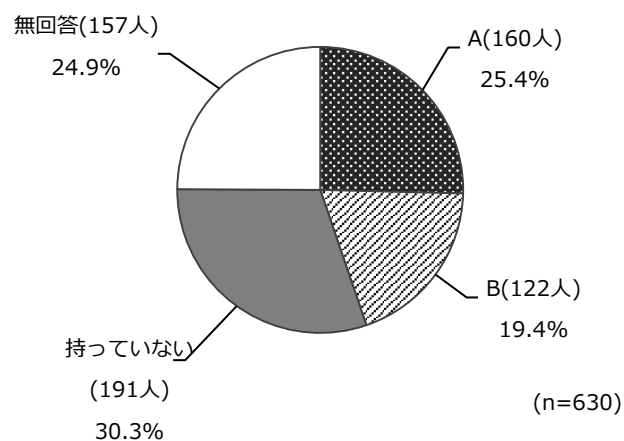
〔問 7〕 あなたが持っている身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の種類を選んでください。(〇は1つ)

●身体障がい者手帳



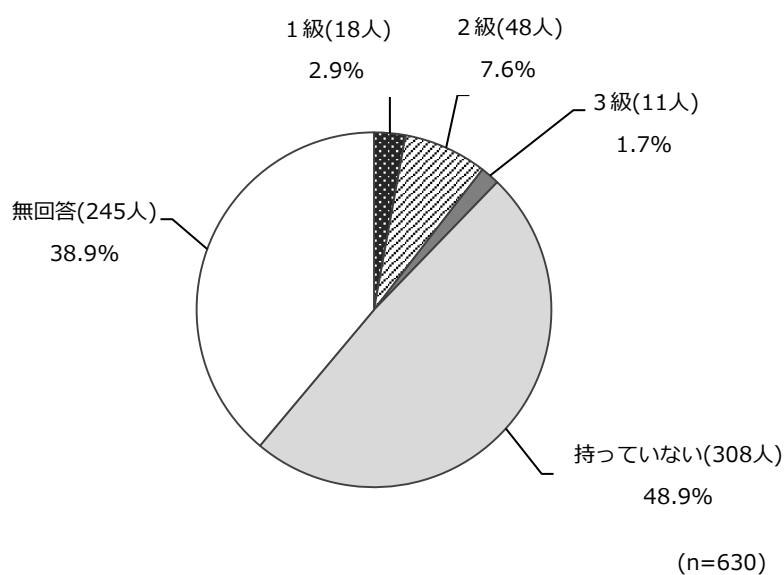
・「持っていない」が最も多く 25.7%、次いで「1 級」21.3%、「2 級」12.5%となっています。

●療育手帳



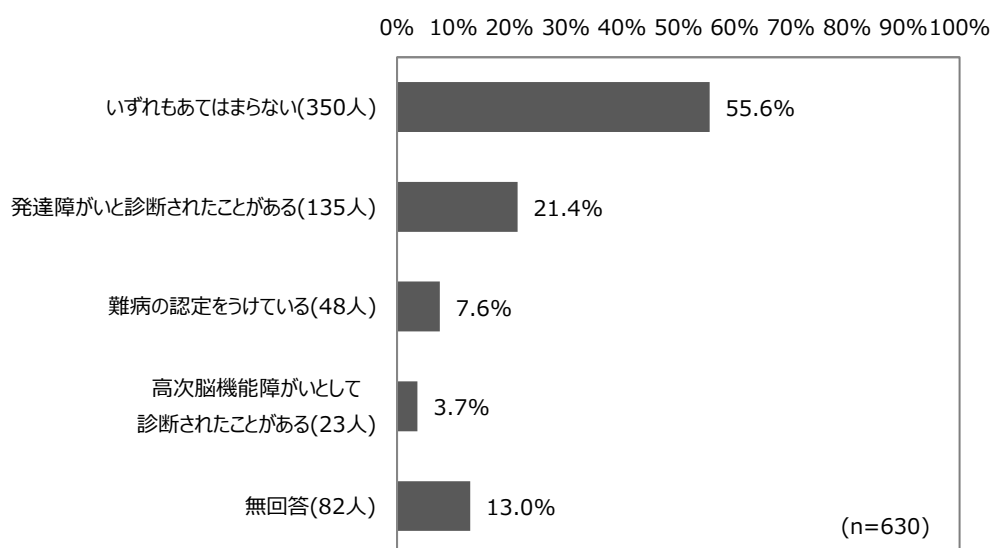
・「持っていない」が最も多く 30.3%、次いで「A」25.4%、「B」19.4%となっています。

●精神障がい者保健福祉手帳



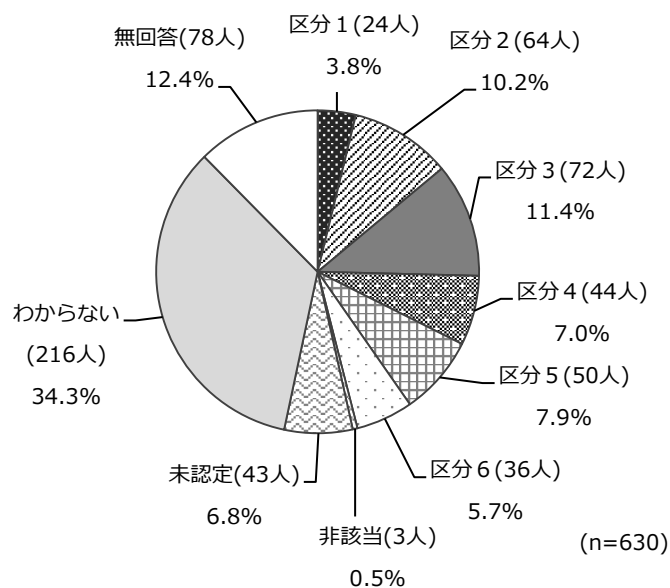
・「持っていない」が最も多く 48.9%、次いで「2 級」7.6%、「1 級」2.9%となっています。

国〔問 8〕 手帳以外の障がいの状況について、あてはまるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)



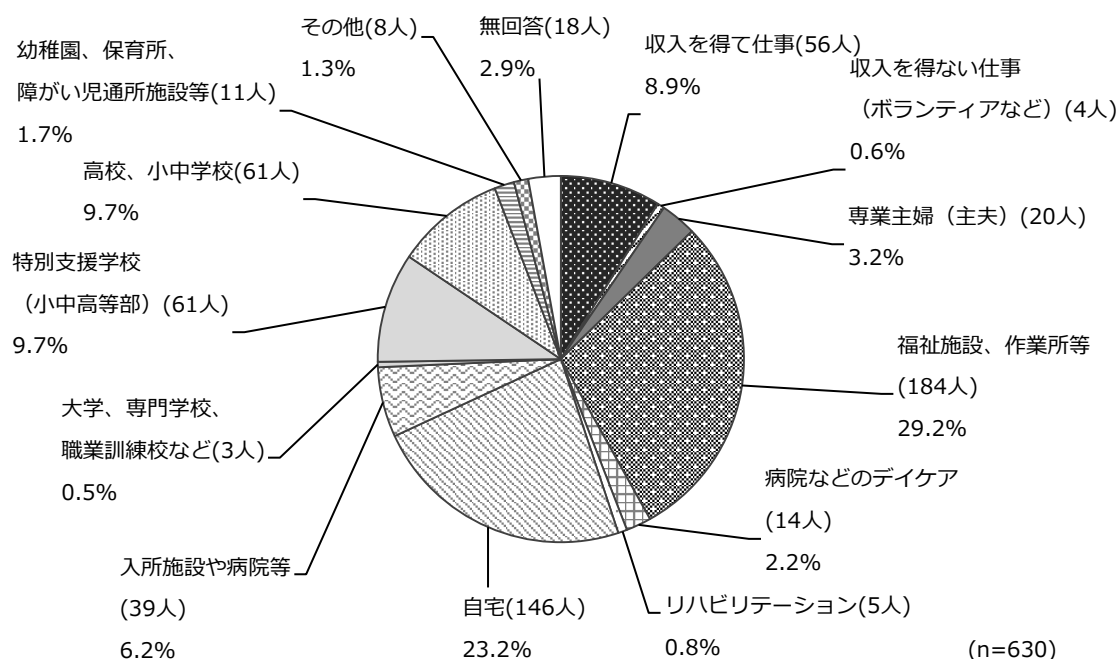
・「いずれもあてはまらない」が最も多く 55.6%、次いで「発達障がいと診断されたことがある」が 21.4%、「難病の認定を受けている」が 7.6%となっています。

国 〔問 9〕 あなたの障がい支援区分を選んでください。(○は1つ)



・「わからない」が最も多く34.3%、次いで「区分3」が11.4%、「区分2」が10.2%となっています。

国 〔問 10〕 あなたは平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)



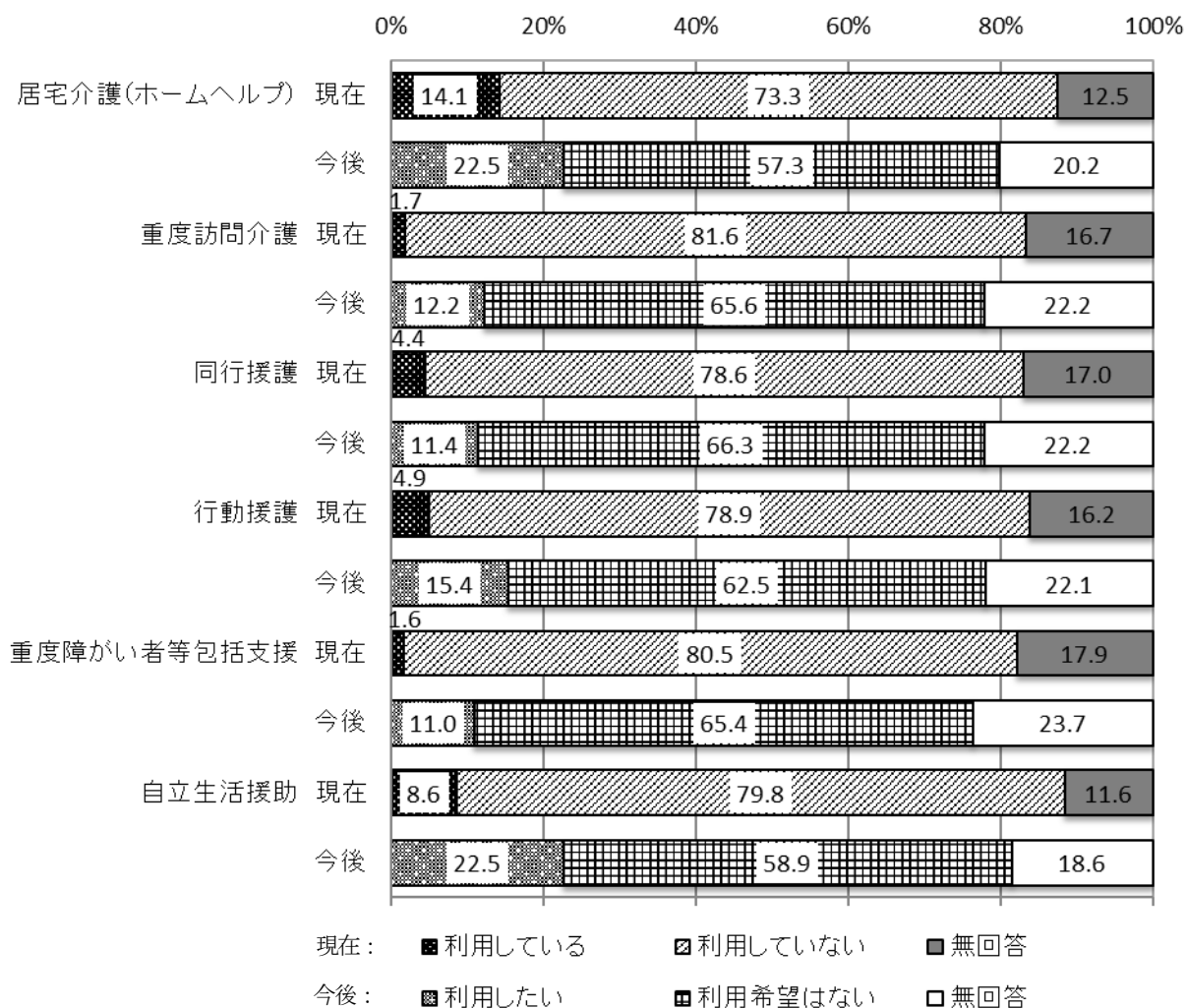
その他の内容: デイサービス(2人)/家業(農業)(2人)/外出支援(移動支援)

・「福祉施設、作業所などに通っている」が最も多く29.2%、次いで「自宅で過ごしている」が23.2%、「特別支援学校(小中高等部)に通っている」が9.7%、「高校、小中学校に通っている」が9.7%となっています。

B. 障がい福祉サービス・地域生活支援事業

市〔問 11〕 あなたは、次の障がい福祉サービスを利用していますか。また、今後（5年以内に）利用したいですか。（サービスごとに、現在と今後それぞれに○が1つずつ）

①訪問系サービス

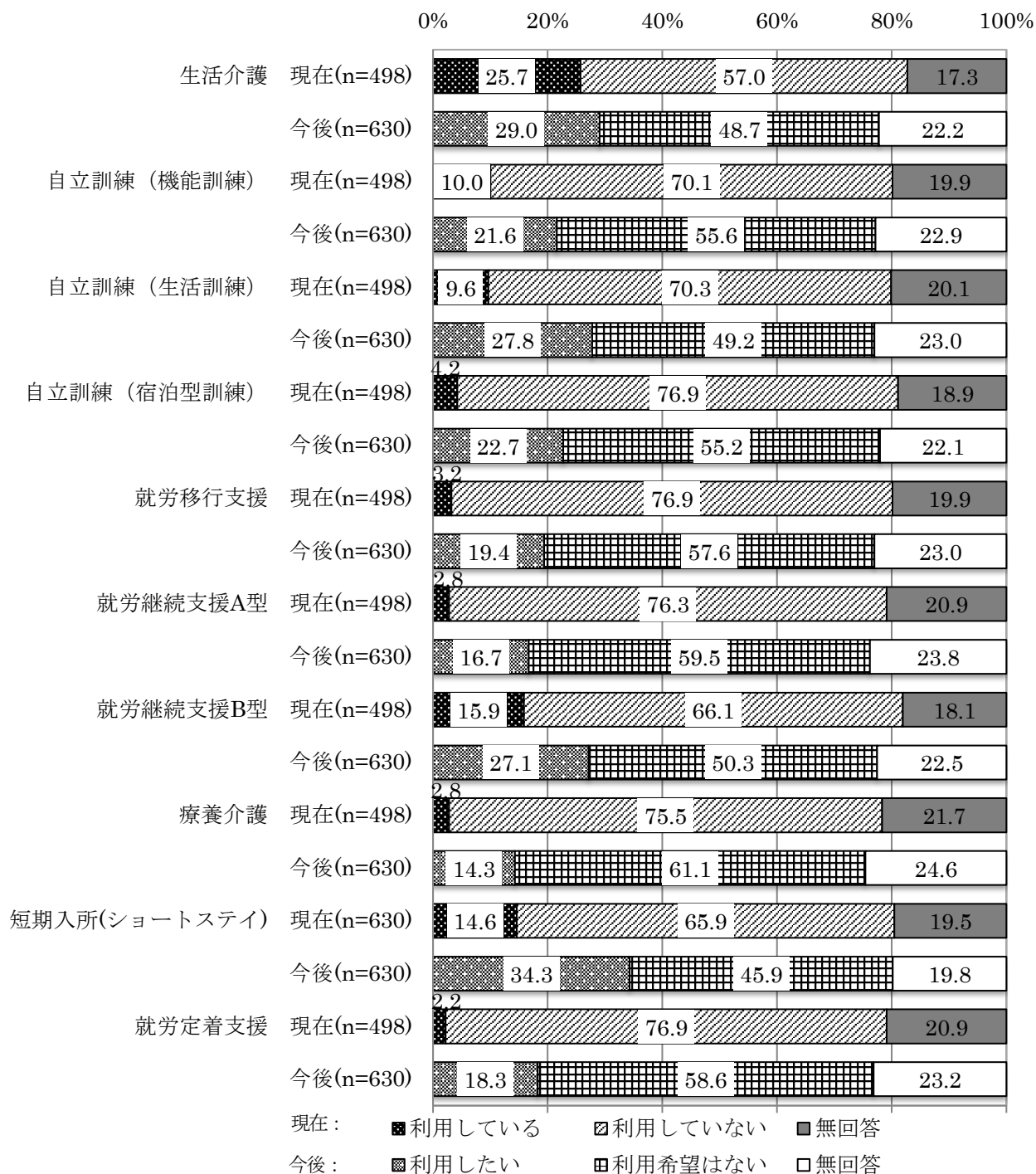


(n=630)

- ・いずれのサービスにおいても、現在の利用状況に比べて今後利用したい人の割合が増加しています。
- ・「居宅介護(ホームヘルプ)」および「自立生活援助」は今後の利用意向が最も高く 22.5% となっています。
- ・「自立生活援助」は現在の利用状況と今後の利用意向の伸び率が最も高く、13.9 ポイント増加しています。

市〔問 11〕 あなたは、次の障がい福祉サービスを利用していますか。また、今後（5 年以内に）利用したいですか。※18 歳未満の方は、短期入所以外は今後の利用のみ回答してください。

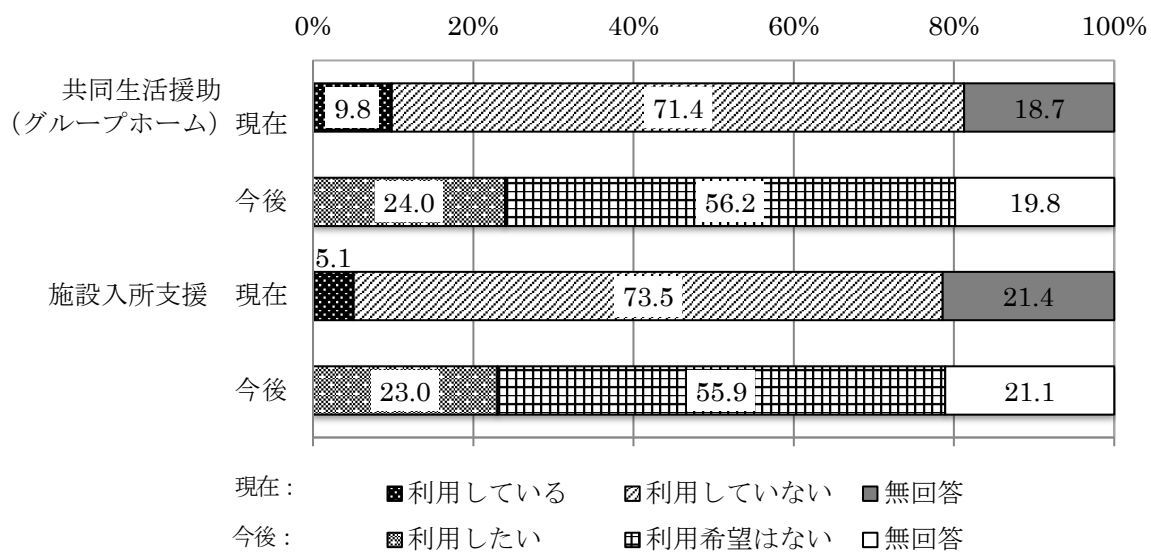
②日中活動系サービス



- ・いずれのサービスにおいても、現在の利用状況に比べて今後利用したい人の割合が増加しています。
- ・「短期入所」は今後の利用意向が最も高く 34.3%、次いで「生活介護」29.0%、「自立訓練（生活訓練）」27.8%となっています。
- ・「短期入所」は現在の利用状況と今後の利用意向の伸び率が最も高く、19.7 ポイント増加しています。

市〔問 11〕 あなたは、次の障がい福祉サービスを利用していますか。また、今後（5 年以内に）利用したいですか。

③居住系サービス

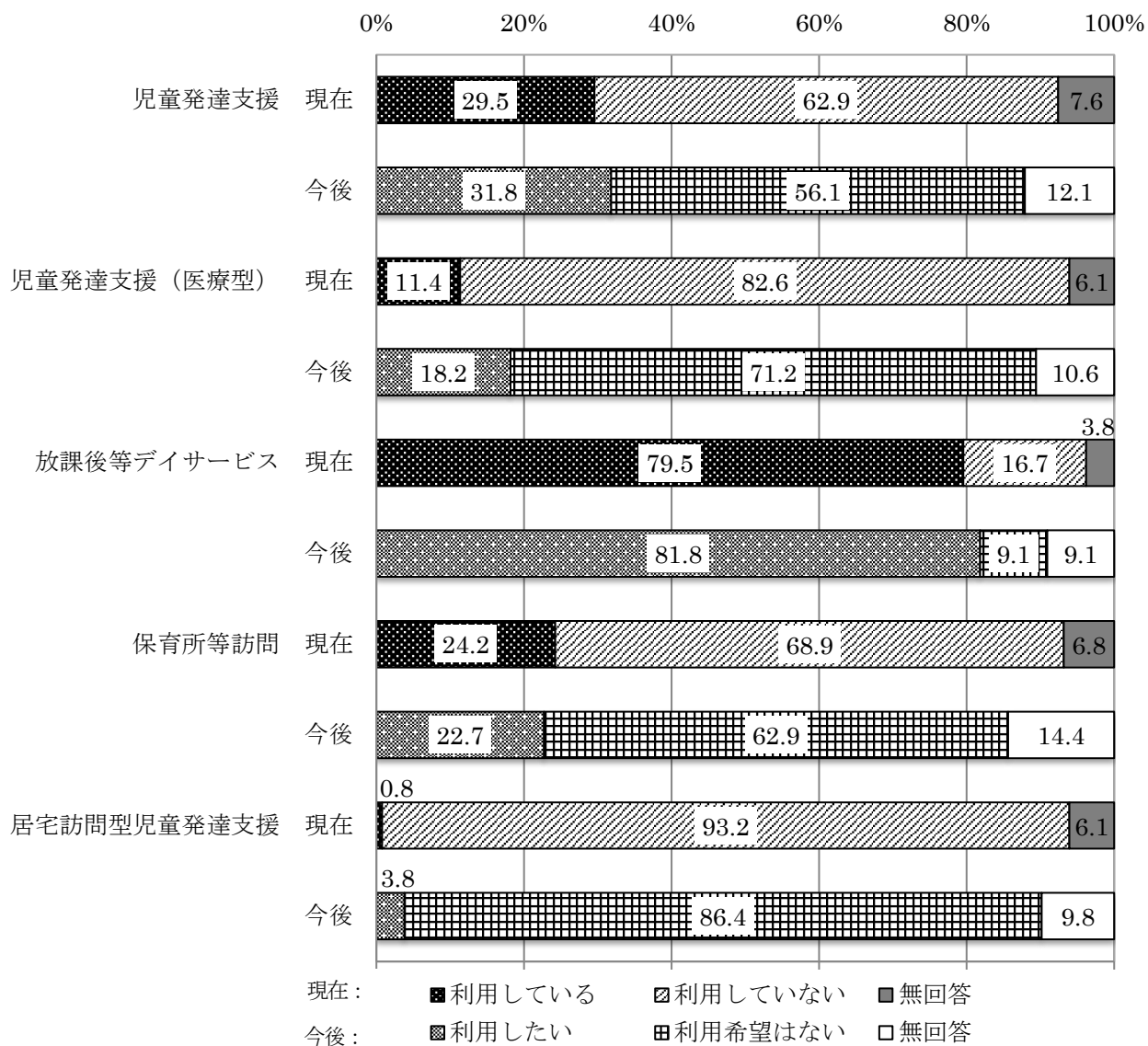


(n=630)

- ・いずれのサービスにおいても、現在の利用状況に比べて今後利用したい人の割合が増加しています。
- ・「共同生活援助（グループホーム）」は今後の利用意向が最も高く 24.0%、次いで「施設入所支援」23.0% となっています。
- ・「施設入所支援」は現在の利用状況と今後の利用意向の伸び率が最も高く、17.9 ポイント増加しています。

市〔問 11〕 あなたは、次の障がい福祉サービスを利用していますか。また、今後（5 年以内に）利用したいですか。18 歳未満の方にお聞きします。

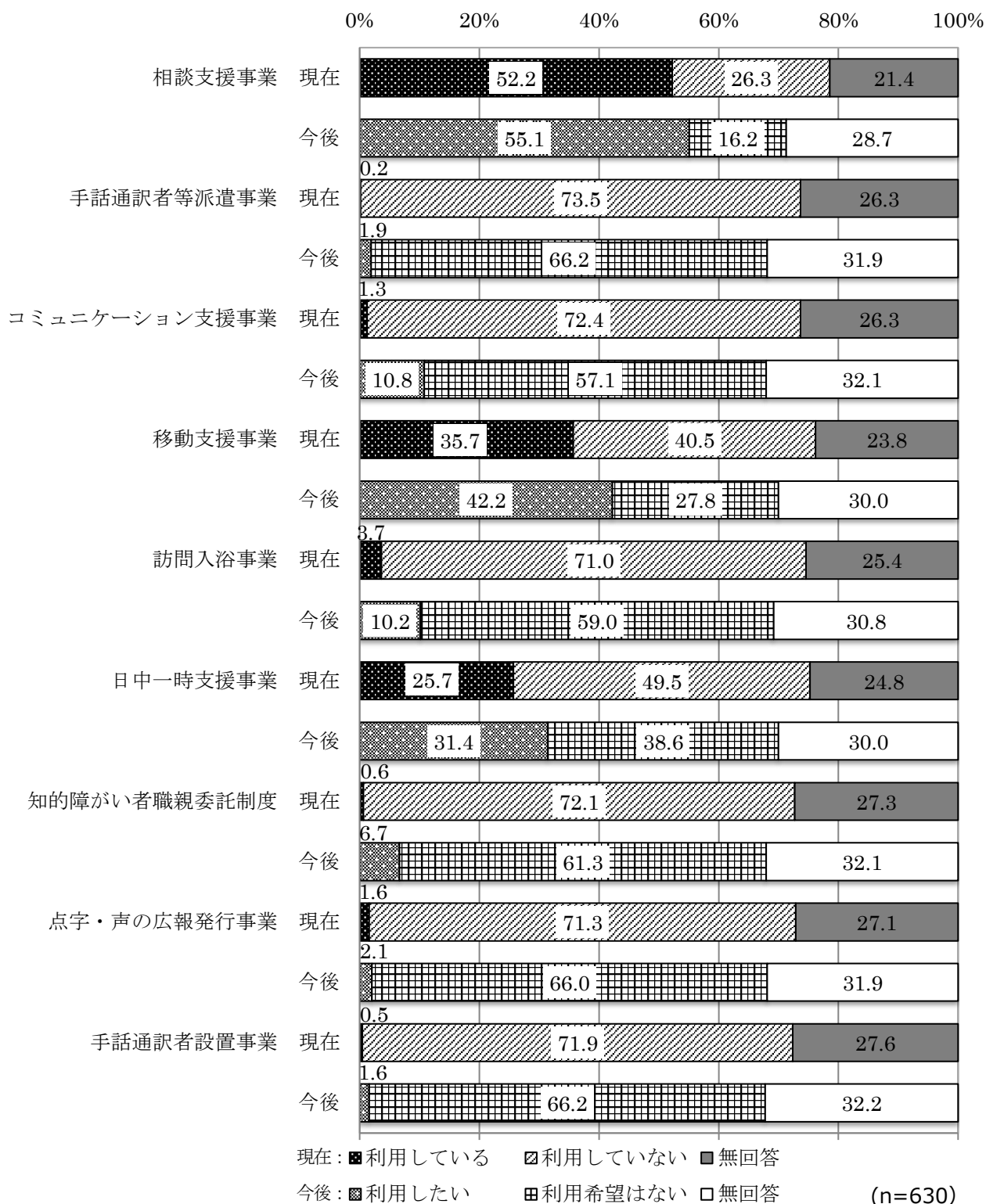
④児童に関するサービス



(n=132)

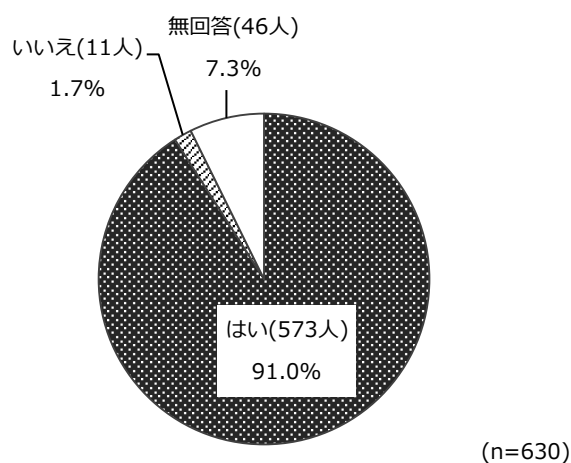
- ・「保育所等訪問」を除くサービスで、現在の利用状況に比べて今後利用したい人の割合が増加しています。
- ・「放課後デイサービス」は今後の利用意向が最も高く 81.8%、次いで「児童発達支援」31.8%、「保育所等訪問」22.7%となっています。

市〔問 12〕 あなたは、次の地域生活支援事業を利用していますか。また、今後（5 年以内に）利用したいですか。（事業ごとに、現在と今後それぞれに○が 1 つずつ）



・いずれのサービスにおいても、現在の利用状況に比べて今後利用したい人の割合が増加しています。
 ・「相談支援事業」は今後の利用意向が最も高く 55.1%、次いで「移動支援事業」42.2%、「日中一時支援事業」31.4%となっています。

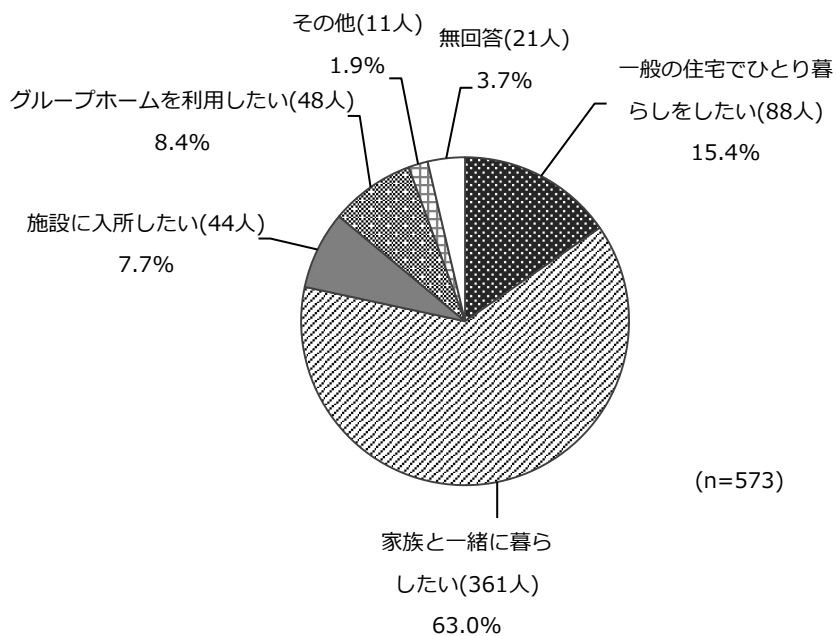
市〔問 13〕 あなたは、これからも住み慣れた地域で生活したいですか。(○は 1 つ)



・「はい」が91.0%、「いいえ」が1.7%となっています。

市〔問 13〕 「はい」を選んだ方にお聞きします。

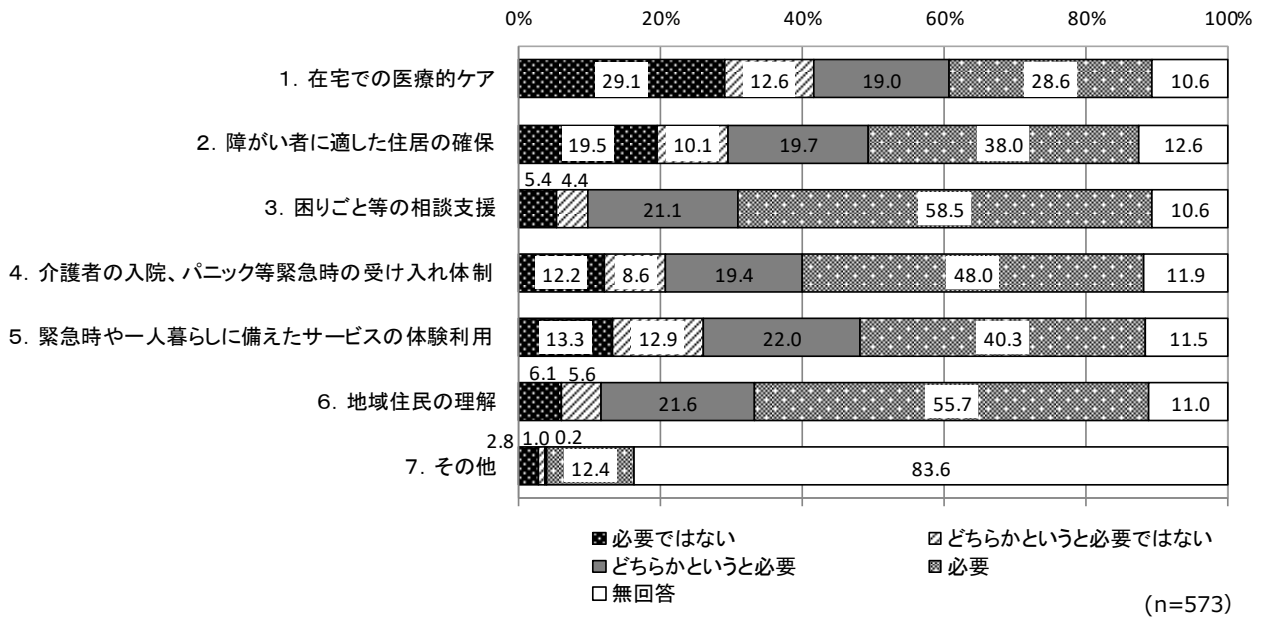
(1) どのような生活を希望しますか。(○は 1 つ)



その他の内容: 分からない・決めていない(4人)/現在の施設(2)/医療機関介護入院中

・「家族と一緒に暮らしたい」が最も多く 63.0%、次いで「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」15.4%、「グループホームを利用したい」8.4%となっています。

市〔問 13〕（２）住み慣れた地域で生活するためにどのようなことが必要ですか。（それぞれに○は１つ）



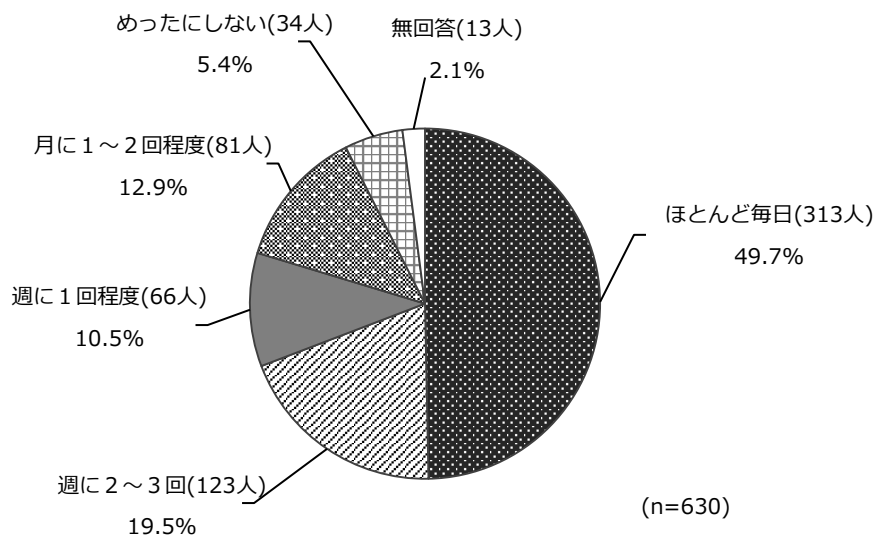
その他の内容:移動支援、生活支援等(6人)/交通手段(3人)/就労支援(3人)/施設の充実(3人)
バリアフリー化(2人)

・「どちらかという必要」、「必要」の割合が最も高いのは「困りごと等の相談支援」79.6%、次いで、「地域住民の理解」で 77.3%、「介護者の入院、パニック等緊急時の受け入れ体制」67.4%となっています。

C. 移動について

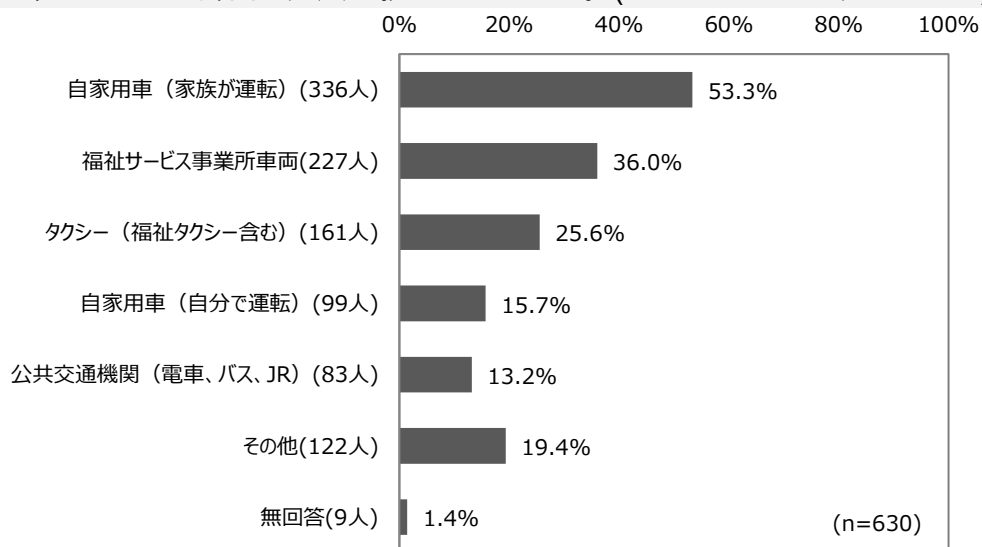
C-1. 外出について

国〔問 14〕 あなたは、ふだん、どのくらい外出しますか。(〇は1つ)



・「ほとんど毎日」が最も多く49.7%、次いで「週に2〜3回」19.5%、「月に1〜2回程度」12.9%となっています。

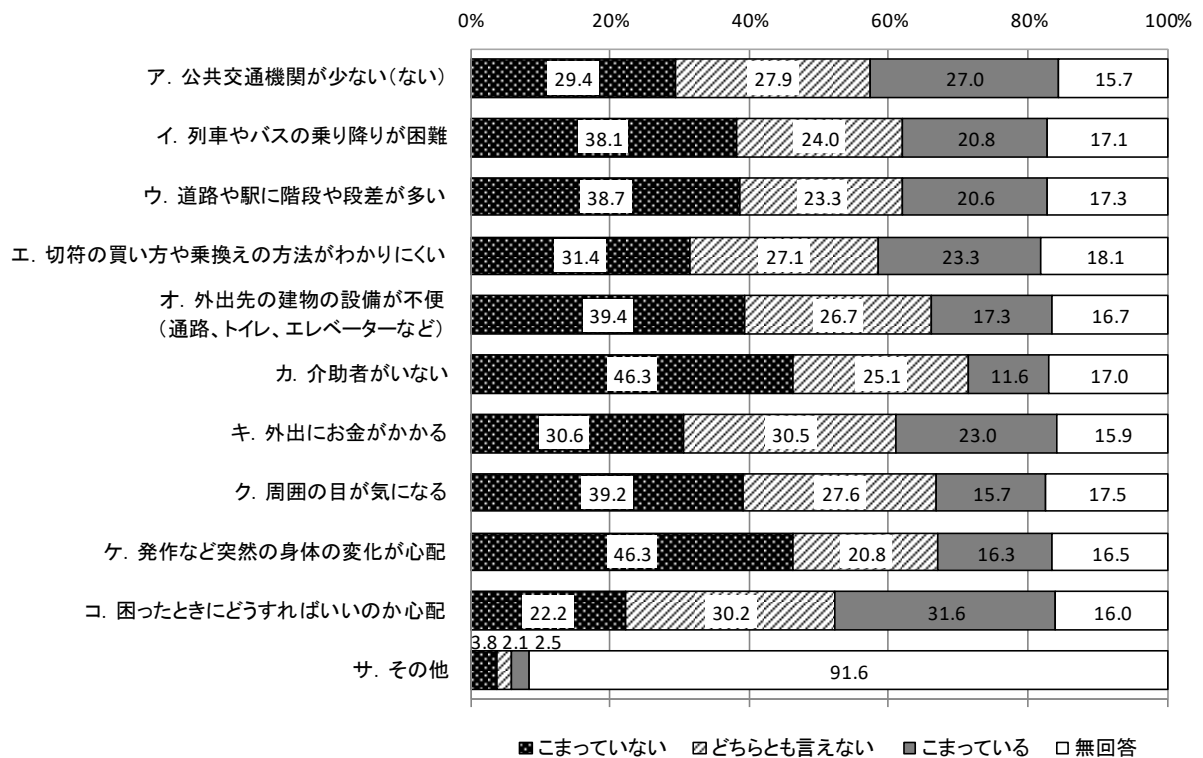
市〔問 15〕 あなたの外出の方法を教えてください。(あてはまるものすべてに〇)



その他の内容: 自転車(65人)/徒歩(40人)/公用車(7人)/車椅子(5人)/バイク

・「自家用車（家族が運転）」が最も多く 53.3%、次いで「福祉サービス事業所車両」36.0%、「タクシー（福祉タクシー含む）」25.6%となっています。

国〔問 16〕 あなたは、外出時にどのようなことでまっていますか。次のそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。



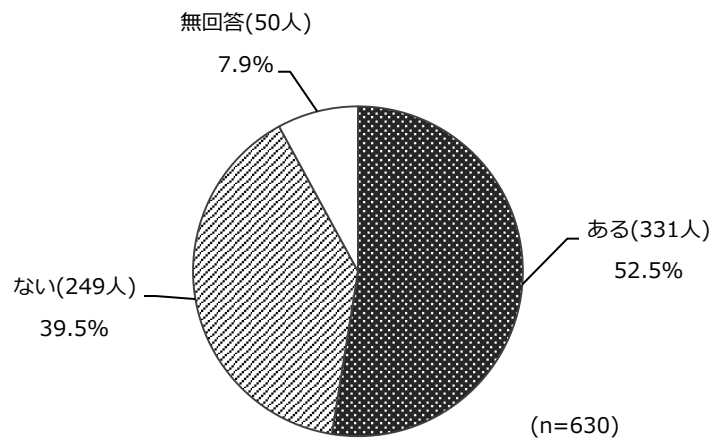
(n=630)

その他の内容:家族か介護者と外出しないとけない(5人)/障がい者用駐車場が少ない(3人)/
一人での行動が困難(2人)/コミュニケーション(2人)

・「困っている」の割合は「困ったときにどうすればいいのか心配」が最も多く31.6%、次いで「公共交通機関が少ない(ない)」27.0%、「切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい」23.3%となっています。

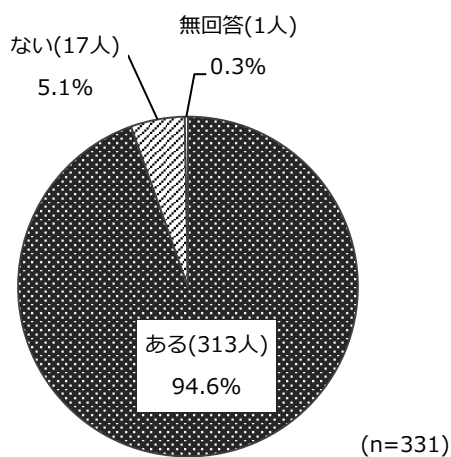
C-2. 移動支援事業

市〔問 17〕 あなたは、移動支援事業の利用申請をしたことがありますか。(〇は1つ)



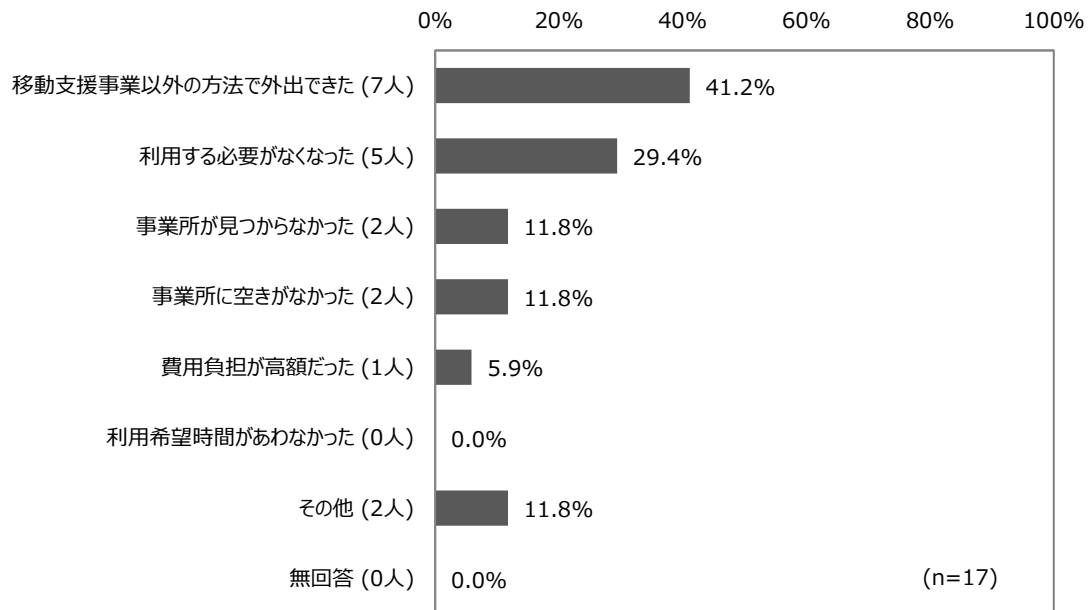
・「ある」が52.5%、「ない」が39.5%となっています。

市〔問 18〕 あなたは、移動支援事業を利用したことがありますか。(〇は1つ)



・「ある」が94.6%、「ない」が5.1%となっています。

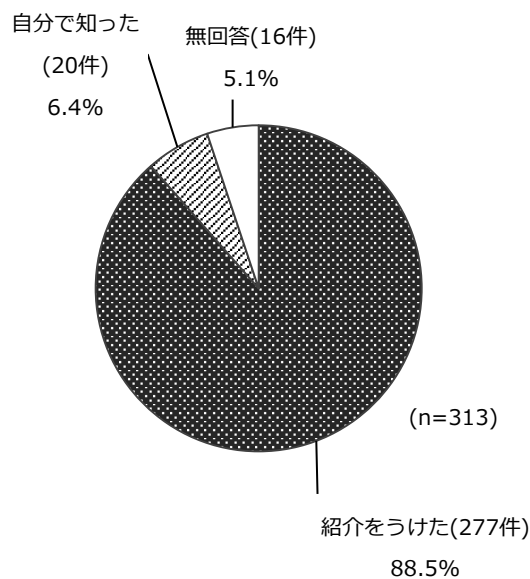
市〔問 18〕「ない」を選んだ方にお聞きします。移動支援事業を利用しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



その他の内容: R1 年 9 月契約(1人)、今後使用予定(1人)

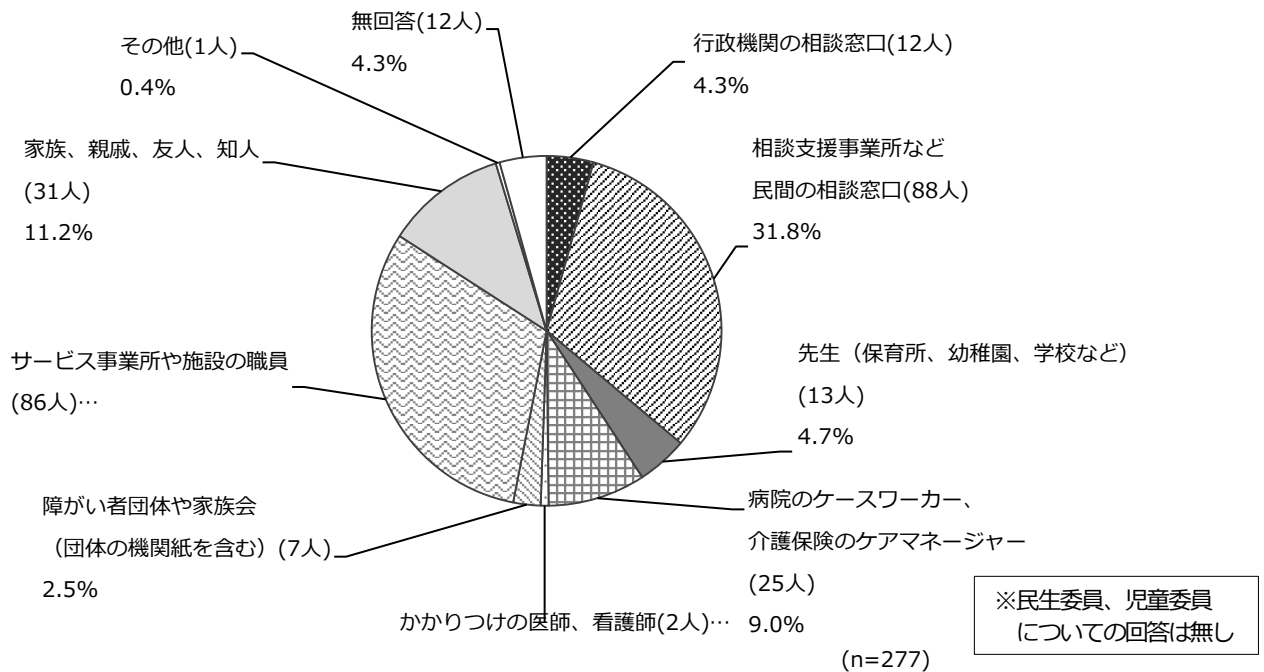
・「移動支援事業以外の方法で外出できた」が最も多く回答数は 7 件、「利用する必要がなくなった」5 件、「事業所が見つからなかった」、「事業所に空きがなかった」がそれぞれ 2 件となっています。

国〔問 19〕 移動支援事業の利用のきっかけを教えてください。(○は 1 つ)



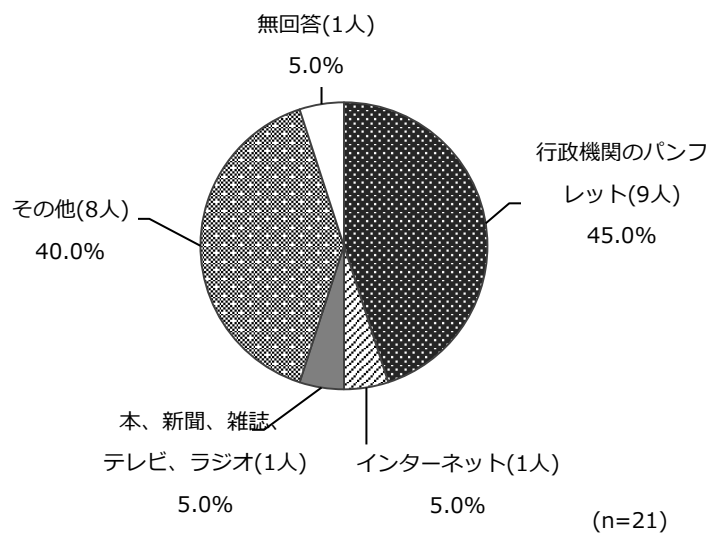
・「紹介を受けた」が 88.5%、「自分で知った」が 6.4%となっています。

国〔問 19〕（１）「紹介をうけた」を選んだ方にお聞きします。どなたから紹介を受けましたか。（○は１つ）



・「相談支援事業所など民間の相談窓口」が最も多く 31.8%、「サービス事業者や施設の職員」31.0%、「家族、親戚、友人、知人」11.2%となっています。

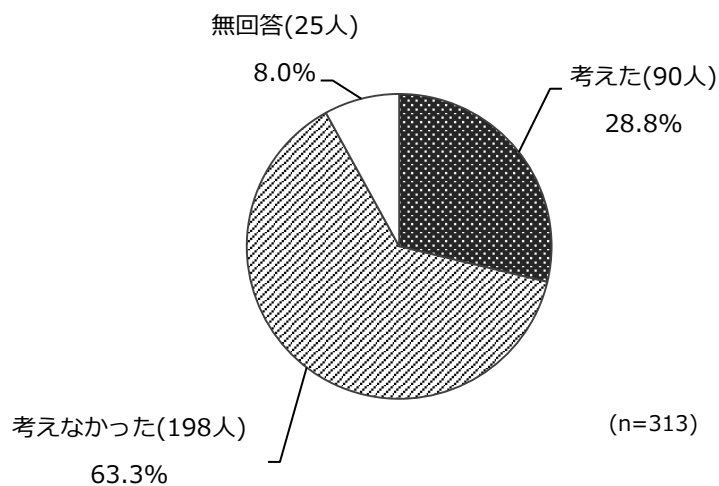
国〔問 19〕（２）「自分で知った」を選んだ方にお聞きします。どこで知りましたか。（○は１つ）



その他の内容：知人（6人）/ 口コミ（1人）/ 通学に利用されている方を見て事業所に相談した（1人）

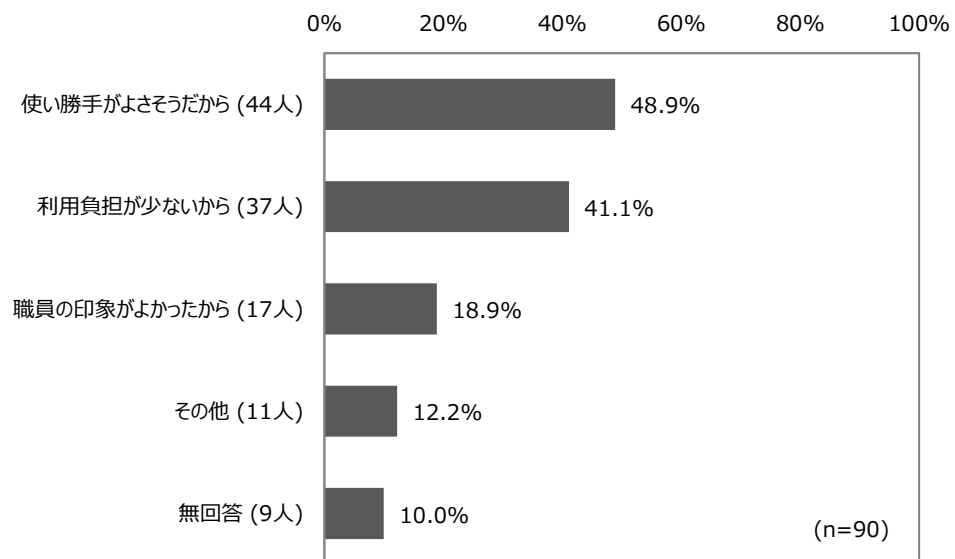
・「行政機関のパンフレット」が最も多く回答数は 9 件、次いで「インターネット」と「本、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ」がそれぞれ 1 件となっています。

国〔問 20〕あなたは、移動支援事業以外の利用も考えましたか。(○は1つ)



・「考えた」が 28.8%、「考えなかった」が 63.3%となっています。

国〔問 20〕「考えた」を選んだ方にお聞きします。他の外出方法と比べて、移動支援事業を選んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



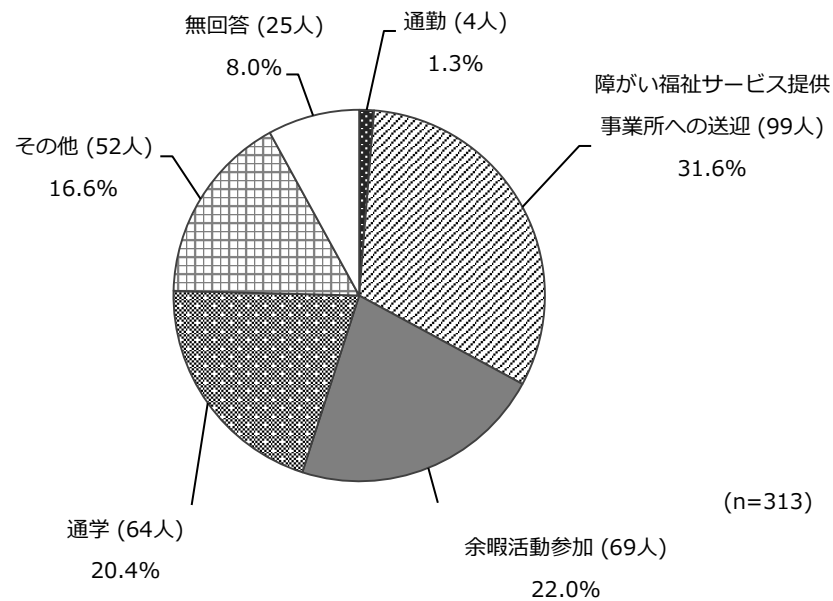
その他の内容: 使用中(4人)/両親とも仕事で働いているため(2人)/

家族や友人・知人の都合が悪い時でも利用できるから/早く親から離れたいから/

他の利用サービスが分からなかった

・「使い勝手がよさそうだから」が最も多く 48.9%、次いで「利用負担が少ないから」41.1%、「職員の印象がよかったから」18.9%となっています。

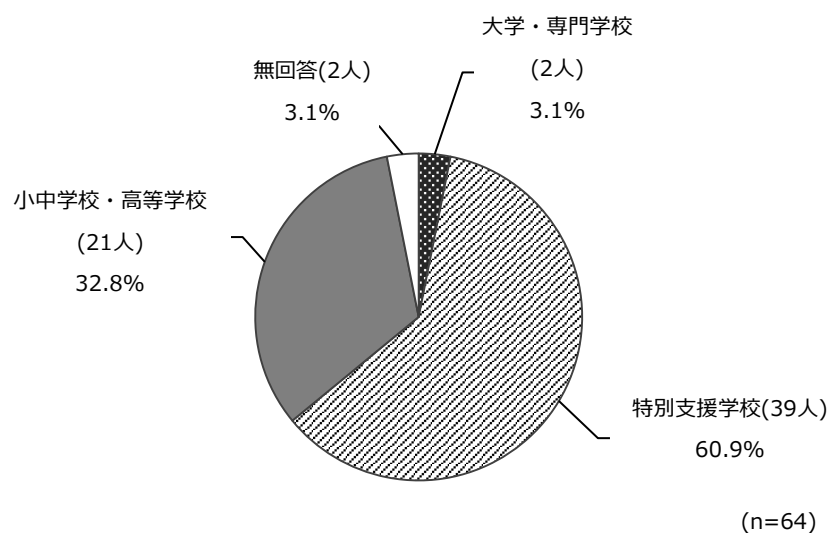
市〔問 21〕 あなたの移動支援事業の主な利用目的は何ですか。(○は1つ)



その他の内容:病院(25人)/買い物(18人)/散髪(2人)/習い事、勉強会(2人)

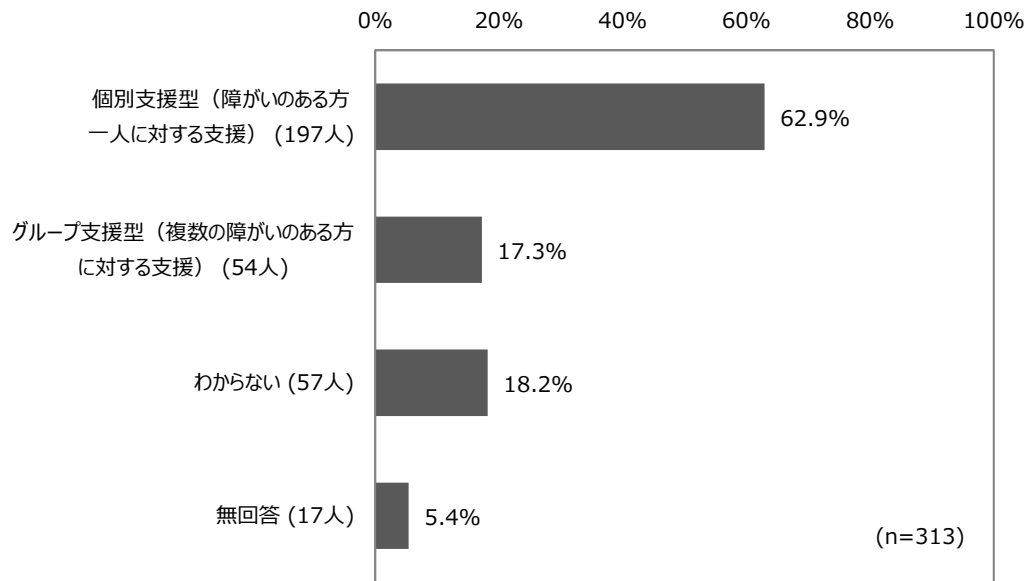
・「障害福祉サービス提供事業所への送迎」が最も多く 31.6%、次いで「余暇活動参加」22.0%、「通学」20.4%となっています。

市〔問 21〕 「通学」を選んだ方にお聞きします。通っている学校を選んでください。(○は1つ)



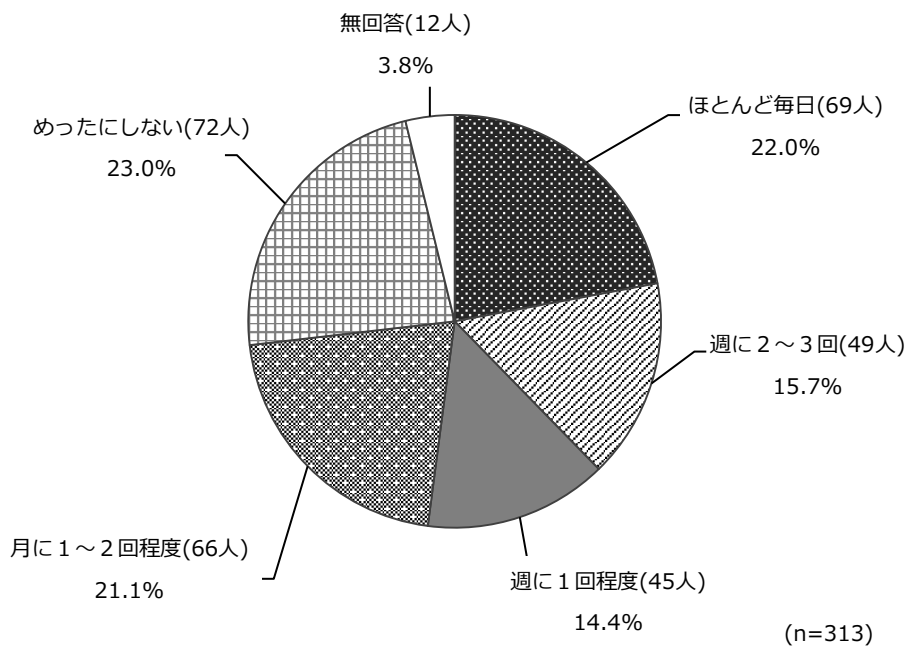
・「特別支援学校」が最も多く 60.9%、次いで「小中学校・高等学校」32.8%、「大学・専門学校」3.1%となっています。

国〔問 22〕 あなたが利用している移動支援事業の支援の型を選んでください。(あてはまるものすべてに○)



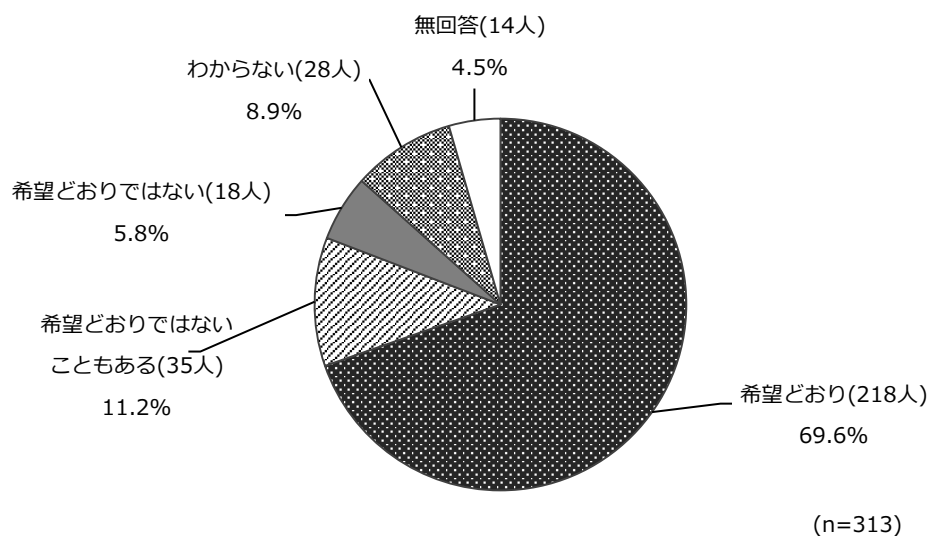
・「個別支援型（障がいのある方一人に対する支援）」が最も多く 62.9%、次いで「わからない」18.2%、「グループ支援（複数の障がいのある方に対する支援）」17.3%となっています。

国〔問 23〕 あなたは、移動支援事業をどのくらい利用していますか。(○は1つ)



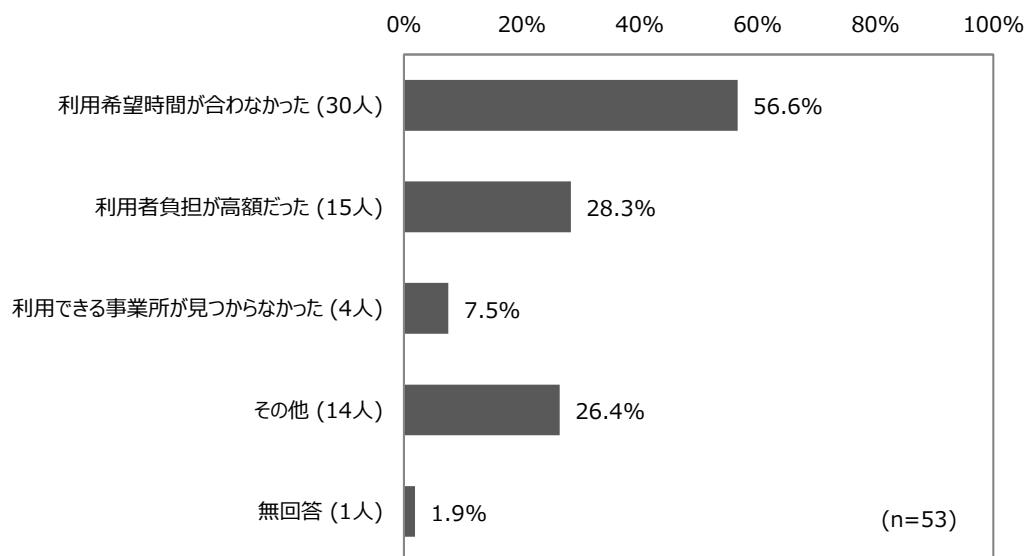
・「めったにしない」が最も多く 23.0%、次いで「ほとんど毎日」22.0%、「月に1～2回程度」21.1%となっています。

〔問 24〕〔問 23〕の利用回数は、あなたの希望どおりですか。(○は1つ)



・「希望どおり」が最も多く 69.6%、次いで「希望どおりではないこともある」11.2%、「わからない」8.9%となっています。

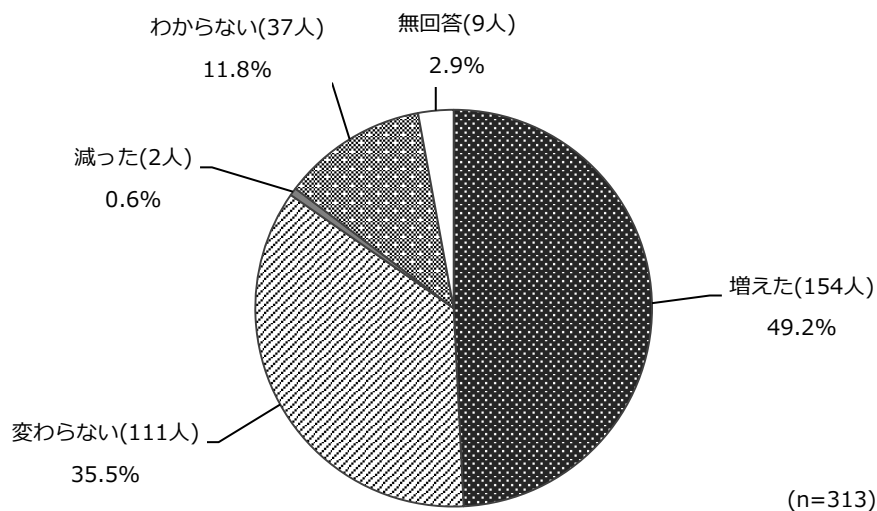
〔問 24〕「希望どおりではないこともある」または「希望どおりではない」を選んだ方にお聞きします。希望どおりではない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



その他の内容: 人員不足(7人)/場所が遠い(2人)/利用回数が少ない

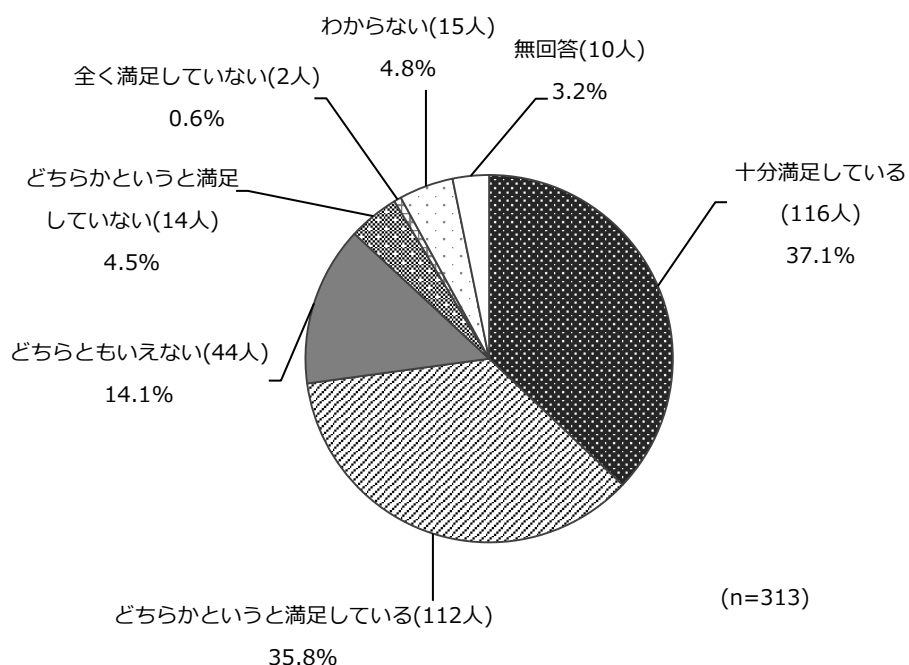
・「利用希望時間が合わなかった」が最も多く、回答数は 30 件、次いで「利用者負担が高額だった」が 15 件、「利用できる事業所が見つからなかった」4 件となっています。

国〔問 25〕 移動支援事業を利用したことで、あなたの外出は増えましたか。(○は 1 つ)



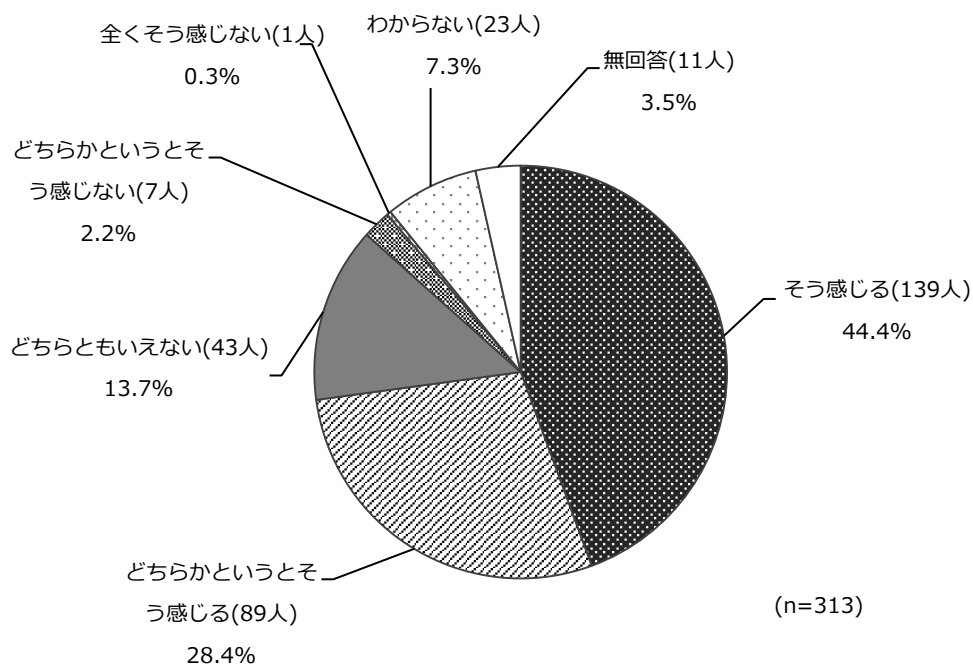
・「増えた」が最も多く 49.2%、次いで「変わらない」35.5%、「わからない」11.8%となっています。

国〔問 26〕 あなたは、 移動支援事業に満足していますか。(○は 1 つ)



・「十分満足している」および「どちらかという満足している」の割合は 72.9%、「どちらかという満足していない」および「全く満足していない」の割合は 5.1%となっています。

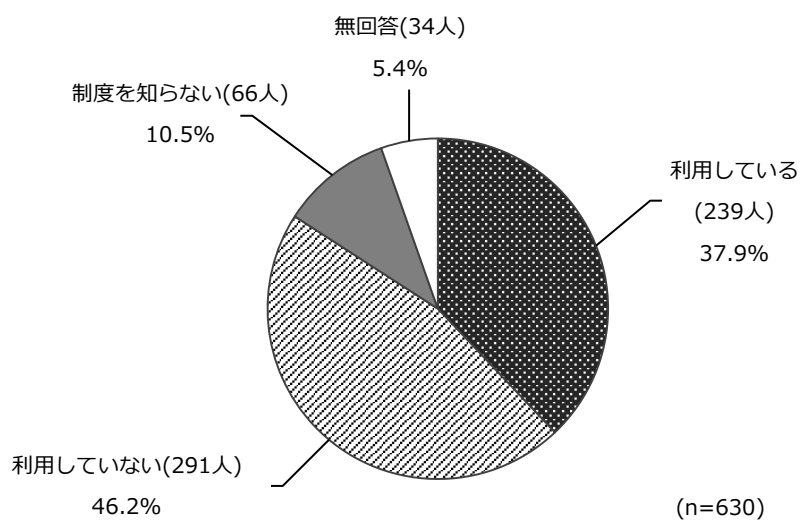
国〔問 27〕 移動支援事業を利用したことによって、あなたの暮らしはよくなりましたか。
(○は1つ)



・「そう感じる」および「どちらかというそう感じる」の割合は 72.8%、「どちらかというそう感じない」および「全くそう感じない」の割合は 2.5%となっています。

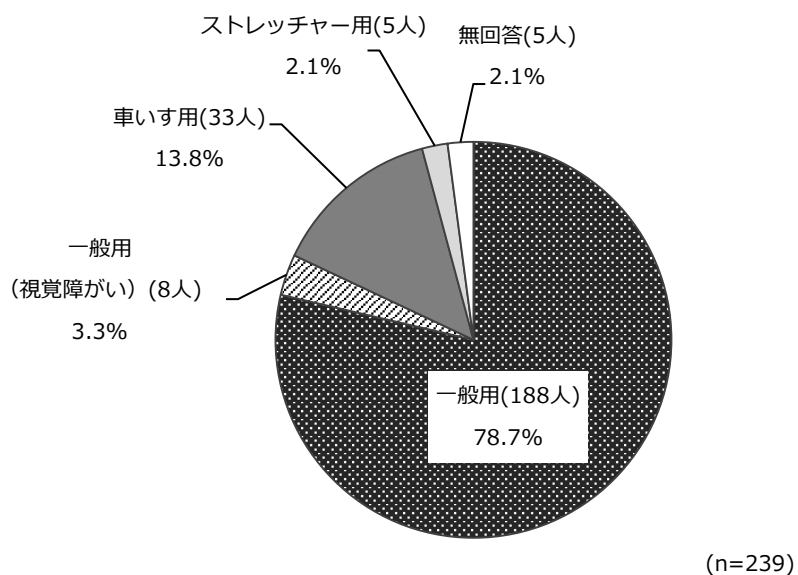
C-3. 障がい者福祉タクシー制度

市〔問 28〕 あなたは、障がい者福祉タクシー制度を利用していますか。(○は1つ)



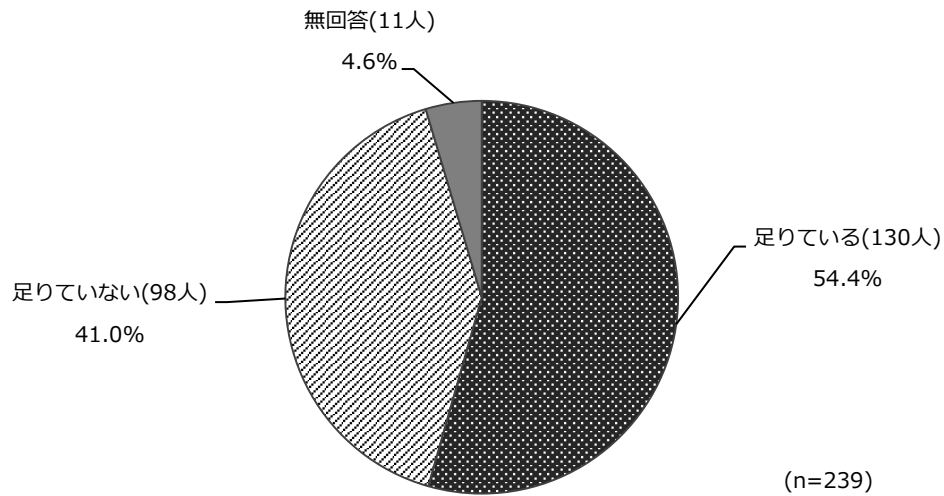
・「利用していない」が最も多く 46.2%、次いで「利用している」37.9%、「制度を知らない」10.5%となっています。

市〔問 29〕 利用している福祉タクシー券の種類は何ですか。(○は1つ)



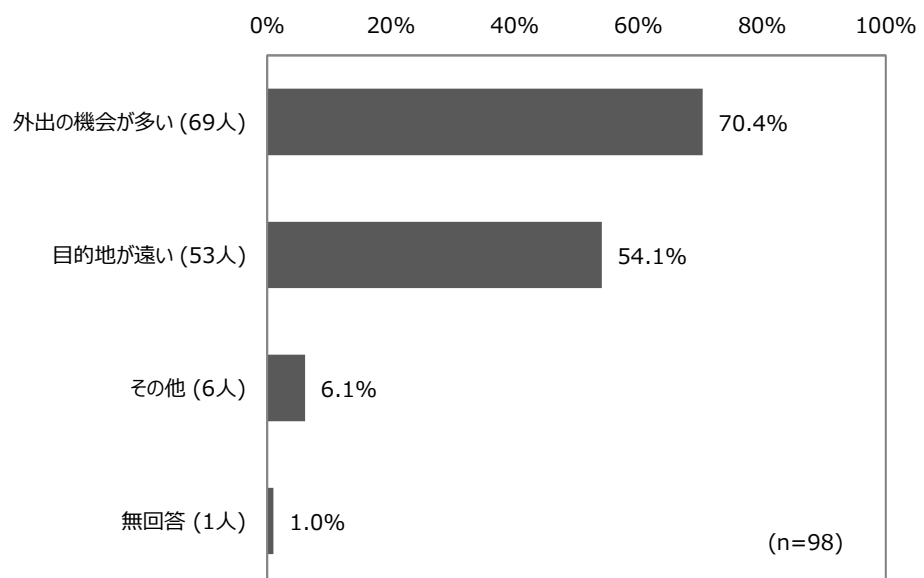
・「一般用」が最も多く 78.7%、次いで「車いす用」13.8%、「一般用(視覚障がい)」3.3%となっています。

市〔問 30〕 福祉タクシー券の年間の枚数は足りていますか。(○は1つ)



・「足りている」が54.4%、「足りていない」が41.0%となっています。

市〔問 30〕「足りていない」を選んだ方にお聞きします。足りない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

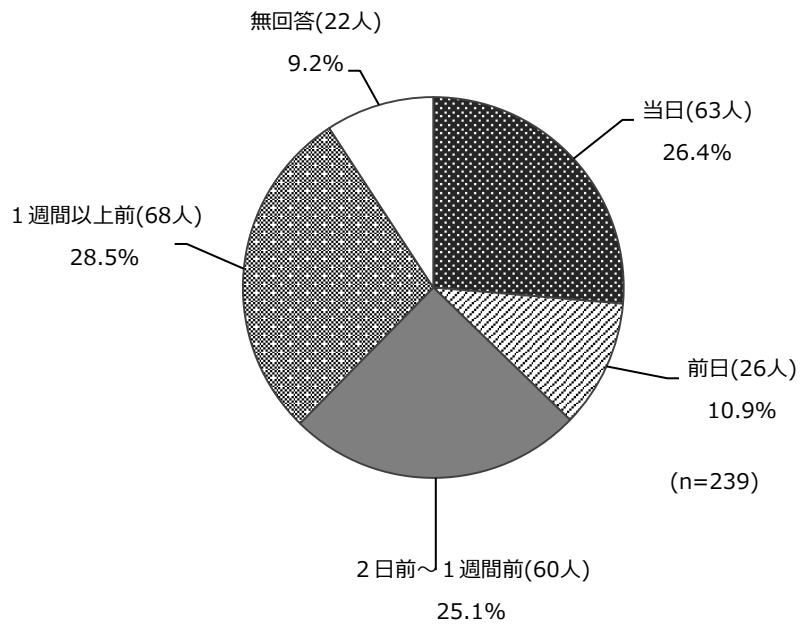


その他の内容:利用料金が安い(2人)/どちらともいえない(2人)

・「外出の機会が多い」が最も多く70.4%、次いで「目的地が遠い」が54.1%となっています。

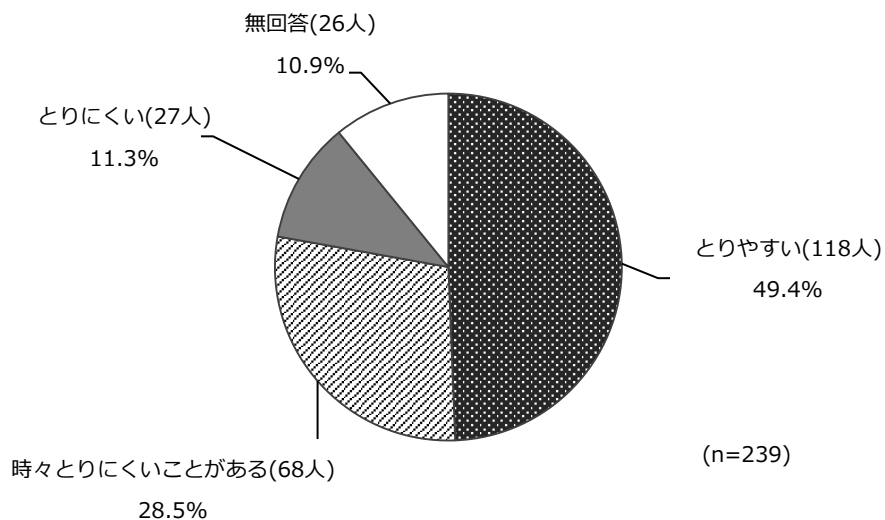
市〔問 31〕 タクシーの予約についてお聞きます。

(1) あなたが予約の連絡をするのはいつですか。(〇は1つ)



・「1週間以上前」が最も多く28.5%、次いで「当日」26.4%、「2日前～1週間前」25.1%となっています。

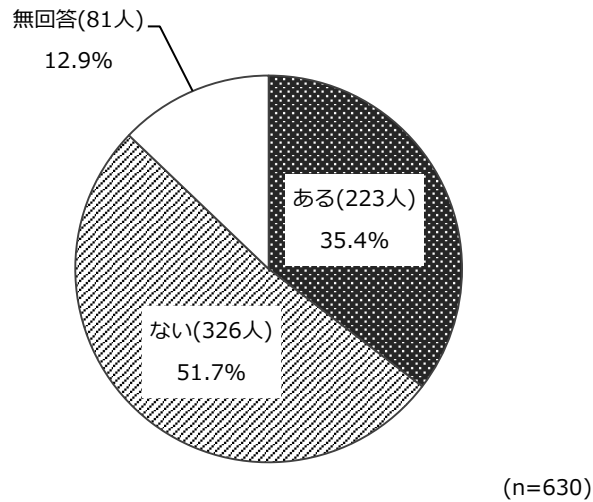
市〔問 31〕 (2) 予約はとりやすいですか。(〇は1つ)



・「とりやすい」が最も多く49.4%、次いで「時々とりにくいことがある」28.5%、「とりにくい」11.3%となっています。

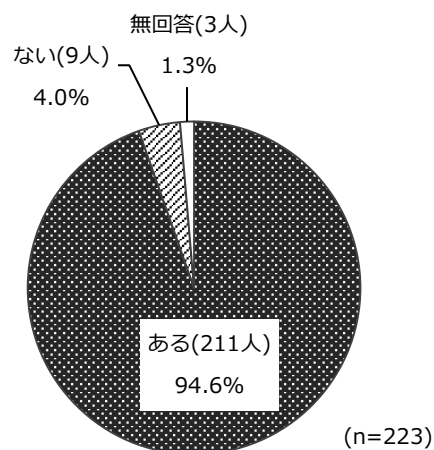
D. 日中一時支援事業

市〔問 33〕 あなたは、日中一時支援事業の利用申請をしたことがありますか。(○は1つ)



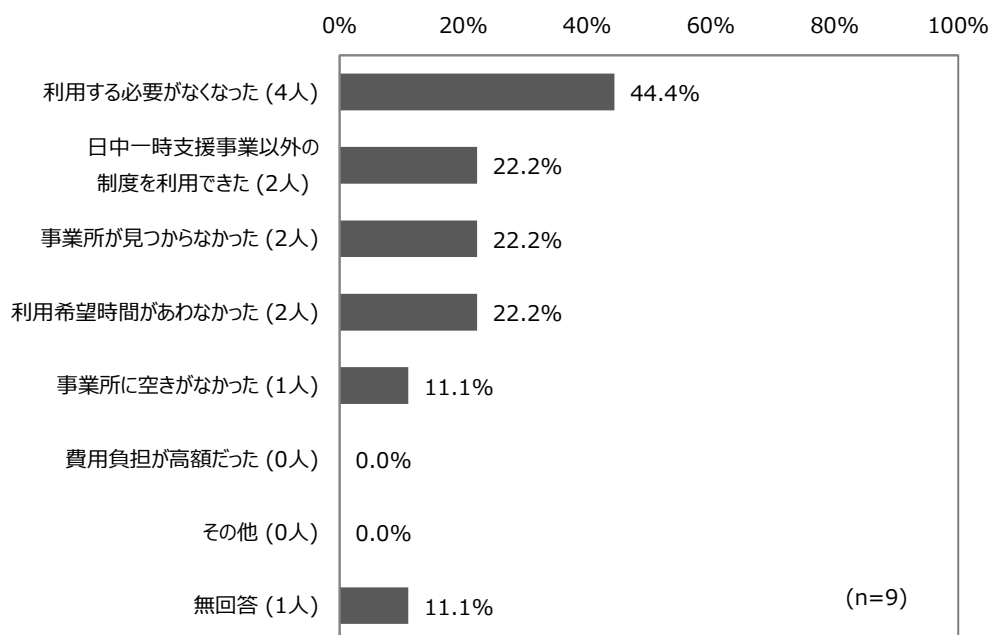
・「ある」が 35.4%、「ない」が 51.7%となっています。

市〔問 34〕 あなたは、日中一時支援事業を利用したことがありますか。(○は1つ)



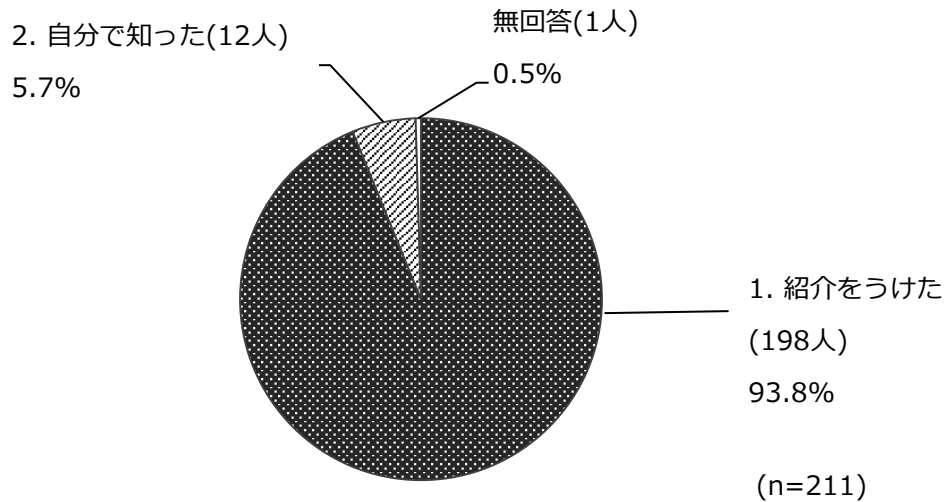
・「ある」が 94.6%、「ない」が 4.0%となっています。

市〔問 34〕「ない」を選んだ方にお聞きします。利用しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



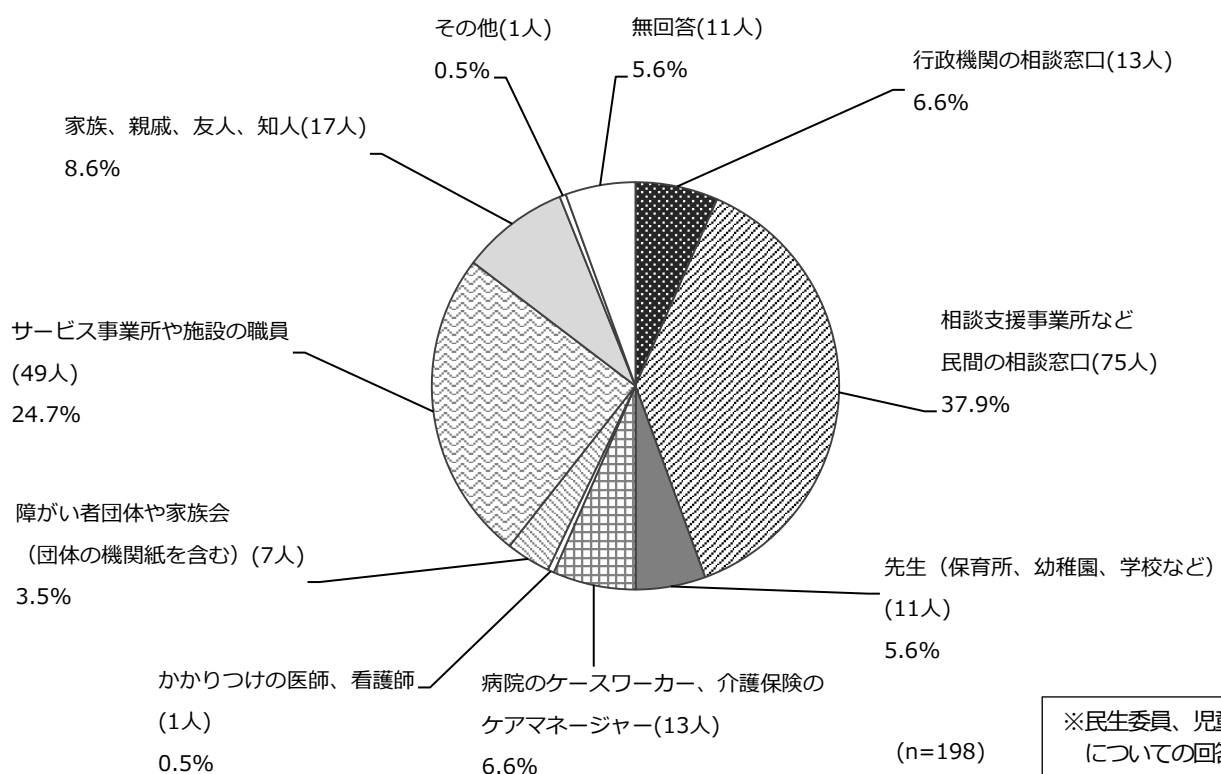
- ・「利用する必要がなくなった」が最も多く、回答数は4件、次いで「日中一時支援事業以外の制度を利用できた」、「事業所が見つからなかった」、「利用希望時間があわなかった」がそれぞれ2件となっています。

〔問 35〕 日中一時支援事業の利用のきっかけを教えてください。(○は1つ)



・「紹介を受けた」が 93.8%、「自分で知った」が 5.7%となっています。

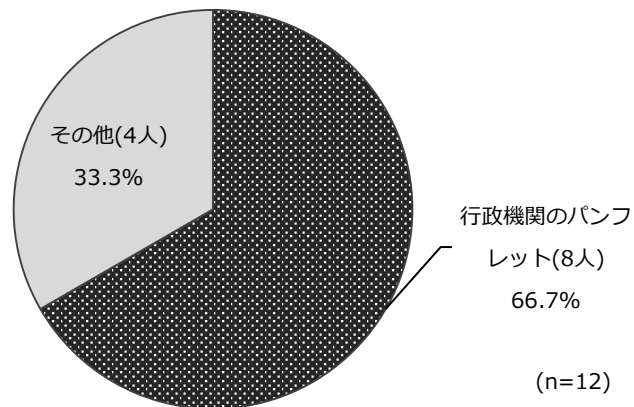
〔問 35〕 (1) 「1. 紹介を受けた」を選んだ方にお聞きします。
どなたから紹介を受けましたか。(○は1つ)



※民生委員、児童委員
についての回答は無し

・「相談支援事業所など民間の相談窓口」が最も多く 37.9%、次いで「サービス事業所や施設の職員」24.7%、「行政機関の相談窓口」、「病院のケースワーカー、介護保険のケアマネージャー」が 6.6%となっています。

国 【問 35】 (2) 「2. 自分で知った」を選んだ方にお聞きします。
どこで知りましたか。(○は1つ)

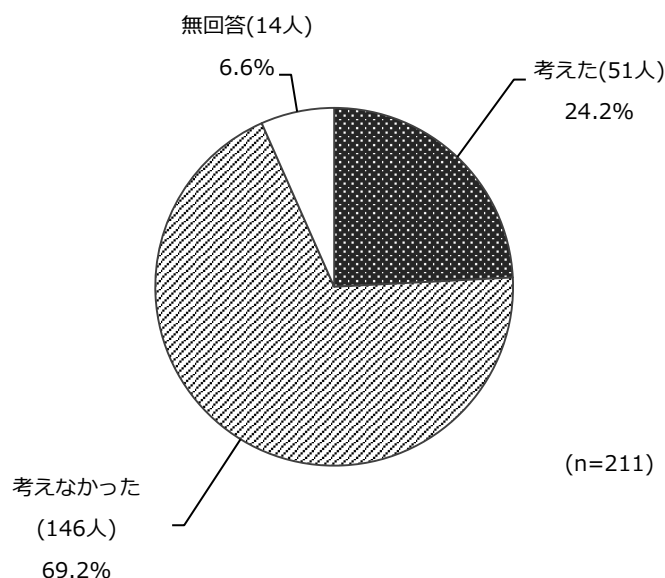


※「インターネット」、「本、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ」についての回答は無し

その他の内容:事業所にて(2人) / ロコミ

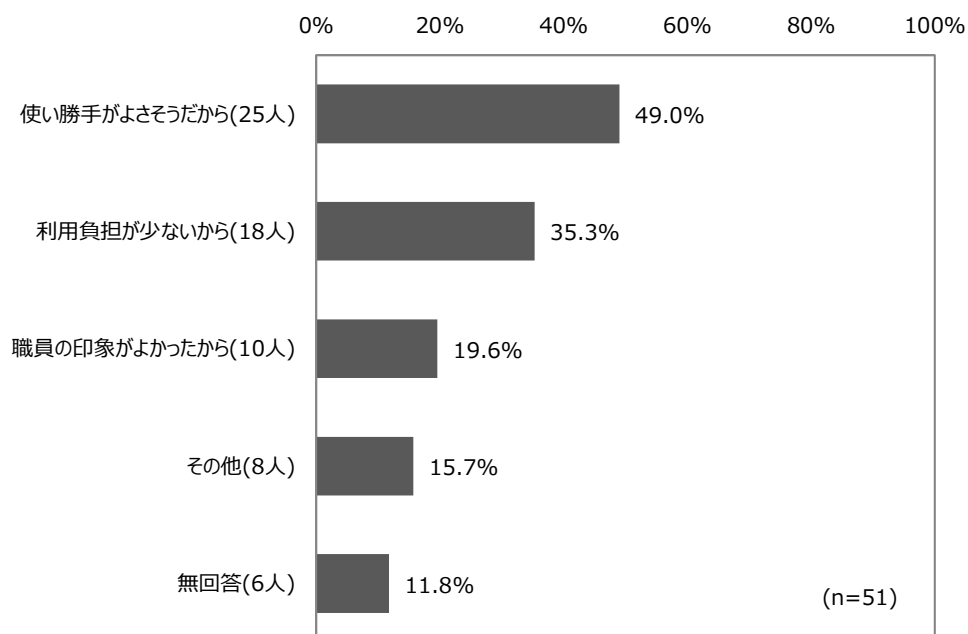
・「行政機関のパンフレット」の回答人数は8人となっています。

〔問 36〕 あなたは、日中一時支援事業以外の利用も考えましたか。(○は1つ)



・「考えた」が 24.2%(51 人)、「考えなかった」が 69.2%(146 人)となっています。

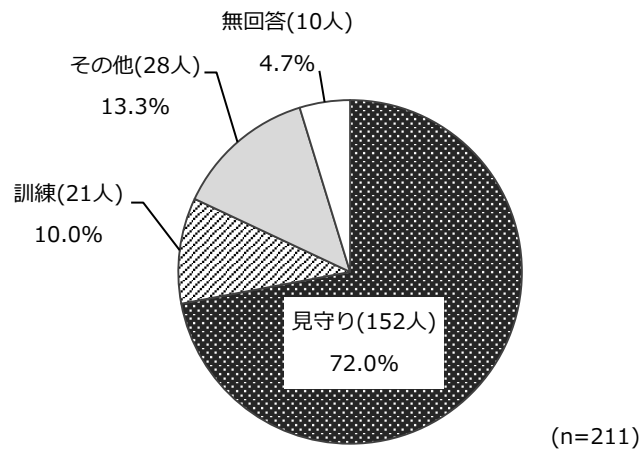
〔問 36〕「考えた」を選んだ方にお聞きします。他のサービスと比べて、日中一時支援事業を選んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



その他の内容：他の利用ができなかったから(4 人)/安心できる/障がい理解してくれるから/
時々利用し、人との繋がりを持ちつつ、施設入所の検討を考えている

・「使い勝手がよさそうだから」が最も多く、49.0%(25 人)、次いで「利用負担が少ないから」が 35.3%(18 人)、「職員の印象がよかったから」が 19.6%(10 人)となっています。

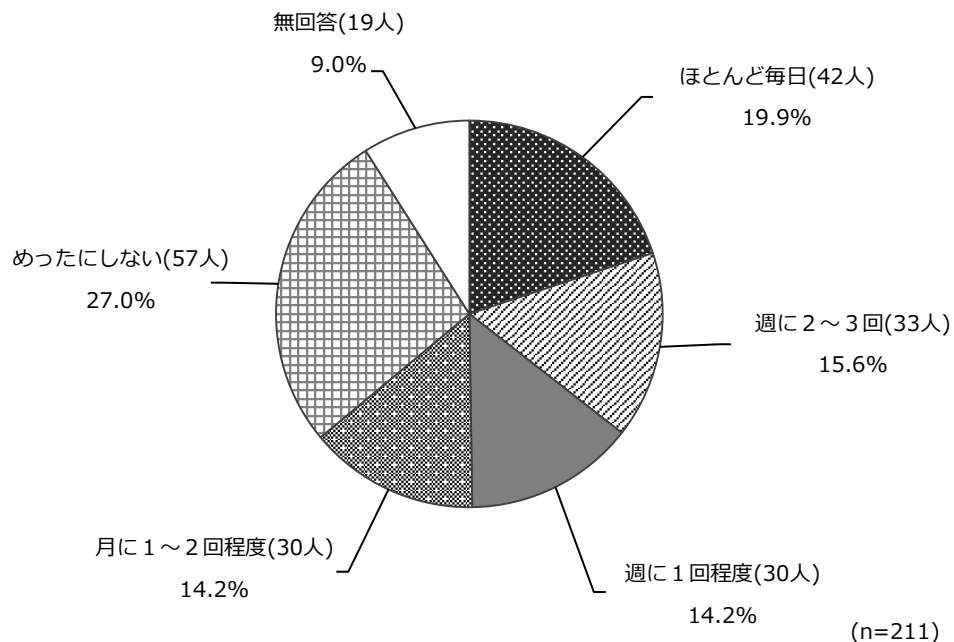
国〔問 37〕 あなたが利用している日中一時支援事業の内容を選んでください。(○は 1 つ)



その他の内容: 今現在は利用なし(7 人)/生活介護(4 人)/外出・宿泊(2 人)/食事・入浴(2 人)

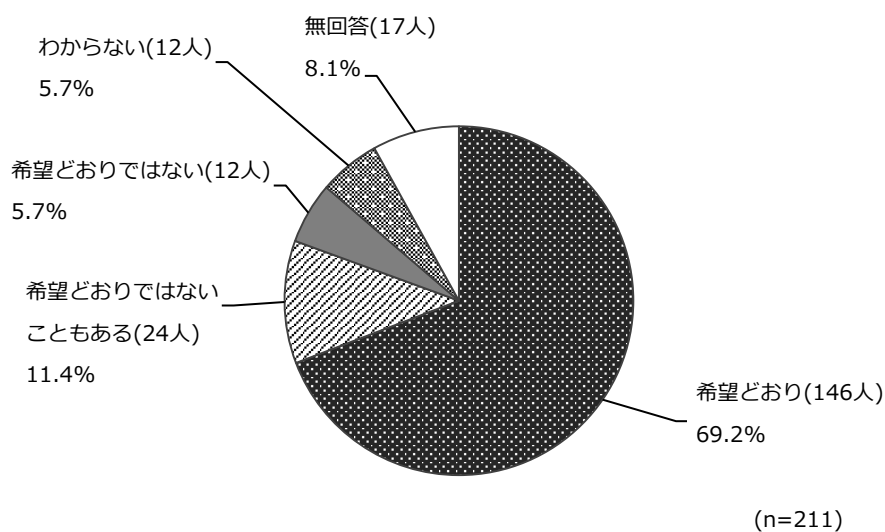
・「見守り」が最も多く 72.0%、次いで「訓練」10.0%となっています。

国〔問 38〕 あなたは、日中一時支援事業をどれくらい利用していますか。(○は 1 つ)



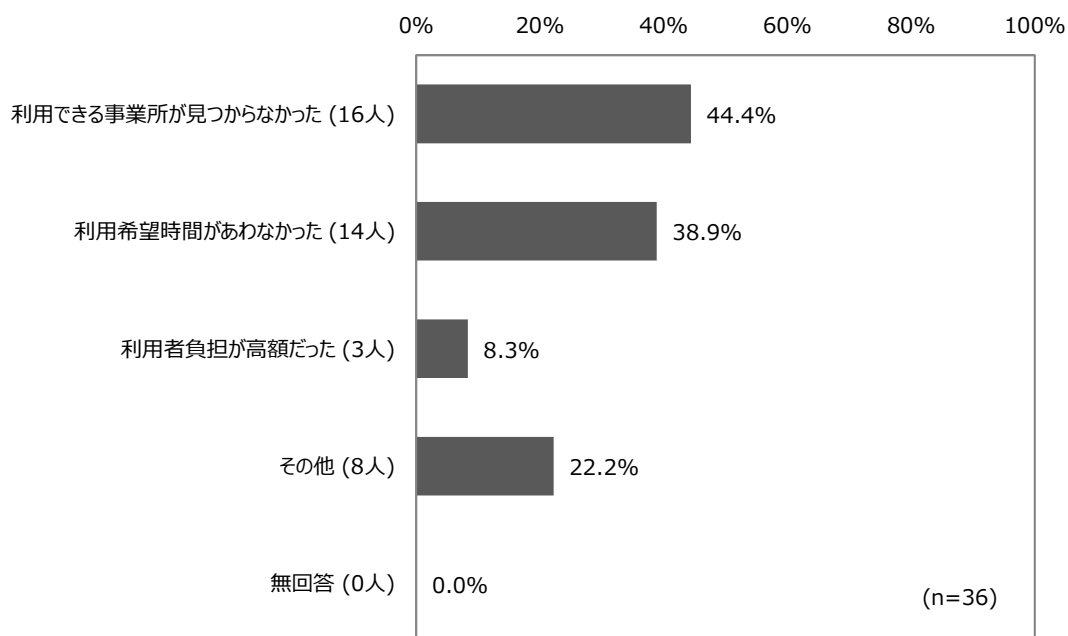
・「めったにしない」が最も多く 27.0%、次いで「ほとんど毎日」19.9%、「週に 2～3 回」15.6%となっています。

〔問 39〕〔問 38〕の利用回数は、あなたの希望どおりですか。(○は1つ)



・「希望どおり」が最も多く 69.2%(146 人)、次いで「希望どおりではないこともある」11.4%(24 人)、「希望どおりではない」、「わからない」がそれぞれ 5.7%(12 人)となっています。

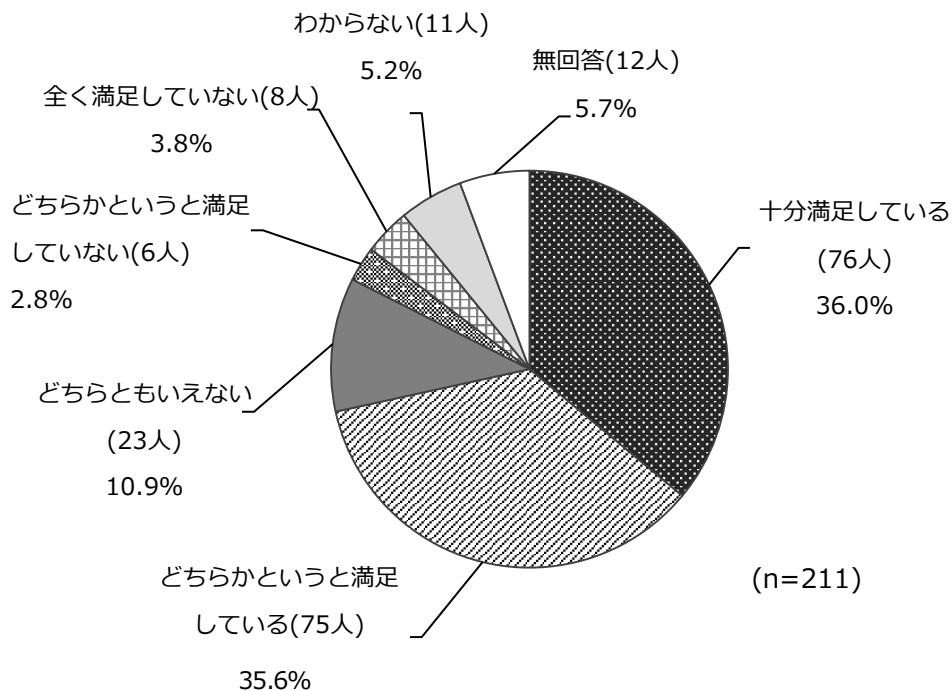
〔問 39〕「希望どおりではないこともある」または「希望どおりではない」を選んだ方にお聞きします。希望どおりではない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



その他の内容:行きたくない(3 人)/支援内容の制限(2 人)/人手不足の為(2 人)/
利用者の心理面を見ながらの利用

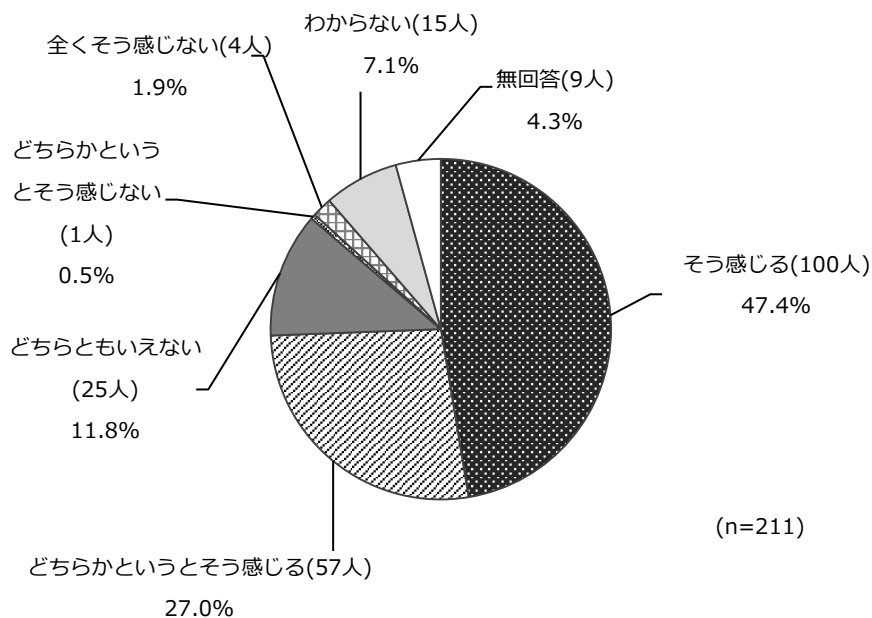
・「利用できる事業所が見つからなかった」が最も多く 44.4%(16 人)、次いで「利用希望時間があわなかった」が 38.9%(14 人)、「利用者負担が高額だった」が 8.3%(3 人)となっています。

国〔問 40〕 あなたは、日中一時支援事業に満足していますか。(○は1つ)



・「十分満足している」および「どちらかという満足している」の割合は 71.6%、「どちらかという満足していない」および「全く満足していない」の割合は 6.6%となっています。

国〔問 41〕 日中一時支援事業を利用したことによって、あなたの暮らしはよくなりましたか。(○は1つ)



・「そう感じる」および「どちらかというそう感じる」の割合は 74.4%(157 人)、「どちらかというそう感じない」および「全くそう感じない」の割合は 2.4%(5 人)となっています。

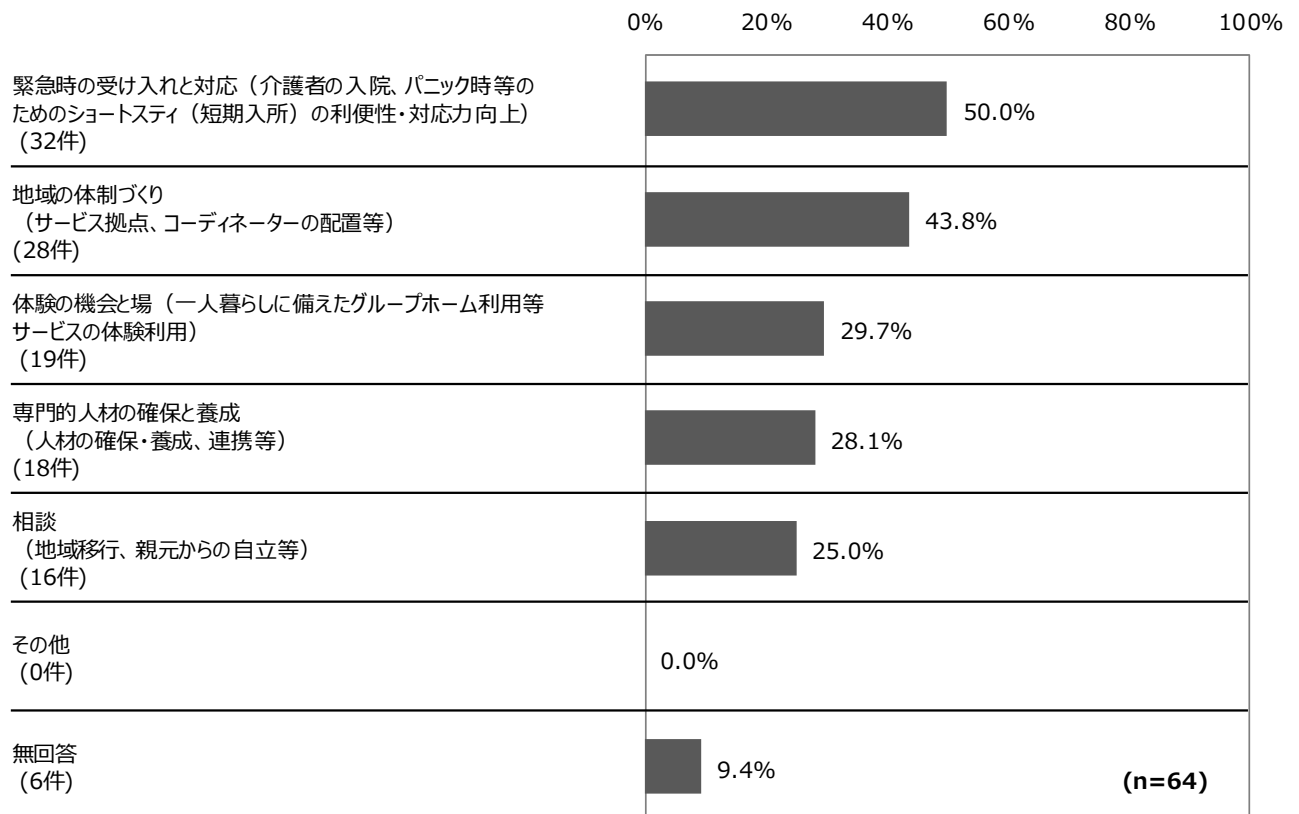
【法人】

A. 基本情報

〔問 1〕は法人名等の設問のため集計データはありません。

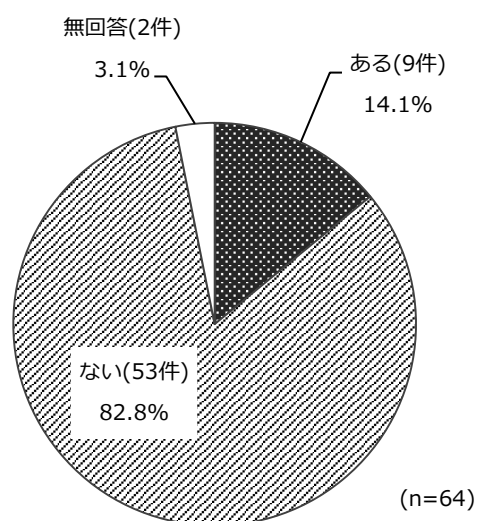
B. 地域生活支援拠点整備

市〔問 2〕地域生活支援拠点を整備するにあたって、特に必要と思われる機能を2つ選択してください。(〇は2つ)



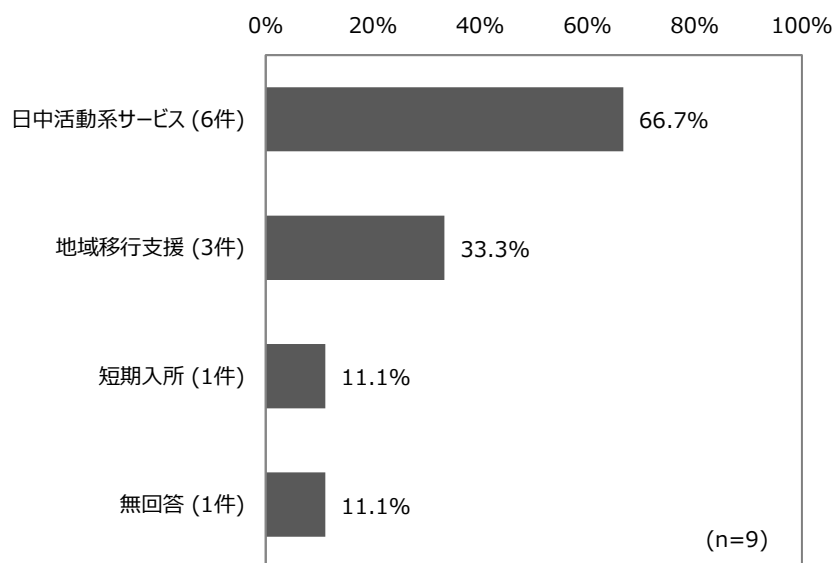
・「緊急時の受け入れと対応（介護者の入院、パニック時等のためのショートステイ（短期入所）の利便性・対応力向上）」が最も多く、回答数は 32 件、次いで「地域の体制づくり（サービス拠点、コーディネーターの配置等）」28 件、「体験の機会と場（一人暮らしに備えたグループホーム利用等サービスの体験利用）」19 件となっています。

市〔問3〕 地域生活支援拠点として事業を実施する予定がありますか。(○は1つ)



・「ある」の回答数が9件、「ない」が53件となっています。

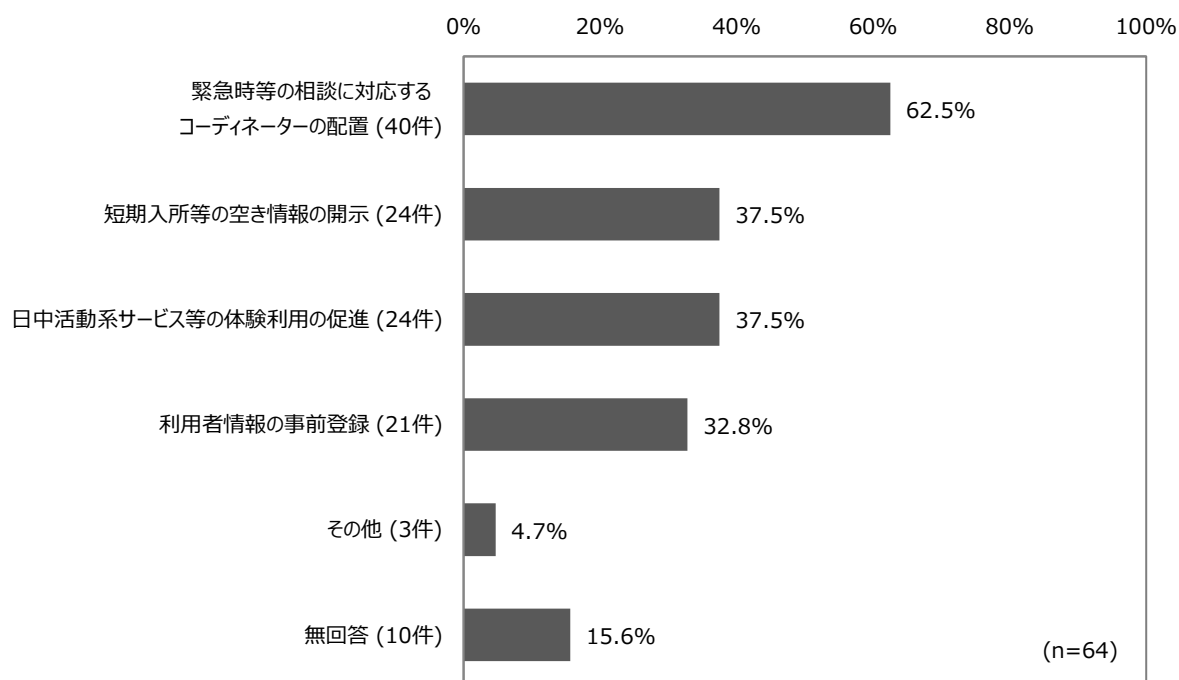
市 〔問3〕「ある」と回答した法人にお聞きます。提供予定のサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



日中活動系サービスの内容: 体験利用/日中一時支援/移行支援/買い物サービス
就労移行、就労継続B、自立訓練(生活訓練)
放課後等デイサービス

・「日中活動系サービス」の回答数が6件、「地域移行支援」が3件、「短期入所」が1件となっています。

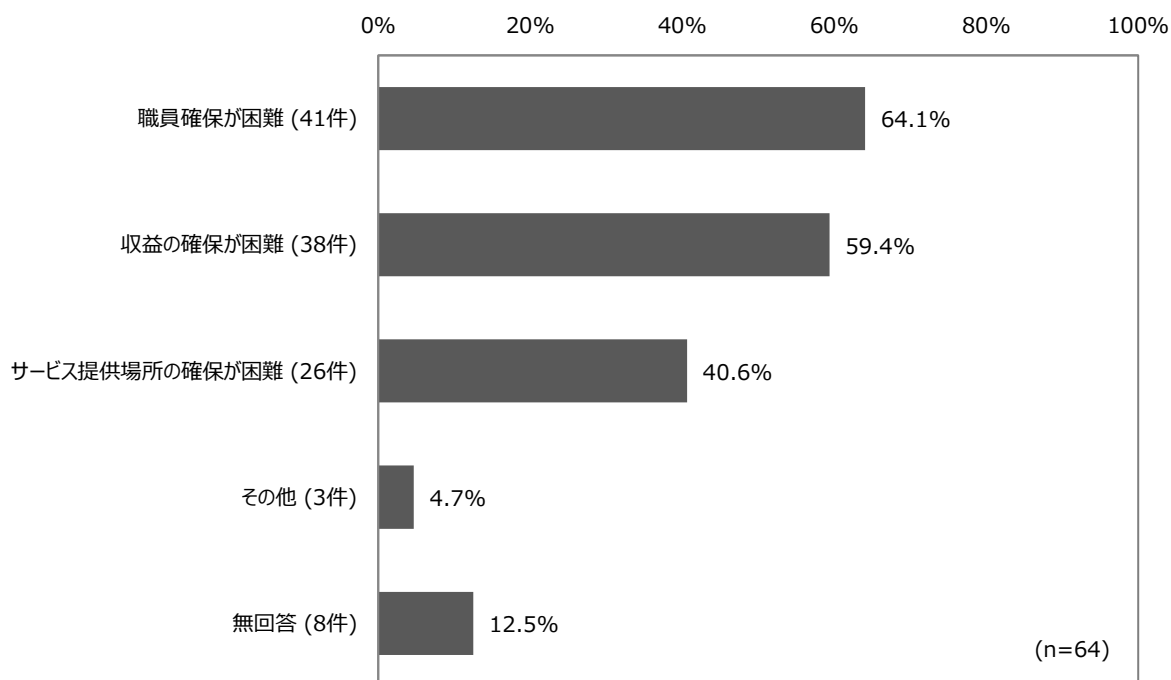
市〔問4〕地域生活支援拠点の円滑な運営に必要な仕組みは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



その他の内容:体験利用の場と機会を増やすこと/わからない

- ・「緊急時等の相談に対応するコーディネーターの配置」が最も多く、回答数は 40 件、次いで「短期入所等の空き情報の開示」、「日中活動系サービス等の体験利用の促進」がそれぞれ 24 件、「利用者情報の事前登録」21 件となっています。

市〔問5〕 拠点整備にあたっての問題点は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

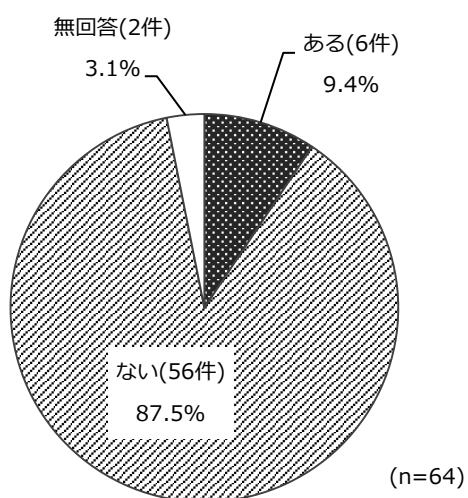


その他の内容: 法令、定款等により困難/送迎について

・「職員確保が困難」の回答数は41件、「収益の確保が困難」38件、「サービス提供場所が困難」26件となっています。

C. 障がい福祉計画、障がい児福祉計画策定

市〔問6〕 貴法人内の各事業所の拡張予定はありますか。(○は1つ)



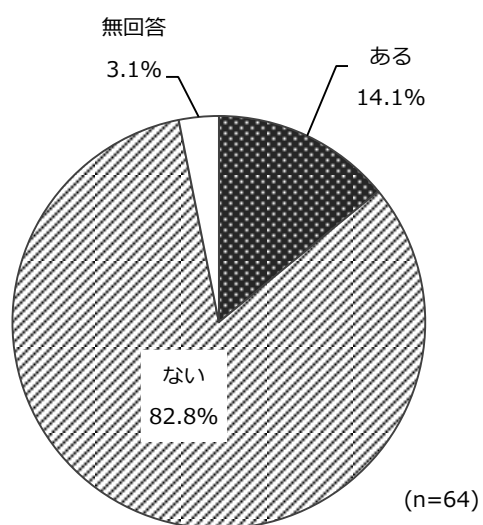
・「ある」の回答数が6件、「ない」が56件となっています。

市〔問6〕「ある」を選択した法人にお聞きします。拡張する事業所名、事業名、利用定員を記入し、拡張時期を選択してください。

法人	事業名	定員(人)	拡張時期					
		拡張前	令和元年中	令和2年中	令和3年中	令和4年中	令和5年中	未定
		拡張後						
A	就労継続B型	0		○				
		20						
B	共同生活援助	H31.3.31 4人 H31.4.17 6人		○				
		12						
C	放課後等デイサービス	0		○				
		10						
C	日中一時支援事業	0		○				
		3~5						
D	児童施設	—						○
		—						
E	居宅介護	—	○					
		—						
E	居宅介護	—		○				
		—						
F	地域密着型通所介護→共生型サービスとして(空き利用にて、開始予定)、生活介護、放デイ検討中	10		○				
		18						

	拡張定員(人)					
事業名	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	未定
就労継続B型		20				
共同生活援助		2				
放課後等デイサービス		10				
日中一時支援事業		3~5				
児童施設						○
居宅介護	○	○				
通所介護、生活介護、放デイ		8				

市〔問 7〕 貴法人内の各事業所で、新規事業への参入予定はありますか。(○は1つ)

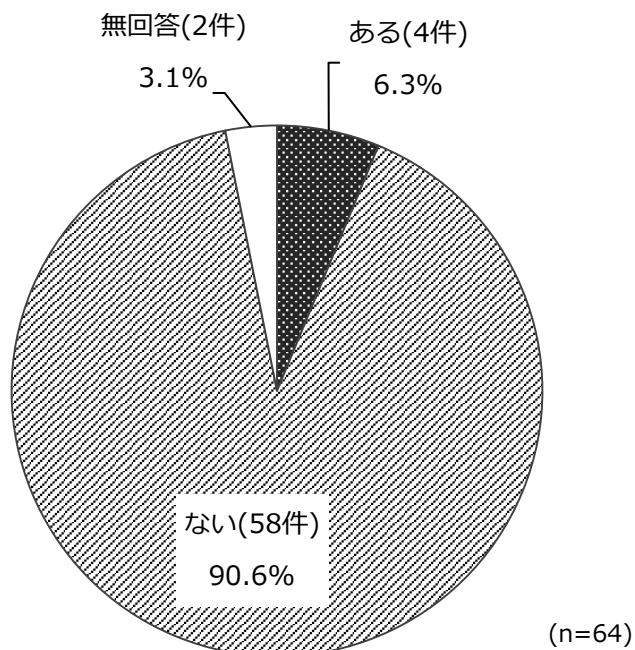


・「ある」の回答数が9件、「ない」が53件となっています。

市〔問7〕「ある」を選択した法人にお聞きします。事業所名、参入する事業名、利用定員を記入し、参入時期を選択してください。

法人	事業名	定員(人)	参入時期					
			令和 元年中	令和 2年中	令和 3年中	令和 4年中	令和 5年中	未 定
A	相談支援	—			○			
A	放課後等デイ	—						○
B	日中サービス支援型 共同生活援助	15 短入 2			○			
C	放課後等デイサービス	10		○				
D	放課後等デイサービス	10		○				
E	就労継続支援 B 型	20	○					
E	共同生活援助 (グループホーム)	12	○					
E	特定相談支援	—	○					
F	生活介護	10			○			
G	共同生活援助	8						○
H	放課後等デイサービス	10	○					

市〔問 8〕 貴法人内の各事業所で、廃止する予定の事業はありますか。(○は 1 つ)



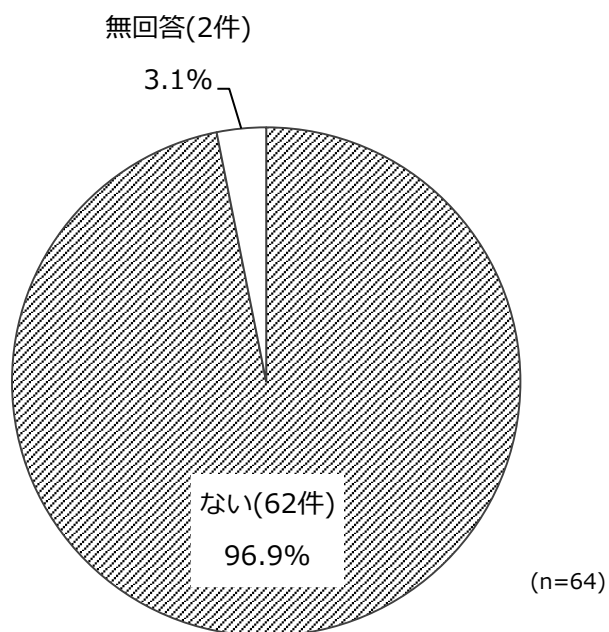
・「ある」の回答数が 4 件、「ない」が 58 件となっています。

市〔問 8〕「ある」を選択した法人にお聞きします。事業所名、廃止する事業名、利用定員を記入し、廃止時期を選択してください。

法人	事業名	定員(人)	廃止時期					
			令和 元年中	令和 2年中	令和 3年中	令和 4年中	令和 5年中	未 定
A	短期入所	3						○
A	短期入所	3						○
B	日中一時支援事業	5						○
C	日中一時支援事業	10						
C	日中一時支援事業	10						
D	就労継続支援 B 型事業	15	○					

※ 法人 C は廃止時期の記載なし

市〔問9〕 貴法人内の各事業所で、縮小する予定の事業はありますか。(○は1つ)



・「ない」の回答数は62件、「ある」は0件となっています。

市〔問9〕「ある」を選択した法人にお聞きします。縮小する事業所名、事業名、利用定員を記入し、縮小時期を選択してください。

該当なし

【事業所】

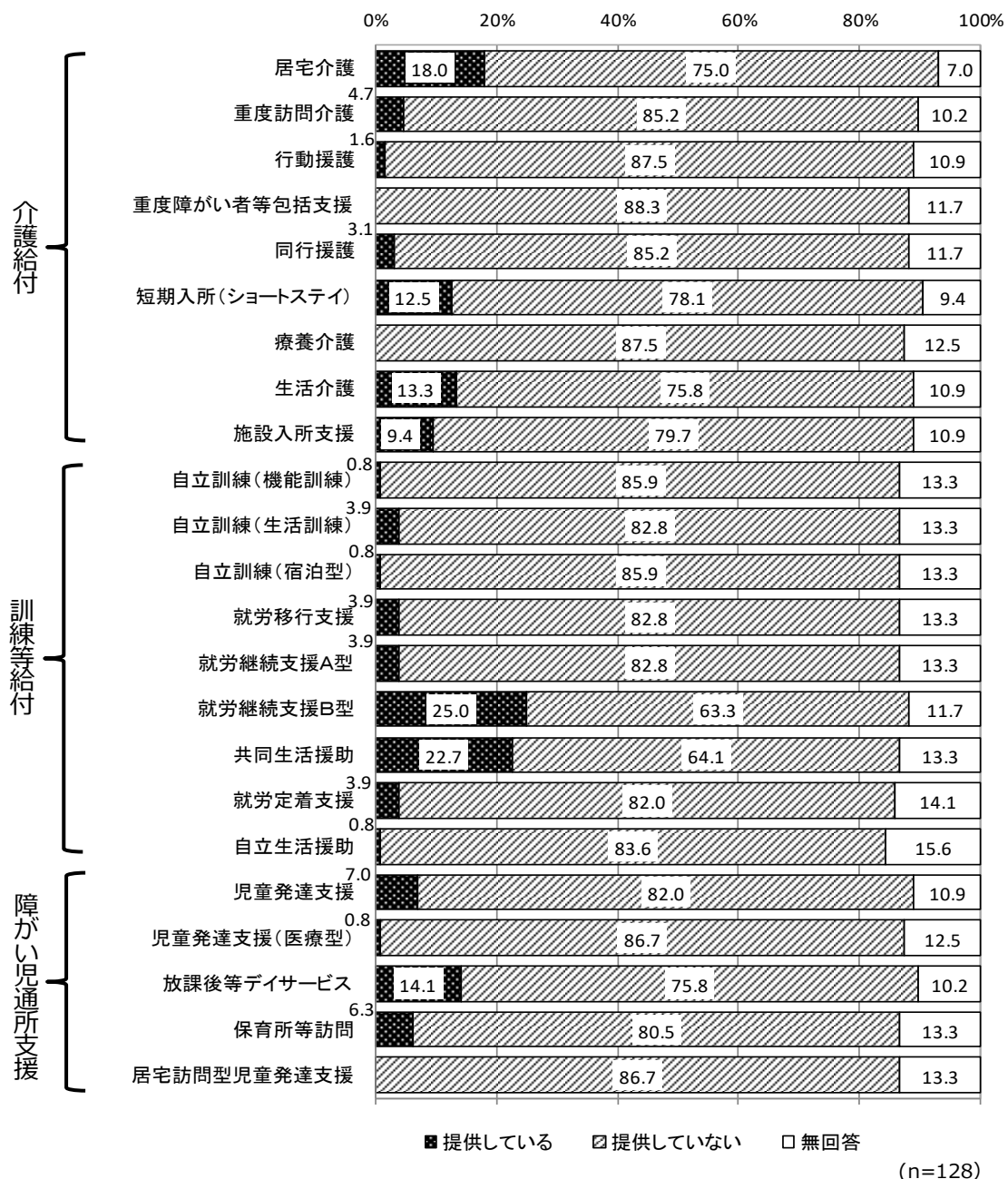
A. 事業所の基本情報

〔問 1〕～〔問 4〕は事業所名等の設問のため集計データはありません。

B. 障がい福祉サービス、地域生活支援事業全般

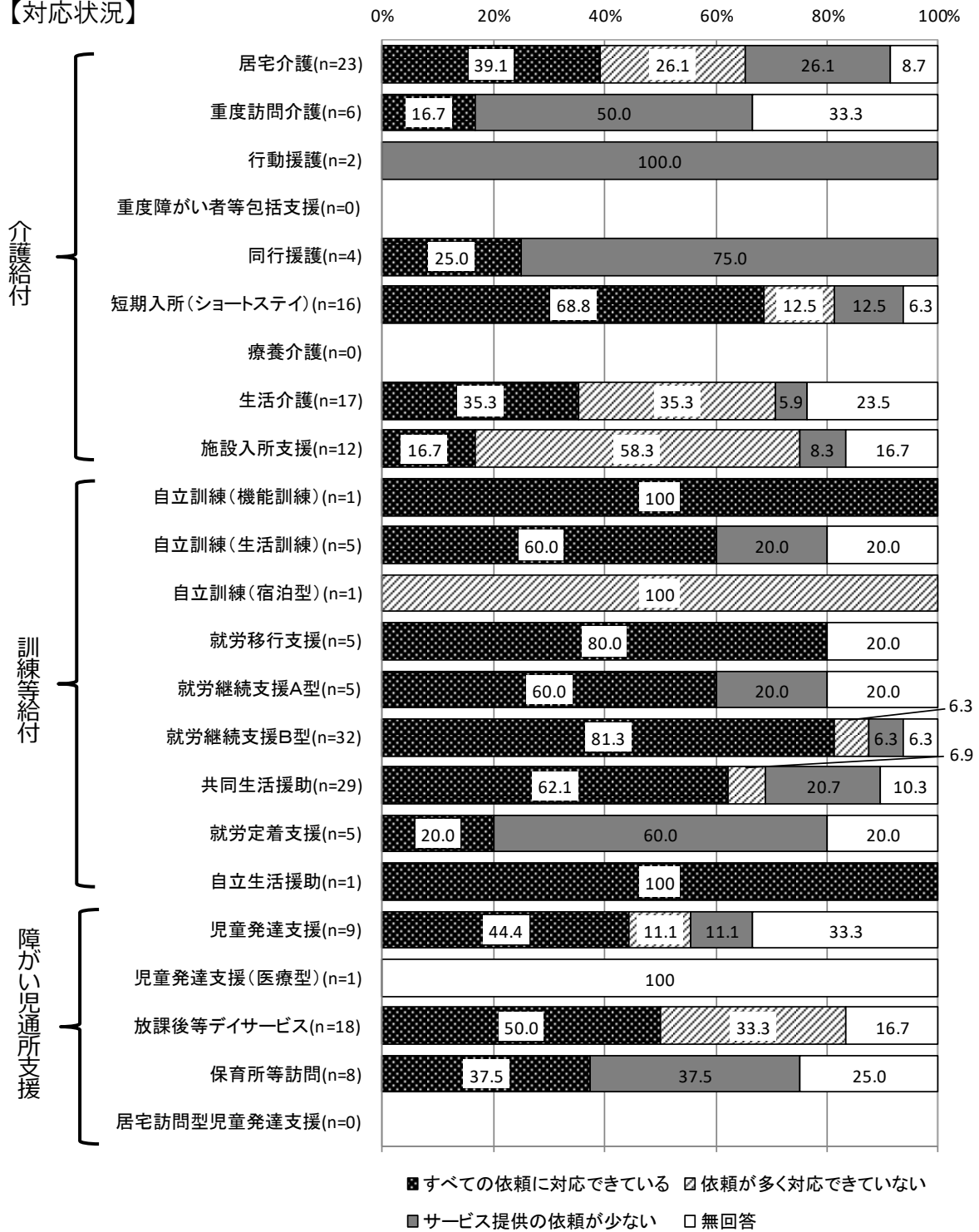
市〔問 5〕 障がい福祉サービスの提供の有無、提供しているサービスについてはその対応状況を選択してください。

【サービス提供の有無】



・回答事業所のうち、提供しているサービスは「就労継続支援B型」が最も多く25.0%、次いで「共同生活援助」22.7%、「居宅介護」18.0%となっています。

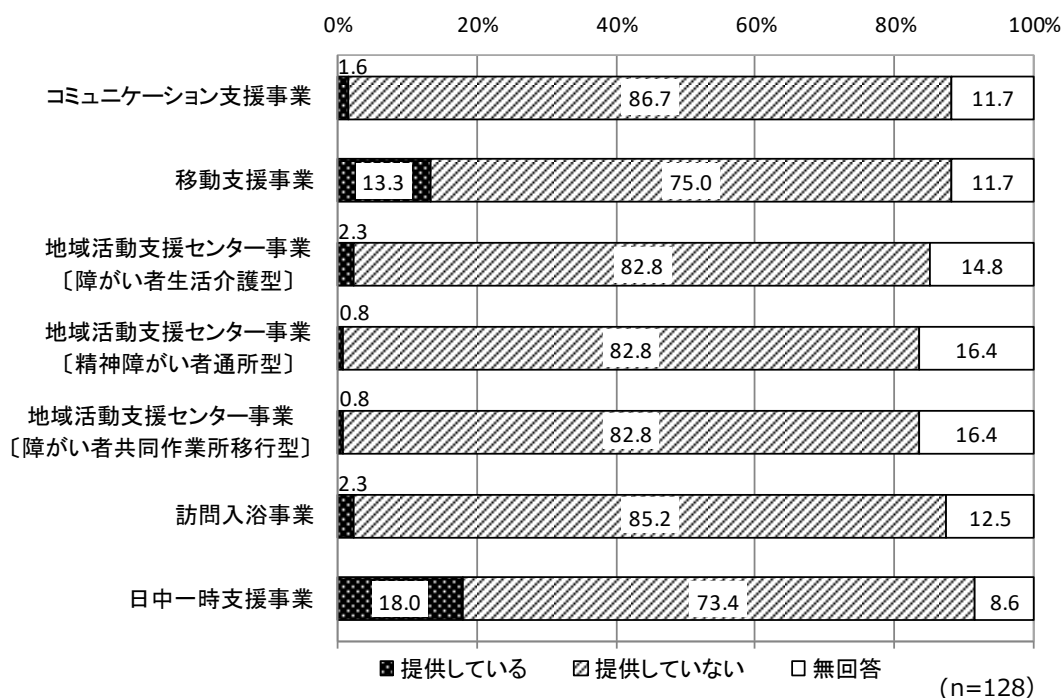
【対応状況】



・依頼が多く対応できていないサービスは「施設入所支援」が最も多く 58.3%、次いで「生活介護」35.3%、「放課後等デイサービス」33.3%となっています。

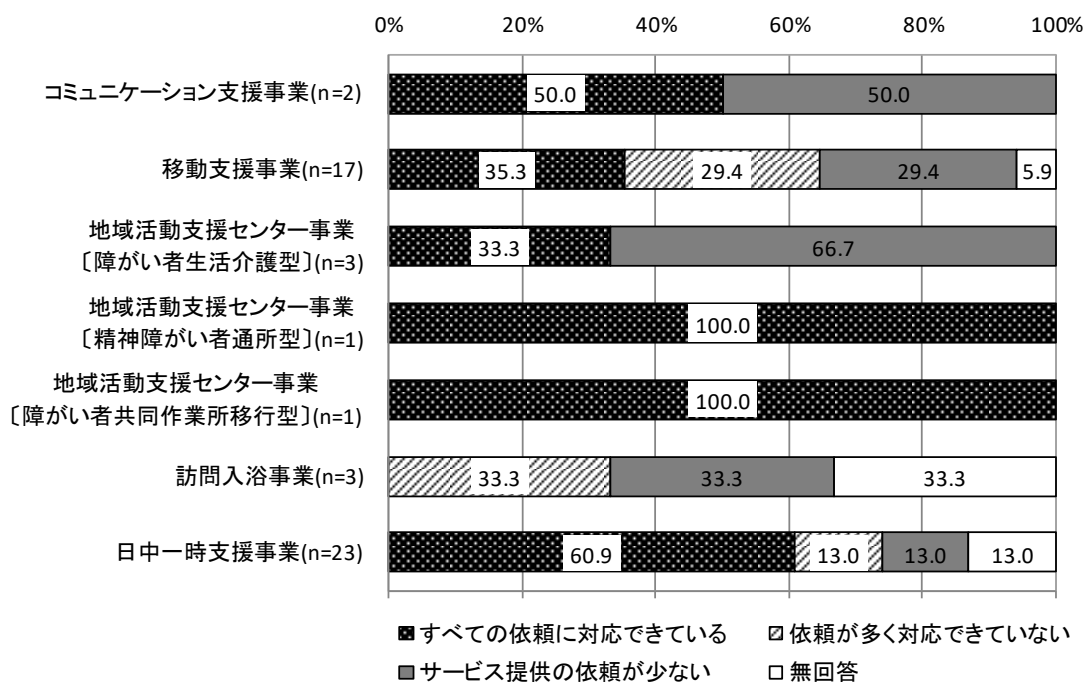
市〔問6〕 地域生活支援事業の実施の有無、実施しているものについてはその対応状況を選択してください。

【実施の有無】



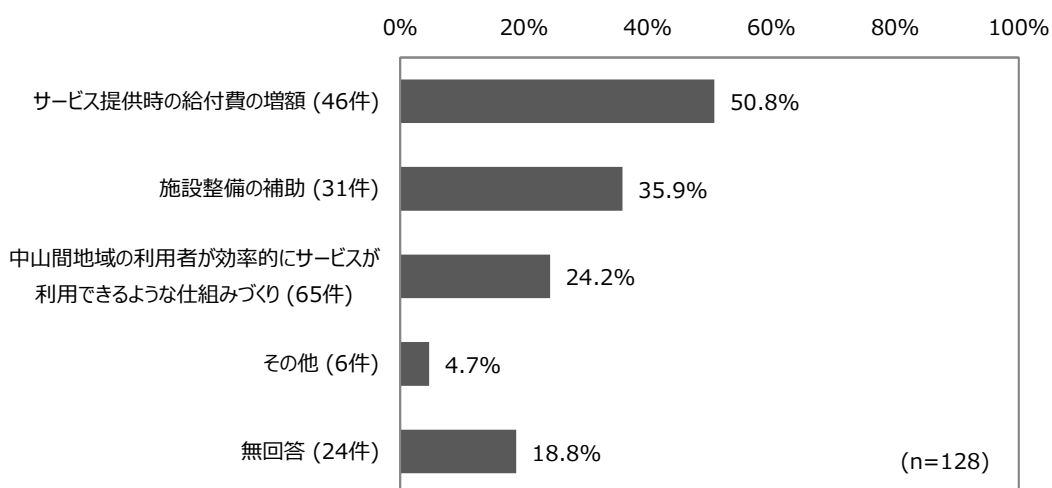
・提供している事業は「日中一時支援事業」が最も多く18.0%、次いで「移動支援事業」13.3%となっています。

【対応状況】



・依頼が多く対応できていないサービスは「移動支援事業」が最も多く5件、次いで「日中一時支援事業」3件となっています。

市〔問7〕 中山間地域に居住する障がい者への支援を充実させるため、事業所から市に期待するものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



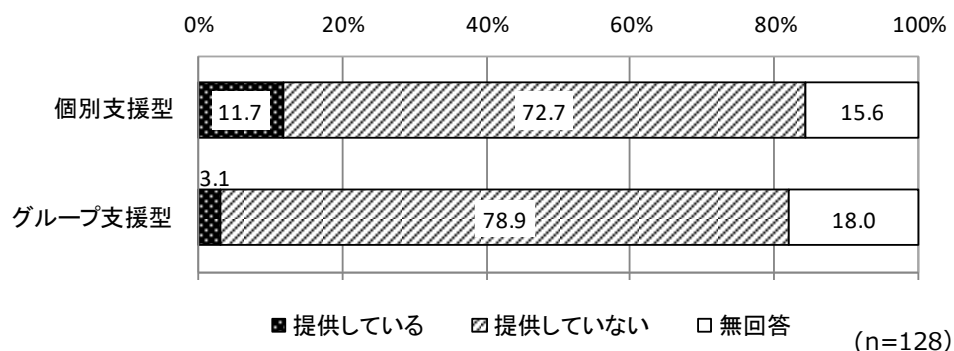
その他の内容:交通手段の充実(3件)/入所施設を増やす

- ・「中山間地域の利用者が効率的にサービスが利用できるような仕組みづくり」が最も多く50.8%、次いで「サービスの提供時の給付費の増額」35.9%、「施設整備の補助」24.2%となっています。

C. 移動支援事業

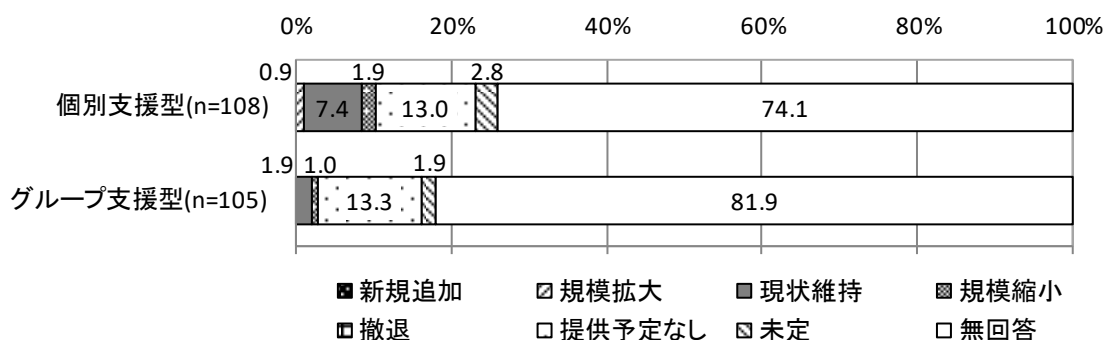
【問 8】 出雲市における移動支援事業において、提供しているサービス内容および次年度以降の予定を選択してください。(すべてのサービス内容について回答してください。)

【提供の有無】



・「個別支援型」のサービスを提供している事業所の割合は 11.7%、「グループ支援型」は 3.1%となっています。

【令和 2 年度以降の予定】

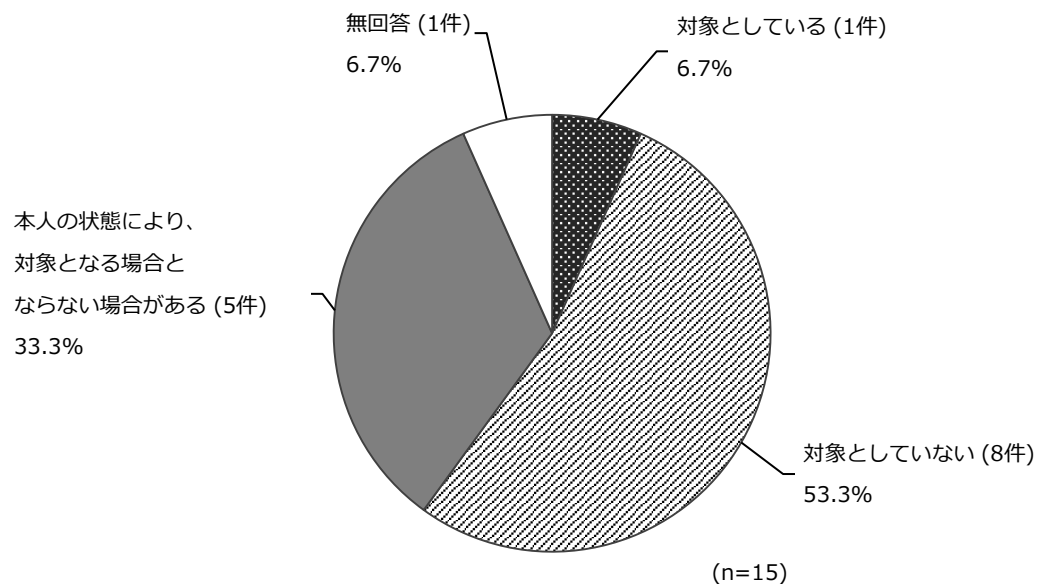


・「個別支援型」、「グループ支援型」とともに「無回答」が最も多く、次いで「提供予定なし」の回答が多い割合となっています。

国〔問 9〕 利用者の定員（受け入れ可能人数）を記入してください。

回答件数:12 件、 平均人数:10.7 人

国〔問 10〕 医療的ケア児・者は利用対象としていますか。(○は 1 つ)



・「対象としていない」が最も多く、回答数は 8 件、次いで「本人の状態により、対象となる場合とならない場合がある」が 5 件、「対象としている」が 1 件となっています。

国〔問 11〕 移動支援事業のサービス利用者数を障がい種別毎に記入してください。

利用者数は、当該年度の 4 月 1 日から 3 月 31 日までに利用した延べ人数をさします。①・②については、複数に該当する利用者がある場合、移動支援事業の利用目的となるもの 1 つカウントしてください。③については、①・②の該当の有無によらず、合計人数を回答してください。

① 各手帳所持者数

(単位：人)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
身体障がい者手帳	283	256	369
療育手帳	547	899	752
精神障がい者保健福祉手帳	80	87	49

(回答事業所数：11)

② 以下に該当する障がい者数

(単位：人)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
難病等	27	26	24
発達障がい	853	991	851
高次脳機能障がい	1	1	2

(回答事業所数：H28 6、H29 7、H30 6)

③ 医療的ケア児・者

(単位：人)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
医療的ケア児・者	84	65	139

(回答事業所数：9)

国〔問 12〕 移動支援事業のサービス利用者数を障がい支援区分別に記入してください。
該当する支援区分の利用者がいない場合は「0」を記入してください。

① 障がい者

(単位：人)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
区分 1	12	9	11
区分 2	50	57	59
区分 3	81	499	502
区分 4	30	35	35
区分 5	62	44	90
区分 6	59	75	88
非該当	9	10	4
未認定	81	38	34

(回答事業所数：13)

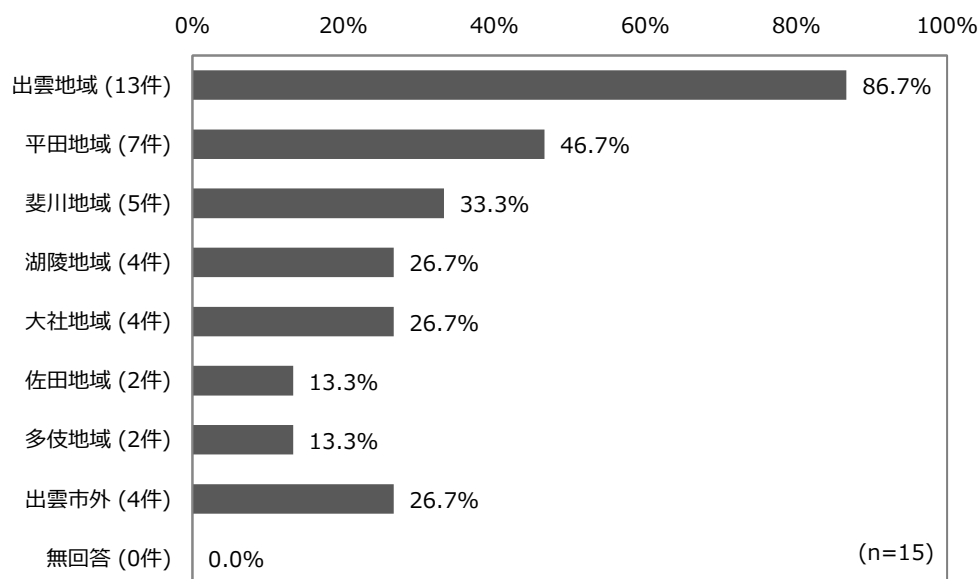
② 障がい児

(単位：人)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
区分 1	7	3	3
区分 2	226	88	172
区分 3	625	484	328
未認定	3	0	0

(回答事業所数：8)

市〔問 13〕 サービス提供地域を記入してください。(あてはまるものすべてに○)



・「出雲地域」が最も多く、回答数は 13 件、次いで「平田地域」7 件、斐川地域 5 件となっています。

市〔問 14〕 地域毎の利用者数を記入してください。

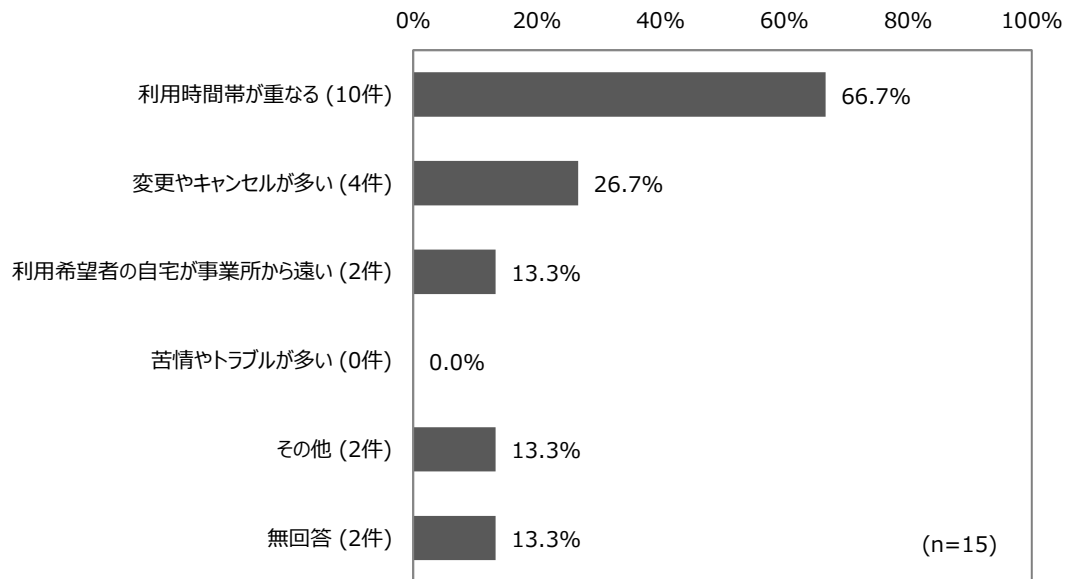
利用者数は当該年度の 4 月 1 日から 3 月 31 日までに利用した延べ人数をさします。

(単位：人)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
出雲地域	2,490	2,661	2,541
平田地域	112	136	186
佐田地域	5	20	40
多伎地域	14	10	19
湖陵地域	82	81	84
大社地域	104	106	138
斐川地域	364	256	223
出雲市街	49	42	52

(回答事業所数：H28 12、H29 13、H30 13)

市〔問 15〕利用者へのサービス提供時の課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



その他の内容:対応する人材が不足/移動支援

・「利用時間帯が重なる」が最も多く、回答数は10件、次いで「変更やキャンセルが多い」4件となっています。

国〔問 16〕移動支援事業の収益の内訳について、金額を記入してください。

法人当たりの平均値

単位:円

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
地域生活支援事業 給付費	6,246,678 (n=12)	6,412,210 (n=12)	6,279,027 (n=12)
利用者負担による収益	257,531 (n=11)	247,674 (n=11)	218,273 (n=11)
その他の収益	46,749,393 (n=6)	5,336,708 (n=6)	6,826,887 (n=6)

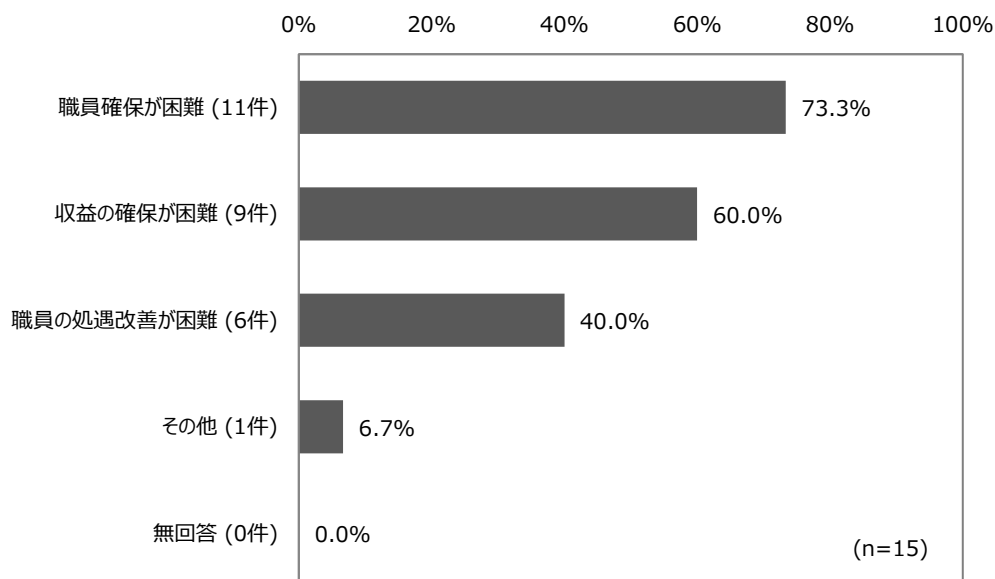
国〔問 17〕移動支援事業の費用の内訳について、金額を記入してください。

法人当たりの平均値

単位:円

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
給与費	7,852,006 (n=9)	7,857,969 (n=9)	7,986,494 (n=9)
給与費以外の費用	3,733,352 (n=8)	3,649,799 (n=8)	4,968,732 (n=7)

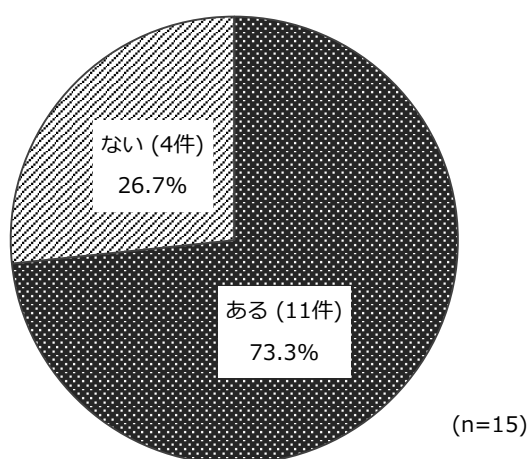
市〔問 18〕 移動支援事業の事業所を運営していくうえで課題がありますか。(あてはまるものすべてに○)



その他の内容: 経営が成り立たない

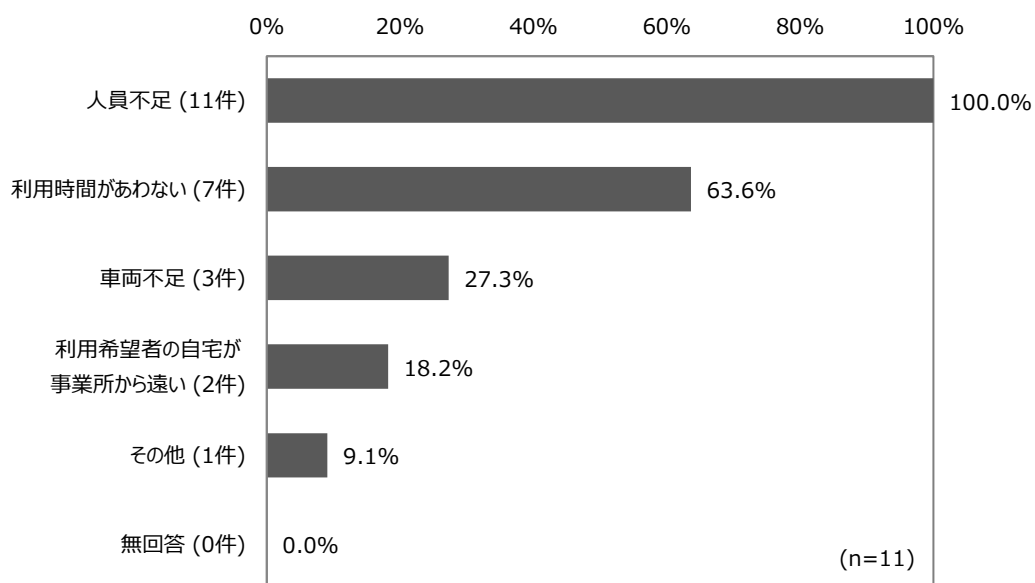
・「職員確保が困難」が最も多く、回答数は 11 件、次いで「収益の確保が困難」9 件、「職員の処遇改善が困難」6 件となっています。

市〔問 19〕 支給決定者からの利用相談に対応できなかったことがありますか。(○は 1 つ)



・「ある」の回答数は 11 件、「ない」4 件となっています。

市〔問 19〕「ある」と回答された事業所にお聞きします。断った理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

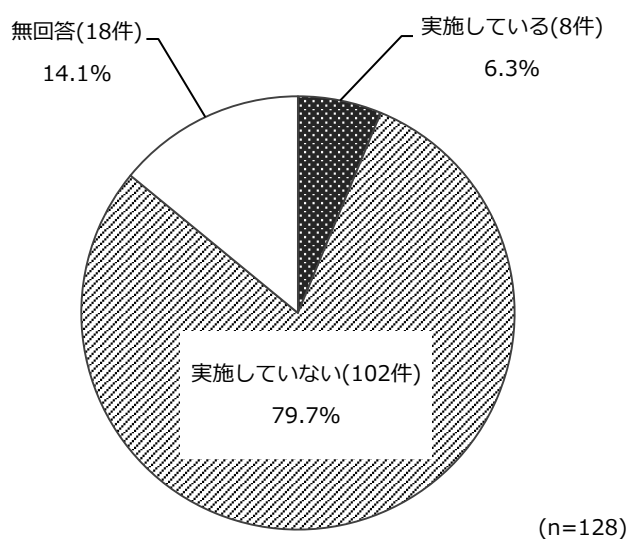


その他の内容:病院内付き添いのみ

・「人員不足」が最も多く、回答数は 11 件、次いで「利用時間があわない」7 件、「車両不足」3 件となっています。

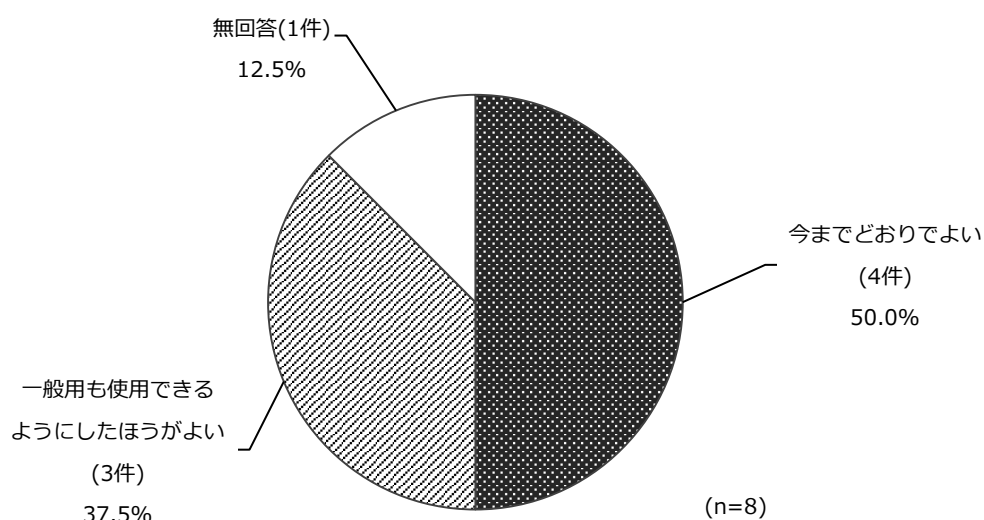
D. 障がい者福祉タクシー制度

市〔問 20〕 障がい者福祉タクシー制度による事業を実施していますか。(○は 1 つ)



・「実施していない」が 79.7%、「実施している」が 6.3%となっています。

市〔問 20〕 「実施している」と回答された事業所にお聞きします。現在、車いす用の利用券では一般のタクシーは利用できません。このことについて、考えをお聞かせください。



・「今までどおりでよい」の回答数が 4 件、「一般用も使用できるようにしたほうがよい」が 3 件となっています。

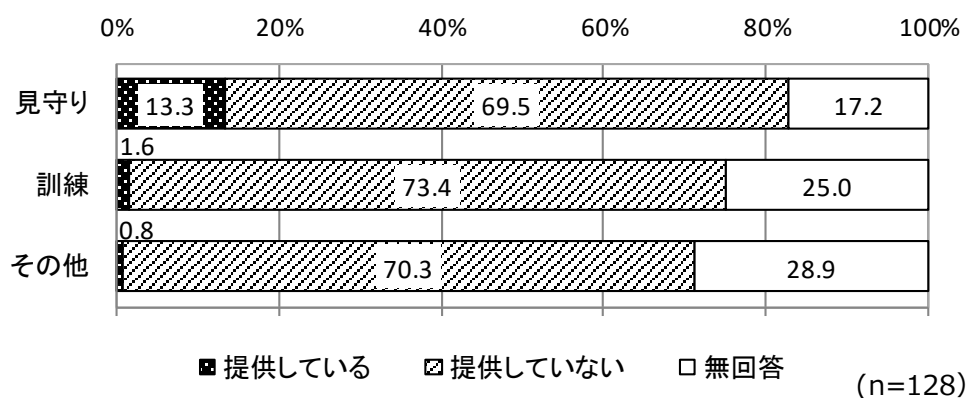
○「一般用も使用できるようにしたほうがよい」理由

- ・事業所での受け入れが難しい時に一般タクシーへの協力が必要だと思います。
- ・乗れるタクシーの台数が増えると利用者様も困られることが少なくなるのでは。移乗可の方だと一般タクシーが使えると(車椅子の方で)良いのではないのでしょうか。

E. 日中一時支援事業

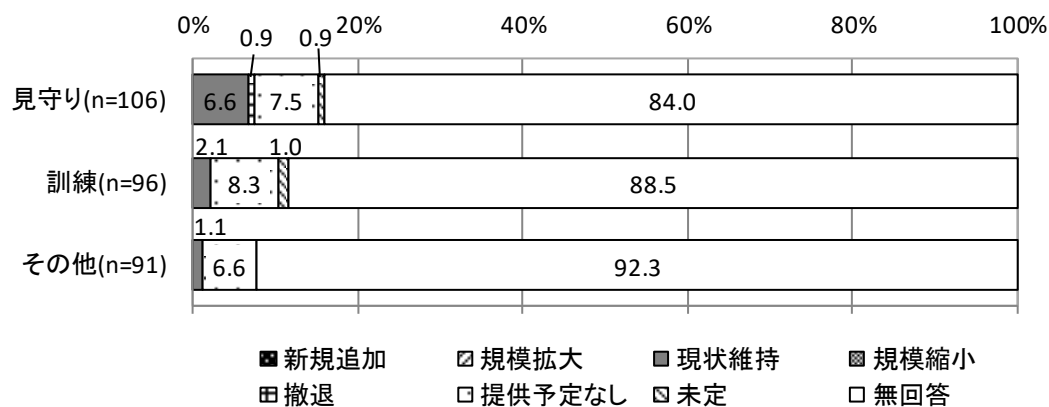
【問 21】 出雲市における日中一時支援事業において、提供しているサービス内容および令和2年度以降の予定を選択してください。(すべてのサービス内容について回答してください。)

【提供の有無】



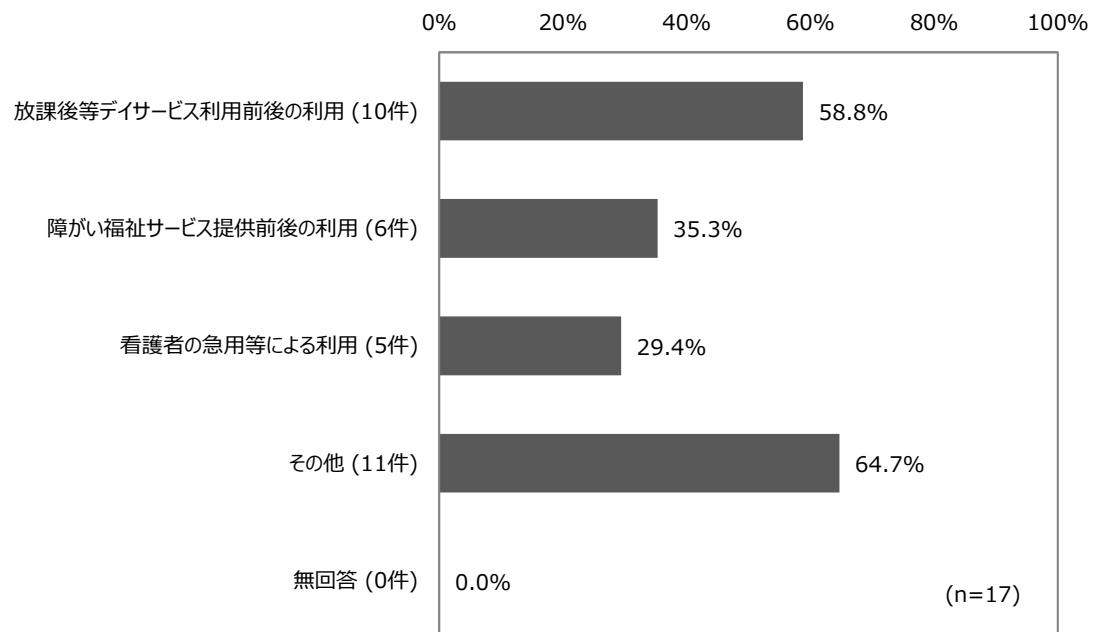
・「見守り」のサービスを提供している事業所の割合は13.3%、「訓練」は1.6%となっています。

【令和2年度以降の予定】



・「見守り」、「訓練」とともに「無回答」が最も多く、次いで「提供予定なし」の回答が多い割合となっています。

国〔問 21〕「見守り」について「提供している」を選択した事業所にお聞きします。サービスの具体的な内容は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



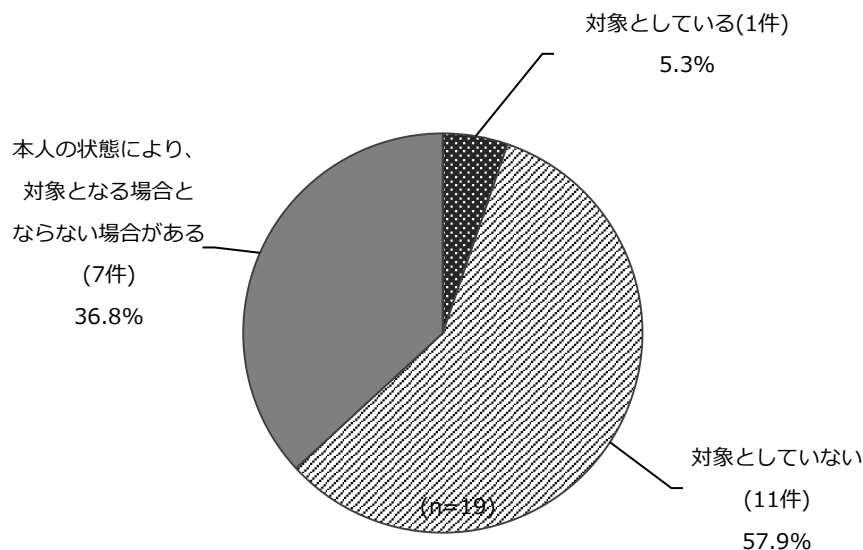
その他の内容:登校前(6件)/養護学校の長期休暇中の利用/児童発達支援提供後の見守り/
毎週末の定期利用/土日、生活介護登録曜日以外で日中通所を利用したいとき

・「放課後等デイサービス利用前後の利用」の回答数は 58.8%、「障がい福祉サービス提供前後の利用」6 件、「看護者の急用等による利用」5 件となっています。

国〔問 22〕利用者の定員を記入してください。

回答件数:18 件、平均人数:7.7 人、

国〔問 23〕 医療的ケア児・者は利用対象としていますか。(〇は 1 つ)



・「対象としていない」が最も多く、回答数は 11 件、次いで「本人の状態により、対象となる場合とない場合がある」が 7 件、「対象としている」が 1 件となっています。

国〔問 24〕 日中一時支援事業のサービス利用者数を障がい種別毎に記入してください。

利用者数は、当該年度の 4 月 1 日から 3 月 31 日までに利用した延べ人数をさします。①・②については、複数に該当する利用者がある場合、日中一時支援事業の利用目的となるもの 1 つカウントしてください。③については、①・②の該当の有無によらず、合計人数を回答してください。

① 各手帳所持者数

(単位：人)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
身体障がい者手帳	1,103	1,012	1,114
療育手帳	3,995	4,024	4,412
精神障がい者保健福祉手帳	9	53	76

(回答事業所数：H28 15、H29 17、H30 17)

② 以下に該当する障がい者数

(単位：人)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
難病等	107	102	74
発達障がい	2,747	2,526	3,012
高次脳機能障がい	0	0	0

(回答事業所数：H28 14、H29 16、H30 16)

③ 医療的ケア児・者の人数

(単位：人)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
医療的ケア児・者	696	771	389

(回答事業所数：H28 12、H29 13、H30 13)

国〔問 25〕 日中一時支援事業のサービス利用者数を障がい支援区分別に記入してください。
該当する支援区分の利用者がいない場合は「0」を記入してください。

① 障がい者

(単位：人)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
区分 1	1	0	0
区分 2	56	5	37
区分 3	76	227	134
区分 4	16	19	18
区分 5	190	228	423
区分 6	43	58	174
非該当	3	3	2
未認定	0	0	0

(回答事業所数：H28 14、H29 14、H30 15)

② 障がい児

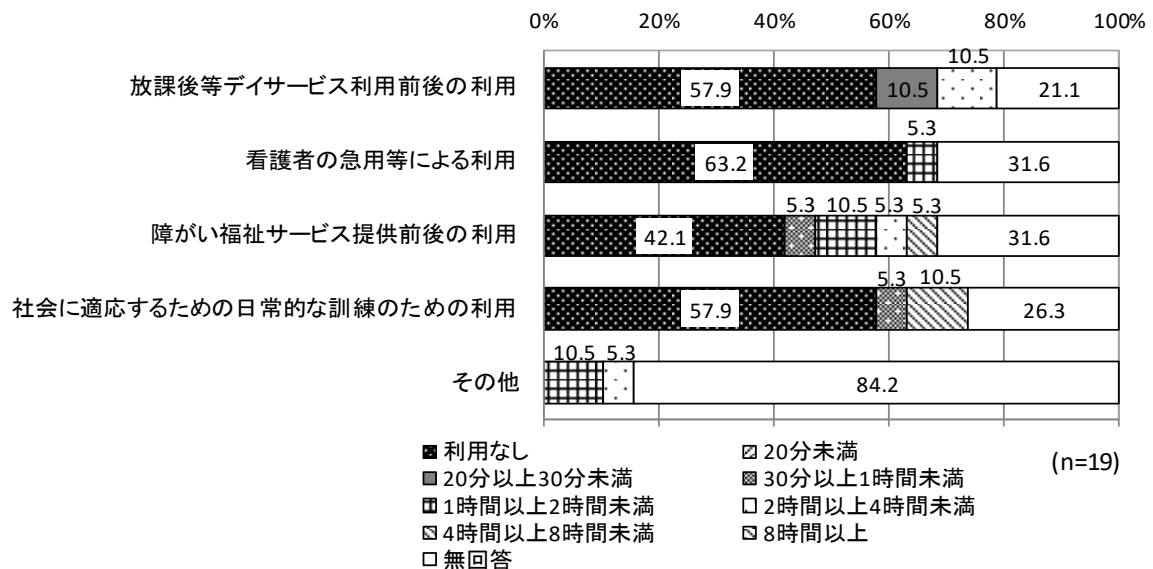
(単位：人)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
区分 1	5	2	4
区分 2	37	46	40
区分 3	83	95	118
未認定	0	0	0

(回答事業所数：H28 16、H29 17、H30 17)

市〔問 26〕 平日と休日（土、日、祝日等の利用）及び利用目的に分けて、利用者が最も多い利用時間を 1 つ選択してください。

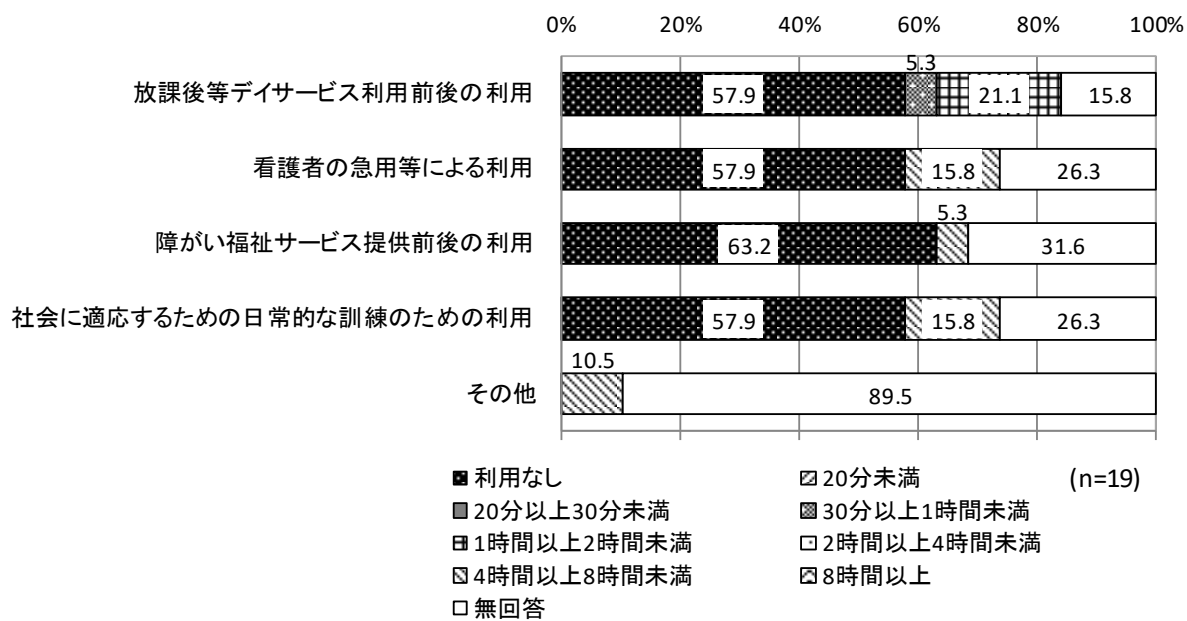
①平日



その他の内容：児童発達支援利用後の利用/放課後デイに行かずにケア

・いずれの利用目的についても「利用なし」の割合が最も多くなっています。

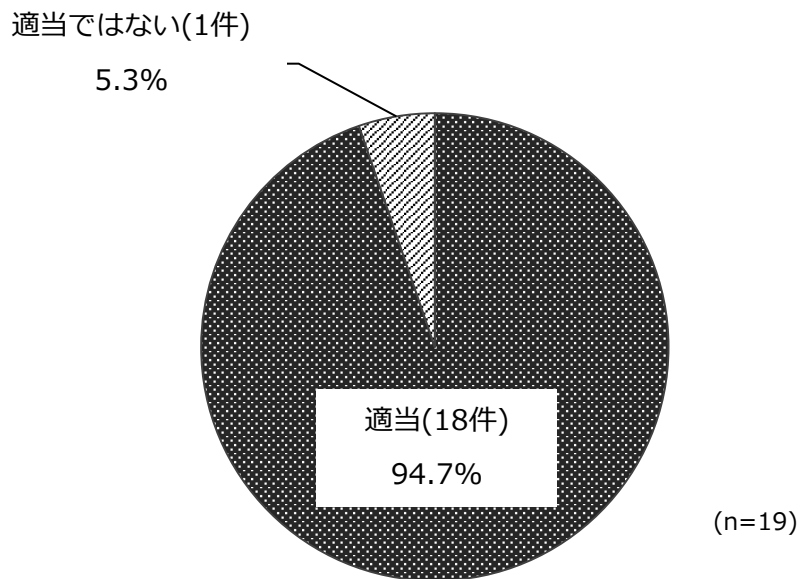
②休日(土、日、祝日等の利用)



その他の内容:放課後デイの代わりに日中を利用

- ・いずれの利用目的についても「利用なし」の割合が最も多くなっています。
- ・「放課後等デイサービス利用前後の利用」は「1 時間以上 2 時間未満」が 4 件となっています。

市〔問 27〕 出雲市では、利用時間を 4 時間未満、4 時間以上 8 時間未満、8 時間以上に分けて日中一時支援事業の給付費を算定しています。このことについてのお考えをお聞かせください。



・「適当」の回答数は 18 件、「適当でない」は 1 件となっています。

○「適当」の理由

私共の事業所での利用時間は、3 時間を超えることがないので「4 時間未満」の設定があることは現状に即していると思います。

現状の算定方法を適当ではないと思っていないので。

○「適当でない」の理由

4 時間以上 8 時間未満を 6 時間のコストを作ってほしい。8 時間になることはほとんどない。

国〔問 28〕 日中一時支援事業の収益の内訳について、金額を記入してください。

事業所ごとの平均値

単位：円

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
地域生活支援事業 給付費	1,609,875 (n=18)	1,421,624 (n=19)	1,582,085 (n=19)
利用者負担による収益	152,682 (n=16)	121,324 (n=17)	124,535 (n=17)
その他の収益	289,330 (n=7)	207,285 (n=8)	521,952 (n=8)

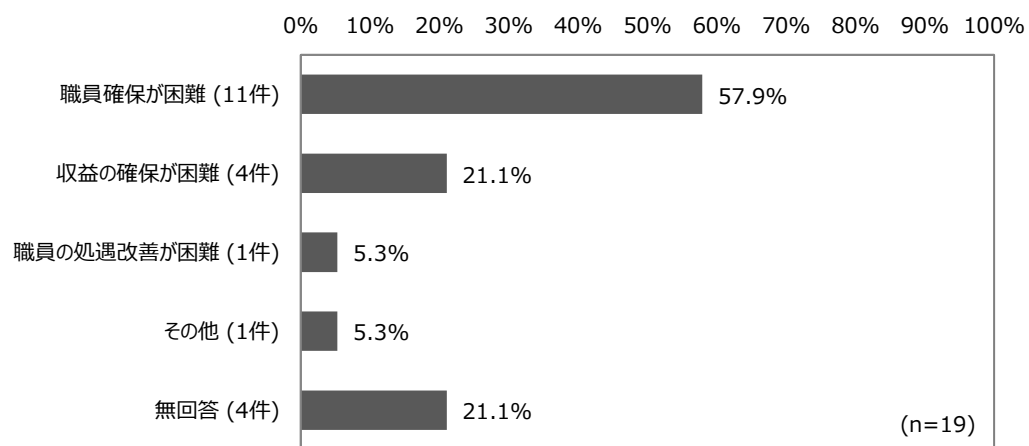
国〔問 29〕 日中一時支援事業の費用の内訳について、金額を記入してください。

事業所ごとの平均値

単位：円

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
給与費	2,359,053 (n=15)	1,168,284 (n=16)	1,352,587 (n=16)
給与費以外の費用	493,747 (n=9)	497,922 (n=10)	649,368 (n=10)

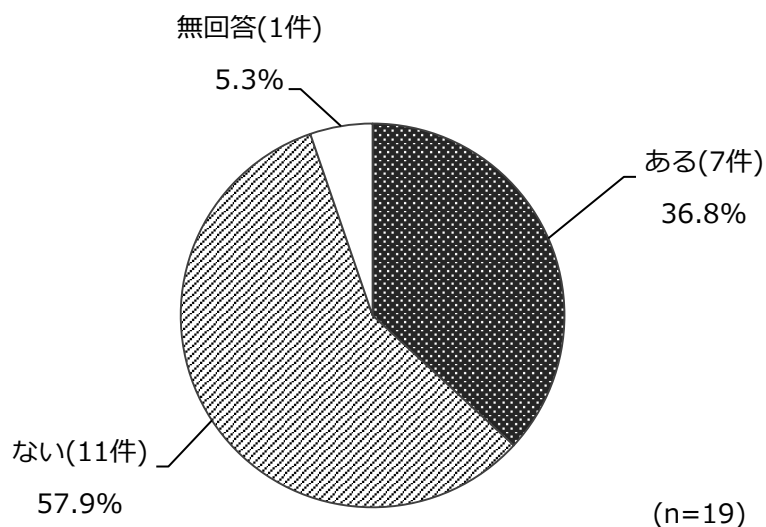
市〔問 30〕 日中一時支援事業の事業所を運営していくうえで課題がありますか。



その他の内容：希望の方が多いと、サービスの提供が困難

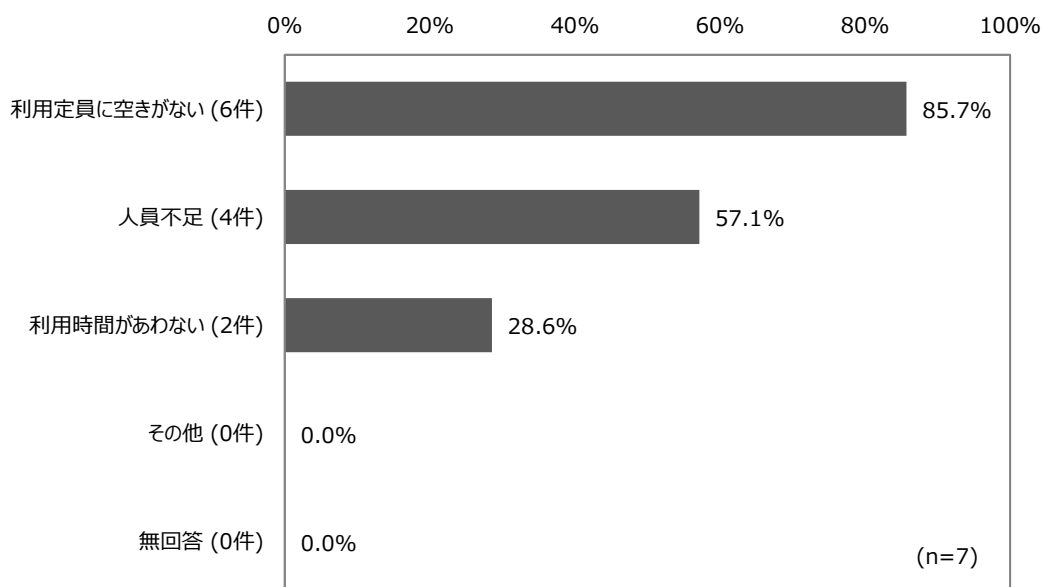
・「職員確保が困難」の回答数は 57.9%、「収益の確保が困難」4 件、「職員の処遇改善が困難」1 件となっています。

市〔問 31〕 支給決定者からの利用相談に対応できなかったことがありますか。(○は1つ)



・「ある」の回答数が7件、「ない」が11件となっています。

市〔問 31〕「ある」と回答された事業所にお聞きします。断った理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



・「利用定員に空きがない」の回答数は6件、「人員不足」4件、「利用時間があわない」2件となっています。

【タクシー事業所アンケート】

タクシー事業所アンケート(別実施) 調査概要

目 的：障がい者福祉タクシー事業の契約を結ぶ事業所について、実態把握を行う

調査時期：平成 31 年 4 月 22 日配付、令和元年 5 月 10 日回答締切

回 答：令和元年度 契約事業所 28 事業者（回答率 100%）

内 容：筆記・選択方式、紙面回答（次ページ参照）

①タクシーの所有台数及び運賃

②車いす・ストレッチャーの迎車等費用と予約状況

制度概要：出雲市在住で在宅生活の障がい者の方の社会参加促進を目的としてタクシー券を交付。

本人及び配偶者が住民税非課税または生活保護世帯で、交付対象の障がい条件に該当する場合、一般用・車いす用・ストレッチャー用の3券種のタクシー券を交付する。

（車いす用券種は車いす・ストレッチャー専用車両、ストレッチャー用券種はストレッチャー専用車両のみ利用可能。）

出雲市障がい者福祉タクシー事業利便性向上のためのアンケート

●アンケートの目的・情報利用について

本アンケートは、出雲市障がい者福祉タクシー事業の利便性向上を目的として、ご協力いただいている市内タクシー事業者の事業実態の把握を目的としています。ご回答いただいた内容につきましては、出雲市が設置する「出雲市障がい者施策推進協議会」等で今後の施策検討の資料として活用させていただきます。

回答日	年 月 日	回答者	
事業者名		メールアドレス(任意)	@
連絡先	電話：		

回答内容の確認などが必要な場合にご連絡します

1 タクシーの所有台数及び初乗り運賃について

下記の表で所有されている車両について、台数及び初乗り運賃を回答してください。

車両タイプ	車両サイズ	所有台数	運賃(初乗り)
一般	ジャンボ・大型		
	中型		
	小型		
	車いす対応		
車いす専用	ジャンボ・大型		
	中型		
	小型		
車いす・ストレッチャー兼用 (ヘルパー車 含)	ジャンボ・大型		
	中型		

2 利用者が車いすの場合 (車いす対応車両がない場合は、③のみ回答願います)

①基本の運賃以外にかかる費用について、該当がある場合がその料金をご記入ください。

	なし	あり	「あり」の場合は詳細を記入ください。
迎車料			
介添料			
割増運賃			
その他			

②上記がある場合も含め、タクシー券での支払について、該当に☒してください。

- ☐ 1) 全額タクシー券の利用可能
☐ 2) 乗車運賃のみタクシー券の利用可能(迎車料や介添料等は別支払)
☐ 3) タクシー券の利用上限額の設定がある⇒上限 _____ 円
☐ 4) 1～3以外、その他⇒具体的にご記入ください。

③車いす対応の車両が使用できない状況(車両の所有がない場合も含む)の場合、該当に☒してください。

- ☐ 1) 利用は断る
☐ 2) 利用者が一般車両に移乗できる場合は、一般車両で対応する(車いすはトランク収納等)
☐ 3) 1～2以外、その他⇒具体的にご記入ください。(例：別の空いている日程を案内する 等)

3 利用者がストレッチャーの場合（ストレッチャー対応車両がない場合は、回答不要です）

①基本の運賃以外にかかる費用について、該当がある場合がその料金をご記入ください。

	なし	あり	「あり」の場合は詳細を記入ください。
迎車料			
介添料			
割増運賃			
その他			

②上記がある場合も含め、タクシー券での支払について、該当に☒してください。

- ☐1) 全額タクシー券の利用可能
☐2) 乗車運賃のみタクシー券の利用可能（迎車料や介添料等は別支払）
☐3) タクシー券の利用上限額の設定がある⇒上限 _____ 円
☐4) 1～3以外、その他⇒具体的にご記入ください。

4 車いす・ストレッチャー利用者の予約・配車状況について（該当車両がない場合は、回答不要です）

①事前予約について、該当に☒してください。また、理由等の記述をお願いします。

- ☐1) 事前予約可能⇒ _____ 日前までに予約
☐2) 当日予約可能
☐3) 予約不可

理由： _____

②予約の取りやすさについて、該当に☒してください。また、理由等の記述をお願いします。

●事前予約について

- ☐1) 事前予約は、ほぼ利用者の希望通り予約できている状況
☐2) 事前予約が取りにくい状況（複数回答可）
☐運転手不足 ☐車両不足 ☐利用者の利用希望時間帯の集中
☐その他理由： _____

●当日予約について

- ☐1) 当日予約は、ほぼ利用者の希望通り予約できている状況
☐2) 当日予約が取りにくい状況（複数回答可）
☐運転手不足 ☐車両不足 ☐利用者の利用希望時間帯の集中
☐その他理由： _____

5 福祉タクシー券の利用方法等にご意見等がありましたらご記入ください。

以上
ご協力ありがとうございました。

提出先：出雲市 福祉推進課（持参・FAX・メール回答可）
TEL：0853-21-6959 FAX：0853-21-6598

タクシー事業所アンケート(別実施) 調査結果 ①タクシーの所有台数及び運賃

		一般	車いす	ストレッチャー	合計	
タクシー台数 (全28事業所合計)	ジャンボ・大型	39	3	7	49	(台)
	中型	87	2	0	89	(台)
	小型・軽	172	41	3	216	(台)
	合計	298	46	10	354	(台)
初乗り 運賃	一般法人(13事業所)	610 or 650	610～3,090	700～4,060		(円)
	福祉事業所(7事業所)	200～610	100～610	200		(円)
	個人事業所(8事業所)	490	490～680	680		(円)
H30.4～H31.3タクシー券利用枚数		39,454	11,134	2,618	53,206	(枚)
H30.4～H31.3タクシー券交付枚数		62,204	19,332	5,760	87,296	(枚)
交付人数		1,583	269	40	1,892	(人)
使用率		63.4%	57.6%	45.5%	60.9%	
タクシー台数/交付人数		0.19	0.17	0.25	0.19	(台/人)

※一般車いす対応車両は「車いす」として計上
 ※初乗り運賃は該当車両を所有する場合のみ回答
 ※初乗り運賃、福祉事業所は介護保険による運賃適用あり

・運賃は、一般・車いす・ストレッチャーで大幅な料金の差がある事業所と、ほぼ一律の料金設定の事業所に分かれた。

タクシー事業所アンケート(別実施) 調査結果 ②車いすの迎車料等費用

車いす	迎車料	介添料	割増運賃	タクシー券支払
有	12	8	12	全額OK 14
無	9	13	9	運賃のみ 5
非該当	7	7	7	非該当 7

- ・車いす車両がない場合、車いす利用者について
 - ・利用を断る 5 事業所
 - ・一般車両対応 13 事業所
 - ・別日程または他事業所紹介 4 事業所
 - ・無回答 6 事業所
- ・迎車料：一般タクシー同様(2km、200 円～)にかかる。福祉事業所は各事業主の定めによる。
- ・介添料：100～500 円/30 分がかかる場合がある。
- ・割増料金：深夜割増(22～翌 5 時)を指す場合が主、福祉事業所は車いす利用時に割増をする場合がある。

タクシー事業所アンケート(別実施) 調査結果 ③ストレッチャーの迎車料等費用

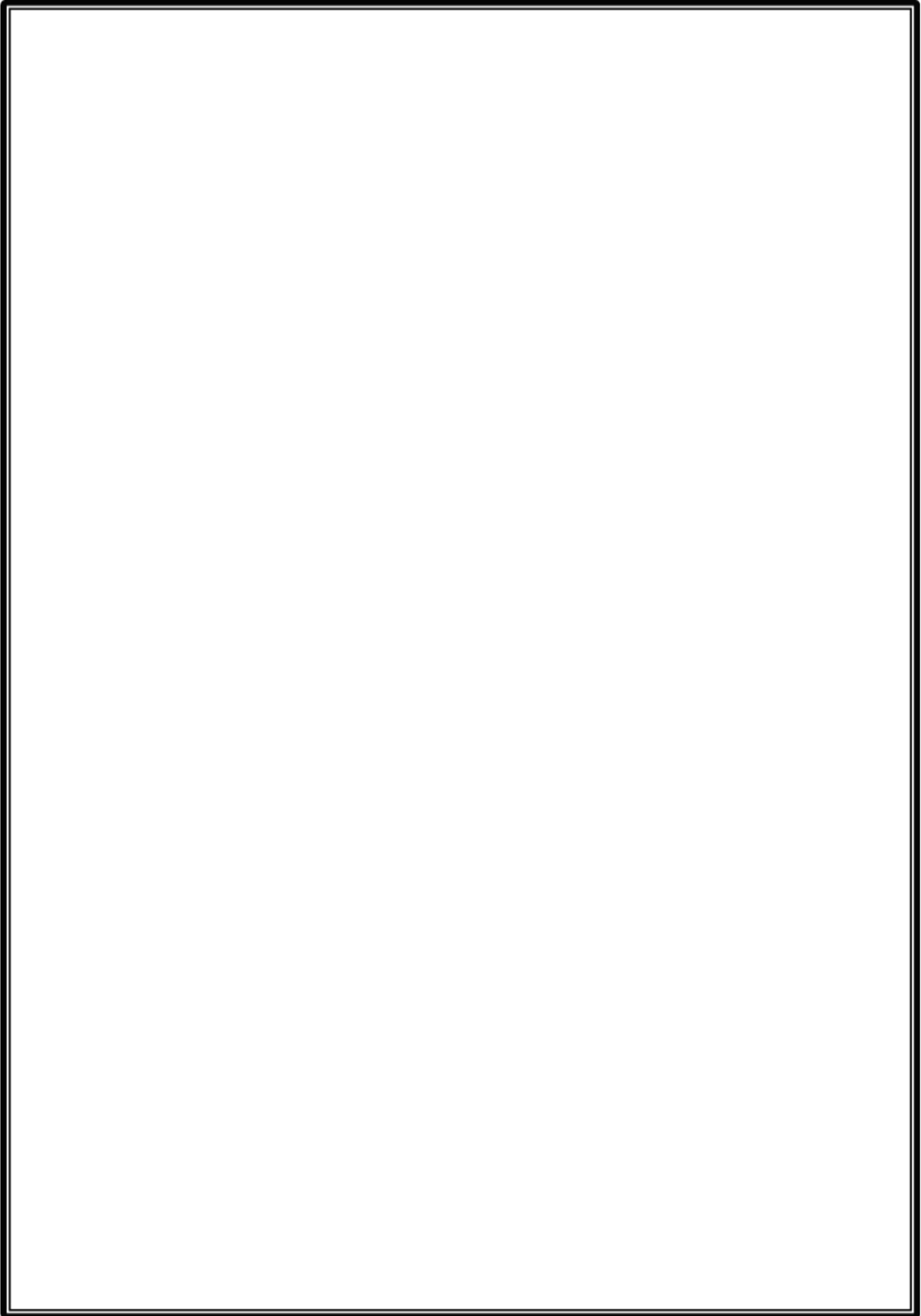
ストレッチャー	迎車料	介添料	割増運賃	タクシー券支払
有	3	2	3	全額OK 4
無	3	4	3	運賃のみ 2
非該当	22	22	22	非該当 22

・初回料金や貸切運賃を要する場合があります、金額が高額になりやすい傾向。

タクシー事業所アンケート(別実施) 調査結果 ④車いす・ストレッチャー車両の予約
車いす・ストレッチャー対応の 21 事業所について

事前予約 可		21	当日予約 可		16
不可		0	不可		1 無回答4
希望通り事前予約可能		7	希望通り当日予約可能		1
予約困難 (複数回答可)	運転手不足	10	予約困難 (複数回答可)	運転手不足	10
	車両不足	6		車両不足	9
	利用時間帯の集中	10		利用時間帯の集中	12

- ・個人事業者は、固定客の事前予約でほぼ予約が埋まる状況。
- ・福祉事業者は、福祉施設利用者で予約がほぼ埋まり、配車の都合から事前予約の締切も早い。
- ・利用時間帯は、通院目的の午前中に集中する傾向。



地域のニーズに基づく
効果的な地域生活支援事業実施のための
実態把握事業
(自由記述編)

令和元年（2019） 1 2 月

出 雲 市

障がい者福祉タクシー制度への意見（１）	1
概要.....	1
1. 障がい者福祉タクシー券に関する意見.....	2
2. 満足している・助かっている	4
3. 制度の改善に関する意見.....	5
4. 自己負担に関して.....	5
5. 金銭的負担の軽減.....	6
6. 事業者の配慮	6
7. 利用を控える意見.....	6
障がい者福祉タクシー制度への意見（２）	7
概要.....	7
1. 満足している・助かっている	8
2. 利用時間、予約に関する意見	8
3. ドライバーに対する不満.....	9
4. 事業者の配慮	9
5. 利用料金	9
6. 車両.....	10
7. その他	10
障がい者福祉に関する意見・要望	11
概要.....	11
1. 情報発信・情報提供に関する意見・要望	12
2. 移動に関する意見・要望.....	15

3. 障がい者福祉タクシーに関する意見・要望.....	18
4. 親亡き後に関する意見・要望.....	21
5. 学校・教育に関する意見・要望	23
6. 施設入所に関する意見・要望.....	25
7. アンケートに関する意見・要望.....	27
8. 日中一時支援に関する意見・要望	29
9. 就労支援に関する意見・要望.....	31
10. イベント・土日等の居場所に関する意見・要望	32
11. 医療的ケアに関する意見・要望	34
12. その他の意見・要望	35
13. 出雲市へのお礼、感謝のコメント	42

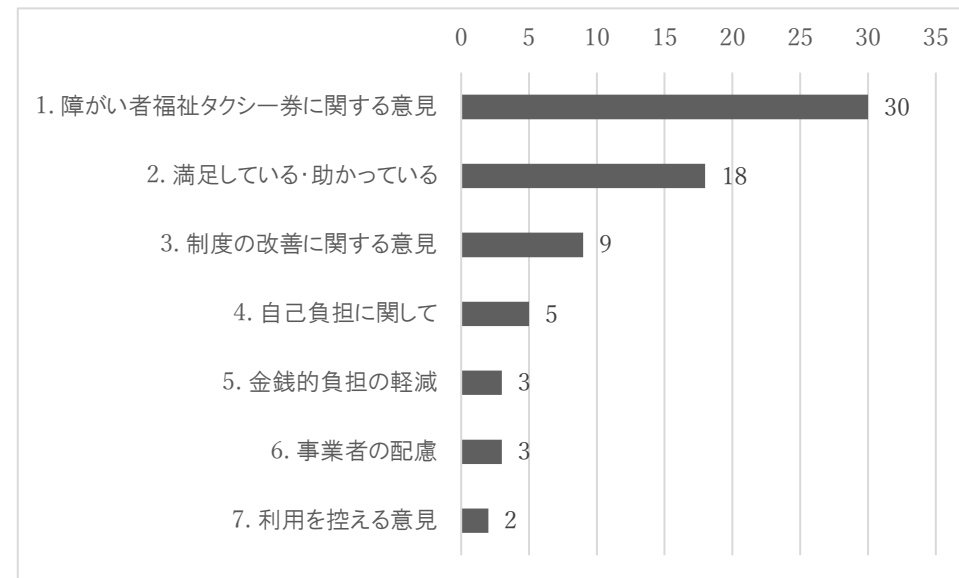
・自由記述の意見は原文のまま記載している
・「手帳」は以下のものを表す
 身: 身体障がい者手帳
 療: 療育手帳
 精: 精神障がい者保健福祉手帳

障がい者福祉タクシー制度への意見（1）

（問 32）障がい者福祉タクシー制度へのご意見があればご記入ください。
（障がい者福祉タクシー制度に対するご意見）

概要

自由記述の内容を分類したところ、以下のようになった。



1. 障がい者福祉タクシー券に関する意見

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	20 代	身/療	本人	タクシー券が少ないです
2	出雲地域	男性	20 代	療	本人以外	タクシーチケットを配布。なくなったら上限を決めて更に発行してほしい。収入も少ない障がい者が負担するタクシー代は、とても高いし生活を圧迫する。かといってバス、電車がない所に行くのは、タクシーしか手段がない。
3	出雲地域	男性	30 代	療	本人	もう少しタクシー券があると外出時に助かります。
4	出雲地域	男性	30 代	療	本人以外	福祉タクシー券（一般用）が少ないので、すぐになくなる。
5	出雲地域	男性	40 代	療	本人	タクシー券をもっと増やしてほしい
6	出雲地域	男性	60 代	身	本人	チケットが少ない。100 枚くらいあれば。
7	出雲地域	男性	60 代	療	本人以外	枚数も決まっているので、普段の病院通い等は家族の車で送迎してもらい、なるべく取っておくようにして、緊急の場合（家族がいない時等）に備えている。
8	出雲地域	男性	70 代	身/療	本人	500 円券ばかりでなく 100 円、10 円券も付けてもらいたい
9	出雲地域	男性	80 代	身	本人	もう少し 500 円のタクシー券を多くして欲しい。
10	出雲地域	女性	20 代	身	本人	目的地が遠く（島根大学松江キャンパス）、毎日いなくてはならないため、金額が少ない。
11	出雲地域	女性	20 代	身	本人	短い外出の時にタクシー券が使いにくい（金額 500 円以下の時）。一枚あたりの金額を下げる等は難しいと思うのですが、この使いにくさが改善されたら助かります。
12	出雲地域	女性	20 代	身	本人以外	タクシー券の交付、とても感謝しています。今後も続いてほしいと思います。なかなか家族が一緒に出掛けてやれないので、タクシー券を利用しての外出が多いため、もっと枚数が増えると嬉しいです。
13	出雲地域	女性	20 代	身/療	本人以外	加算地域のため 1 回の使用枚数が多くタクシーチケットだけでまかなおうと思うと週一回の片道しか使えていない。事業所等の送迎で利用しようとしても毎回だとタクシーチケットが足りないので片道は必ず家族の送迎が必要となってしまう
14	出雲地域	女性	20 代	身	—	年々、移動支援事業を利用する際の自己負担額が増えるため、利用を控えている状況です。タクシー券の枚数の見直しも必要ではないでしょうか。家族がいない場合、自由に外出することができず、困っているうえに家族への負担も大きいです。
15	出雲地域	女性	40 代	療/精	本人	500 円つづりでおつりが出ないため困ることがある
16	出雲地域	女性	50 代	身	本人	病院、買い物と外出多く少ない
17	出雲地域	女性	80 代	身	本人以外	病院へ行く時に年 3 回位使っています。できれば、残った券の何分の 1 でも良いのでおむつやおしりふきを購入する券に替えてほしいです。
18	平田地域	女性	20 代	精	本人	今でも枚数は多いと思うのですが、頻繁に利用する人は（遠くに行くことで）増やしてほしいのと、料金を支払う時に困るのもっと考えてほしい。
19	平田地域	女性	20 代	療	本人以外	週 2 回利用しているのでチケット券が少なく親の負担が大きくこれから利用することが多くなればもう少しチケット券を増やしてもらいたいです。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
20	平田地域	女性	40 代	精	本人	枚数を増やしてほしい。
21	平田地域	女性	40 代	身	本人以外	タクシー券の枚数が不足しているので、増やして欲しい。実費での支払いが多い。行先までの距離が長い為、金額が大きい。
22	湖陵地域	女性	30 代	身	本人以外	タクシー券を車イスですか。枚数もう少し多くほしい
23	大社地域	男性	<10	療	本人以外	タクシー券がもらえない年もある。もらえても枚数が足りない。
24	大社地域	男性	40 代	療	本人	もう少し金額を増やして欲しい。現金による手出しが多い。
25	大社地域	女性	60 代	精	本人	もう少し枚数を増やしてほしい。
26	斐川地域	男性	40 代	療	本人	タクシー券がもっと増えたら良いな
27	斐川地域	男性	70 代	療	本人	福祉タクシー券がもっとあれば良い
28	斐川地域	男性	80 代	身	本人	出来れば 3 万円分ぐらい欲しい
29	斐川地域	女性	20 代	身/療	本人以外	松江市内の病院を受診するのにタクシー券を利用すると枚数が完全に不足するため利用できません。介護者の母は腹痛のため本当は利用したいですが、それを使うと市内の通院ができなくなるため腹痛をこらえて通院している現状です。枚数が増えると助かります。
30	斐川地域	女性	50 代	身	本人	タクシー券があまった時に処分するのがもったいないです。

2. 満足している・助かっている

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	20代	身/療	本人以外	9歳位の時に、盲目の方にタクシーチケットのことを聞かされました。この制度のことは全く知らされていませんでしたので。（早速、手続をして利用することができ助かりました）その後、タクシー制度が一時期なくなりましたが、改正でまた利用することとなり、現在も日、緊急時の泊まりなどの送迎に利用させていただいております。大変助かっておりますが、日の利用1回に相当するには、距離的なことで、足りていないのが現状ですが助かっております。
2	出雲地域	男性	30代	療	本人以外	今後も利用したいです。
3	出雲地域	男性	40代	療	本人以外	手続きが簡単でありがたいです。
4	出雲地域	男性	40代	療	本人以外	今後も利用したい。
5	出雲地域	男性	50代	療	本人以外	手続きが簡易で良いです。チケット形式で使用しやすいです。
6	出雲地域	男性	60代	身	本人以外	感謝しております。ありがとうございます。バスは1日に5本くらいしかなく、本人だけではバスに乗る能力もなく、要介護1の母親とバスに乗ることは不可能です。タクシーがないと生活できません。
7	出雲地域	女性	30代	療	本人以外	大変いいことだと思う。介護者が病気になった時、家族が見ることが出来ない場合は助かる。
8	出雲地域	女性	40代	身	本人以外	とても良い制度だと思います。車椅子から移動できない者に対しては便利です。
9	出雲地域	女性	50代	療	本人以外	事業者が遠い時、片道で4枚、往復8枚使ってすぐになくなった。とても助かる制度です。なかなか家族が移動介助できない時の外出の時、使っています。経済的に助かるし家族の負担も減っています。
10	出雲地域	女性	60代	身	本人	予約通り来て頂けて助かっている。
11	出雲地域	女性	60代	身/療	本人以外	私に対してはとてもいい制度でとても助かっています。ストレッチャー用なので枚数も充分と思っています。いつもは近くまでの送迎ですが、時々松江への送迎もあったりするのでありがたいです。今後も続けて利用したいです。
12	出雲地域	女性	70代	身	本人	実費だと多額だし負担も多いので助かっています。
13	平田地域	男性	20代	身/療	本人以外	良い、助かっている
14	平田地域	男性	40代	療	本人	嬉しいです。
15	平田地域	女性	20代	身/療	本人以外	とても満足しています。
16	大社地域	男性	50代	療	本人	ありがたいです。
17	斐川地域	男性	20代	療	本人以外	とてもありがたいです。3月30日頃取りに行行ってすぐ使用します。7月10日頃使いはたします。通勤の為、施設の車（複数利用）が来るコンビニまで（約15分）まで行くのですが、週2～3回でも年間の1/4しか利用できません。親の仕事の時間とも合わず、仕事の始まりも遅らせてもらうようにしました。
18	斐川地域	男性	20代	療	本人以外	今後も続けてほしい。

3. 制度の改善に関する意見

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	40代	身	本人	某福祉サービス事業所が福祉タクシー料金を値上げされて、（ほぼ倍の値上げ）利用者としては、その分負担が増えて不満だ。ただし事業所の運営事情も理解できるので納得もしている。制度そのものは今後も障がいのある人（自分も含め）には必要なので維持していただきたい。
2	出雲地域	女性	30代	精	本人	出先でつかまらない
3	出雲地域	女性	40代	身	本人	夜間の利用が難しいので、夜間も利用できるようにしてほしい。
4	出雲地域	女性	40代	身/精	本人	すっごくいいが、近くに1台しかなく困る
5	平田地域	女性	20代	療	本人以外	市外で使えないことに不便を感じる。例として、市外の病院へ行きは使えるが、帰るときは使えないなど。
6	佐田地域	女性	30代	精	本人	急に体調が悪くなって、病院に行きたくても3日前からの予約しか受け付けてもらえないとなると当日どうしていいかわからなくなってしまう。当日のタクシーも使えるようにしてほしい。
7	湖陵地域	女性	10代	身	本人以外	福祉が出雲市はあまり充実していないと思うことが多く、タクシー券もあってありがたいのですが、不足したり私自身収入は多くないのに、収入のせいでタクシー券が出せませんと言われたり…（←これについては仕方ないのかもしれませんが）もうすこし福祉全体充実してくれるといいと思います
8	大社地域	男性	60代	身	本人	病院に行く時は途中で他の所に行くことができないので不便を感じる。
9	斐川地域	女性	30代	療	本人以外	朝の送迎をお願いしても通学をしているこどもさんの送迎が多く、都合がつかないことがあり、辞めざるをえないことがある。各事業所により、料金の設定も違うので統一してもらいたいと思う。

4. 自己負担に関して

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	40代	身	本人	某福祉サービス事業所が福祉タクシー料金を値上げされて、（ほぼ倍の値上げ）利用者としては、その分負担が増えて不満だ。ただし事業所の運営事情も理解できるので納得もしている。制度そのものは今後も障がいのある人（自分も含め）には必要なので維持していただきたい。
2	出雲地域	男性	50代	身/療	本人以外	歩けなくなった時に、福祉タクシーを利用したが、高額でおどろいた。もっと安価にならないかと思った。
3	出雲地域	女性	20代	身	—	年々、移動支援事業を利用する際の自己負担額が増えるため、利用を控えている状況です。タクシー券の枚数の見直しも必要ではないでしょうか。家族がいない場合、自由に外出することができず、困っているうえに家族への負担も大きいです。
4	平田地域	女性	20代	療	本人以外	週2回利用しているのでチケット券が少なく親の負担が大きくこれから利用することが多くなればもう少しチケット券を増やしてもらいたいです。
5	平田地域	女性	40代	身	本人以外	タクシー券の枚数が不足しているので、増やして欲しい。実費での支払いが多い。行先までの距離が長い為、金額が大きい。

5. 金銭的負担の軽減

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	70代	身	本人以外	金銭的にも助かっています。
2	出雲地域	女性	50代	療	本人以外	事業者が遠い時、片道で4枚、往復8枚使ってすぐになくなった。とても助かる制度です。なかなか家族が移動介助できない時の外出の時、使っています。経済的に助かるし家族の負担も減っています。
3	出雲地域	女性	70代	身	本人	実費だと多額だし負担も多いので助かっています。

6. 事業者の配慮

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	30代	療	本人以外	全ての職員さんが理解してらっしゃらないので、きちんとタクシー会社に告知してほしい。
2	出雲地域	女性	20代	療	本人	タクシーの運転手の方が怖い感じの人だと券を出しにくい。手帳も見せにくい。普通の人に見えるが発達障害があることがわかってもらえるのか心配。
3	斐川地域	女性	30代	精	本人	障がいという言葉で偏見をもたれる

7. 利用を控える意見

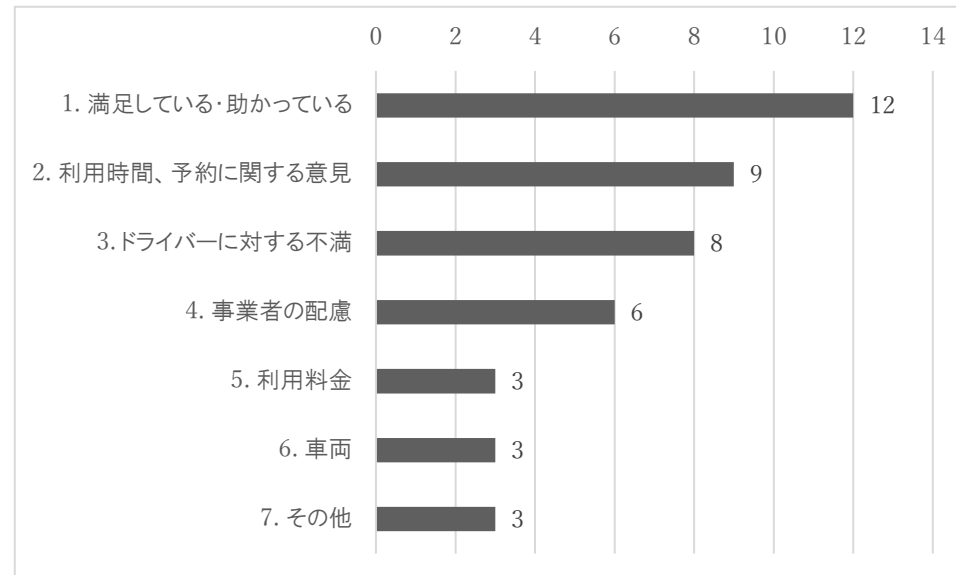
番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	50代	身	本人	使いたい気持ちはあるが、何か後ろめたいので、できるだけ使わない様にしている
2	斐川地域	男性	20代	療	本人以外	我が家は基本は親の運転する自家用車で送迎なり外出を行っています。やむを得ず都合がつかない場合、緊急の事態にのみ利用させていただこうと思っているので、めったに利用しません。（申請してタクシー券は毎年いただいております）とてもありがたい制度ですし、利用者の置かれている環境や状況もあるので、一概には言えないですが、タクシー券があるから何でもかんでも利用するという事になってしまうのもどうなのかな？と思うこともあります。（たとえば家族ができることもしなくなってしまうとか）

障がい者福祉タクシー制度への意見（2）

（問 32）障がい者福祉タクシー制度へのご意見があればご記入ください。
（タクシー事業者に対するご意見）

概要

自由記述の意見を分類すると、以下のようになった。



1. 満足している・助かっている

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	20代	療	本人以外	ドライバーさんは、とても親切にしてくれると聞いている。
2	出雲地域	男性	60代	身	本人以外	親切にさせていただいております。ありがとうございます。
3	出雲地域	男性	80代	身	本人	顔なじみになり親切にしてもらっている。
4	出雲地域	女性	40代	身	本人以外	親切にしています。安全確認をしっかりされるので安心しています。
5	平田地域	男性	20代	身/療	本人以外	良い、助かっている
6	平田地域	女性	20代	身/療	本人以外	とても満足しています。
7	平田地域	女性	20代	療	本人以外	とてもよくしてもらっている。毎日の通所に使うので、スタッフの皆さんにも障がい者本人のことを十分に理解してもらっている。
8	平田地域	女性	20代	療	本人以外	親切にいただき一人乗車でも安心できます
9	平田地域	女性	30代	身	本人以外	協力して頂き助かっています
10	大社地域	男性	50代	療	本人	親切です。
11	斐川地域	男性	80代	身	本人	親切です
12	斐川地域	女性	50代	身	本人	いつもよくしてもらって嬉しく思っています。ありがとうございます。

2. 利用時間、予約に関する意見

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	女性	20代	身	本人	時間が遅いと予約を取りにくくて困ることがある。
2	出雲地域	女性	20代	療	本人	天気が急に悪くなったら電話を当日するので空いていない。困った。台風や大雨、大雪。
3	出雲地域	女性	30代	療	本人以外	土日、祭日利用が多いので、事前に連絡したらいいのだが、利用者が多いのか運転者が少ないのか、当日利用は困難である。不便だ。
4	出雲地域	女性	70代	身	本人	なかなか利用したい時に予約ができなくて困っています。
5	出雲地域	女性	70代	身	本人	どこのタクシーでも、タクシーはあっても、ドライバーが少なくて、予約はダメと言われ、当日時間をはやめに頼みます。
6	出雲地域	女性	80代	身	本人以外	なかなか予約がとれなく、いつもケアマネージャーさんに連絡してもらっています。
7	大社地域	女性	50代	療	本人以外	・タクシーはあっても運転手がいらないため、予約ができない。 ・往復頼みたくても、行き利用し、帰りもお願いしたが、予約できないと断られた。◎往復利用 OK な制度にしてほしい。
8	斐川地域	男性	20代	療	本人以外	毎回、月の中頃、次の月のを予約して、お返事いただきます。もう 30 分早くから利用できると嬉しいです。(8:30 までは無理のようです。)
9	斐川地域	女性	30代	療	本人	予約ができないと言われることがあるのでどこのタクシーも予約ができるようにしてほしい。

3. ドライバーに対する不満

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	20代	身/療	本人以外	事前予約での利用はほとんど支障はなく、親切な対応が多いのですが人による。時間、利用日により、他の方とのこともあり難しいことも多々あります。
2	出雲地域	男性	60代	療	本人以外	遠回りしているのではないかなと思う時もある
3	出雲地域	女性	30代	精	本人	利用枚数に対してきりの良い値段でとめてほしい。たまに良い人がいるので余計気になる。
4	出雲地域	女性	40代	身/精	本人	ふつうのタクシーは対応がかなり悪い。怖い。
5	出雲地域	女性	40代	療/精	本人	手帳の番号を控えたり時間がかかる
6	出雲地域	女性	70代	身	本人	タクシー運転手により対応が異なる。同じ場所に行っても金額も異なる（道順による）感じの良くない対応をされることもある。視覚障がいがあるため道順が分かりにくい時があり回り道をされたのではと感じることがある。
7	平田地域	男性	40代	療	本人	優しい声で伝えてほしい。
8	斐川地域	女性	30代	精	本人	タクシー内で、赤の時、券と手帳を出してなかったらキレられた。A社

4. 事業者の配慮

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	30代	療	本人	もう少しタクシーを配車する時には、何分かかるとかも言ってほしい。
2	出雲地域	男性	30代	療	本人以外	全ての職員さんが理解してらっしゃらないので、きちんとタクシー会社に告知してほしい。
3	出雲地域	男性	50代	身/療	本人	もっと障害者を理解してほしい。
4	出雲地域	女性	60代	身	本人	電話にも断られることが多くなった。
5	湖陵地域	女性	30代	身	本人以外	介助をしてほしい。説明を細かくしてほしい。目が全盲なので。
6	湖陵地域	女性	40代	精	本人	対応が悪い

5. 利用料金

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	20代	身/療	本人	タクシー代の値上がりで困っています
2	湖陵地域	女性	10代	身	本人以外	タクシーを使わないと仕事もできませんので、いつも感謝していますが、毎日使うと結構なお値段になり、でも仕事もあるのでありがたく使っています。
3	大社地域	男性	<10	療	本人以外	「通学」は無料で、「通学外」は有料なので、土曜日の学校行事は「通学」だと思ったら「通学外」だった。納得いかない。とにかく高額で、負担は大きいですが、利用しないと、親は仕事ができない。もっと安くならないだろうか。

6. 車両

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	60代	身	本人	車いすに対応できる事業者が少ない。
2	出雲地域	女性	20代	身/療	本人以外	福祉車両で（身体介護有）して下さい。事業所が少ない。
3	出雲地域	女性	40代	身	本人	夜間の福祉車両が使えなくなったので、万が一、体調不良で受診したい場合、利用ができなくて困る。

7. その他

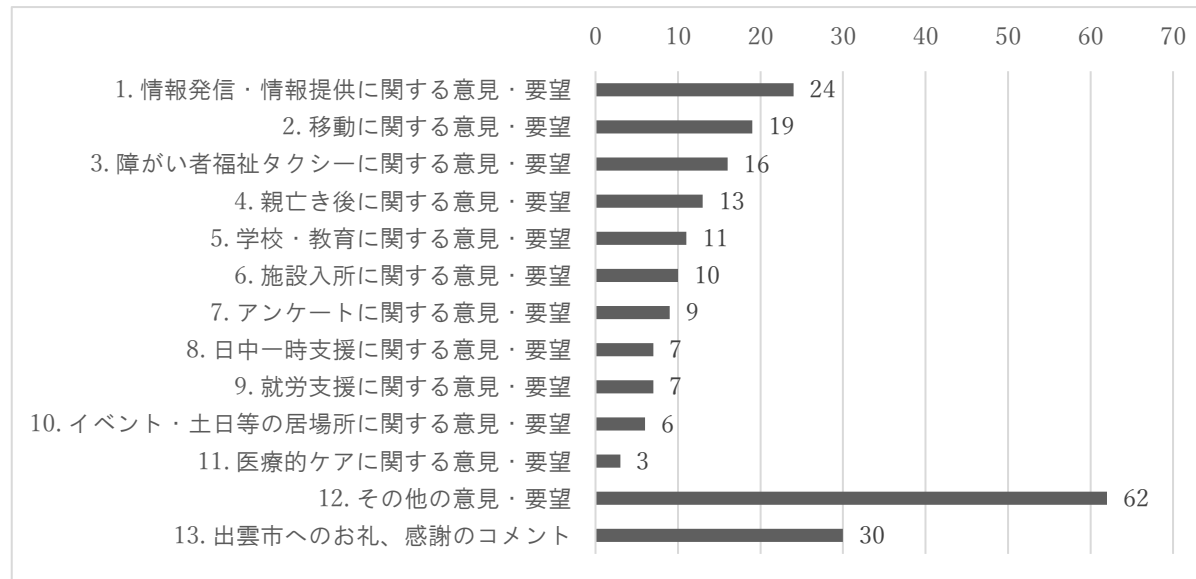
番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	40代	身	本人	昨今の人手不足によるタクシーの確保が以前より難しくなっていることに少々不安を感じる。
2	出雲地域	女性	50代	療	本人	タクシーチケットと現金（端数）を支払います。その際、領収証を出して下さい。事業所と出されない事業所があるので統一してほしい。
3	平田地域	女性	20代	精	本人	前に利用させてもらうことがあったのですが、送れないと断られたことがあり、それによって歩いて家に帰った経験があるので、その時の理由が知りたかったです。

障がい者福祉に関する意見・要望

(問 42) 障がい者福祉に関して、ご意見・ご要望がありましたら自由にお書きください

概要

自由記述の意見を分類すると、以下のようになった。



1. 情報発信・情報提供に関する意見・要望

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	<10	療	本人以外	① 本人が受けれるかは別として、障がい者があると認められた者に対して存在する各種手当や補助、助成金などを郵送によって周知するべきだと思います。そういう不親切なところが、ノーマライゼーションを阻害しているのではないですか？②将来について不安ですので、現在から将来・未来に渡って確認することができるようなパーソナルサイトがあれば良いと思う。※年齢によって、サービスや手当等変わってくると思うので、年金なども含め情報が欲しい。
2	出雲地域	男性	10代	療	本人以外	障がいがあるとわかった時、どのようなサービス等があるのか全く分からず困った。手帳の有無を聞かれた際もないと答えるとそのまま話が終わった。数年後にこちらが取得方法を聞くと教えてもらえたが、何が分からないかも分からない状態だったので、もっと情報提供等してほしい。
3	出雲地域	男性	10代	療	本人以外	障がい者福祉に携わってくださっている皆様、お世話になりありがとうございます。我が子が利用できるサービスが何なのかが、もう少し分かると助かります。窓口に行けば、教えていただけるのかもしれませんが、10 数年経って、他の親さんに教えてもらって知る制度もあります。ネットで見ても良く分からないこともあります。平日の日中は、仕事なのでなかなか窓口へも行けず、窓口以外で情報をどのように得ればいいのか教えていただきたいです。
4	出雲地域	男性	10代		本人以外	このようなアンケートをして下さることで、困っている方が何に対してわからなくて、不安なのかを判断する良い資料になると思います。（このアンケートが回ってきた人は幸せです。）息子が小さかったころは、制度はあっても、自分が困ったとき自分が動いて調べたり、知ろうと動かない限りはせっかくのよい制度も知ることができませんでした。知ろうとしなくても誰もが情報を与えられるくらい制度が広がり、また分かりやすくなれば今よりさらに助かる人も増えると思います。息子は障がい者福祉の制度によって、十分立派に成長してくれました。感謝の気持ちでいっぱいです。助けようとしてくださる皆さまがいるからこそその成長でした。これからも、どんな人も暮らしやすい出雲市になるよう、力を貸してくださるとうれしく思います。いつもありがとうございます。
5	出雲地域	男性	20代	身/療	本人以外	福祉施設間の交流がもっとあるといい。施設の見学もしてみたい（参考として）。市内の福祉施設の展示紹介があると市民の皆さんに知ってもらうチャンスである（まつりにたくさん来てもらえる）
6	出雲地域	男性	30代	身	本人	福祉サービスが多くあると思うが、サービスの種類、内容などが分かりにくい。また、申請してからサービスの利用までに時間がかかることが多いので、短縮できるようお願いしたい。
7	出雲地域	男性	90代	身	本人以外	老人介護サービスを利用しても障がい者福祉サービスを利用できるのか分からない。
8	出雲地域	女性	<10	療	本人以外	障害児へのサービスの提示が少なく分かりにくい。子どもは難聴ですが重度ではないので補聴器の負担が大きすぎます。良いものを付けさせたくても金額の負担が大きすぎるため悩んでしまいます。もっと手厚くしてほしい。医療費の負担も健常者と変わらないのはなぜ？出雲市は他の市に比べて子ども達へのサービスが（障害児も健常児にも）低いと感じます。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
9	出雲地域	女性	<10		本人以外	障がい者手帳のない軽度の障害のある子どもの将来、どのような道があるのか学びたいが資料のようなものがない。中学卒業後、高校に入れなかったらどうすれば良いのか、今からでもできることがあればしたい。
10	出雲地域	女性	10代	療	本人以外	料金のランクが2つしかないもう少し増やして欲しい。また利用料の減額を望む。目に見えない障がいを持っている子どもがいることを市民に理解してもらえるように広報等に載せてほしい。ショートステイなどができる施設を増やして欲しい。親が病気の時など、困っている。デイサービスで勉強を教えてもいいことにして欲しい。障害のある子どもは勉強できなくてもいいのか？学校でのつきそい等柔軟な対応が出来るようにしてほしい。子どもたち各々の対応を事業所が頑張っているのに市が認めてくれないことが多すぎる。事業所のことを応援してほしい。
11	出雲地域	女性	20代	身	本人以外	このようなアンケートを通じて障がいを持つ人について生の声を届けることができるとは良いことと思いました。どんなサービスがあるのか、どんな制度があるのか等、分からないことが分からない方がいらっしやと思います。私もそうかもしれませんので、受ける事ができる可能性があるものの情報を行政側から広く発信していただきたいと思います。
12	出雲地域	女性	20代	身	—	助成金等のお知らせが行政から発信されず、利用できないことも多い。もっと個別で利用できる制度・サービスが分かるようにしてほしい。介護者への支援が少ない。負担が大きすぎる（特に家族）。介護される側も、逆に気を使ってしまい、何かするにもあきらめてしまうことが多い。もっと気軽に外出の援助や外出先での介助をしてもらえるサービスを利用できるようにしてほしい。現在、大学で資格を取得するために勉強中であるが、資格を取得しても車いすであると資格を活かした就労ができるのか就職先への不安が大きい。サービスを利用してでも、自分の取得した資格を活かして仕事がしたい。
13	出雲地域	女性	30代	身/療	本人以外	・自分が利用できるサービスや制度等をもっと教えてほしい。 ・将来的に介護者（今は親）いなくなった時相談できる人を今から準備しておきたい
14	出雲地域	女性	40代	身/精	本人	情報が少ない。他県の友人や福祉課に聞いた方が安心・確実。信用がない。本当に怖い人が多い。ウソが多い（特に市役所と警察と福祉協議会、保健所）。女性相談センターの人だけはすごい。DV（写真あり）や窃盗をしていた人への扱いなどずっと支えて教えてくれました。他の人たちは皆、ウソをついた。夫を信じていました。今でも許せないです。健常者の夫がウソをついていても障がい者の私を（特に警察や福協）バカにして笑った。県外の友人と今の相談員さんに出会わなければ、私は殺されていた。今の市役所の担当の方々は女性相談センターと相談員と県外の人々のおかげでみんな変わったので本当に良かった。
15	出雲地域	女性	40代		本人以外	息子は幼稚園の頃から（H25年頃）通級指導を受けていましたが、発達障がい児が福祉サービスを受けられる事は、その頃から何年も後まで知りませんでした。下の子どもが生まれ、本当に大変でしたが、市役所の保健師（地区担当）に「何か利用できるサービスはないか」と尋ねても、「そういうのは難しいと思う。だからお宅みたいな家が一番困っている」と言われました。幼稚園や小学校の先生、保健師、誰も放課後デイのことは教えてくれませんでした。ご存じないのかもしれませんが…（または聞かれない限り紹介できないのか）不信感を抱きました。結局、自分で調べるしかない。色々問い合わせるべきだったと思いました。何年も辛い思いをしました。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
16	出雲地域	女性	70代	身	本人以外	出雲市の障がい者福祉について、移動支援事業や出雲市独自の福祉タクシー券交付などのサービスを行っているということが、このアンケート調査で初めて分かりました。今後サービスが使える可能性もあるので、もっと周知していただけたら助かります。また、外出先で歩行が困難で、優先駐車場を使用したいと思っ てはいるものの、どこに相談し、どのように申請すればいいのか分からず、不便に思う事があります。相談窓口や福祉サービスの案内など市の広報などで、高齢者にも分かりやすいように周知していただくか、障がい者手帳を持っている人等には、個別に支援の情報を送付してもらえると助かります。
17	出雲地域	女性	80代	身	本人以外	知らないことがたくさんありました。利用できることすら知りません。案内等あったのでしょうか？
18	大社地域	男性	30代		本人	聴覚障害であるが、情報やサービス等の視覚化を充実してほしい。手話通訳や要約筆記もあるが、スマホやタブレット等のアプリも活用して瞬時に分かるようにしてほしい（アプリ：UDトーク等）。筆談対応もしてくれるが、ただメモに書くだけなので、時間がかかる。会話風を書くより、要点だけを分かりやすく書いてほしい。結局最後は、口頭での説明になってめんどくさがられてるように感じる。障がい者手帳の土日カード化の早期実現を望む
19	大社地域	女性	20代	身/療	本人以外	利用できる福祉サービスがよくわからない部分があるので情報がもっとほしい。
20	斐川地域	男性	10代		本人以外	現在は、中学校にも短時間ではありますが、通えるようになりましたが、不登校の折には、様々なサービスを利用させていただき、感謝しております。利用はさせていただいていましたが、自分の勉強不足で出雲市の障がい者福祉についてよくわかっていない部分もありました。勉強会や交流会があるとありがたいなと思いました。
21	斐川地域	男性	10代	療	本人以外	どのような時に、どのようなサービスがあるのかよく分からない
22	斐川地域	男性	20代	療	本人以外	送迎をしてくれる通所の事業所を増やして欲しい。（家まで）気に入っても送迎がない為に入れない事がある。それとも仕事の為の移動支援はお金が返ってくる制度が欲しい。市の職員の方が、相談した時は親身になって欲しい。いろんな情報もこれからではなく提供して欲しい。
23	斐川地域	女性	10代	療	本人以外	福祉について知ったのが小 3 の終わりで学童保育が終了したらどうすればいいか困ったとき学校（特別支援教室）の先生から行政の資料をコピーしていただきました。もっと早く知っていれば申請して早くから利用できたのではないかと思います。情報が不足していると思う。相談員さんにたどりついてからは、いろいろと紹介してもらえるが、そうなる前にもっと知る方法を検討してほしいです。よろしくお願いします。
24	出雲以外	男性	70代	身	本人	制度について、よく分からない。受けれる支援や手当が分からない。市役所の窓口で聞いても、担当者によって話が違っていることがあり、混乱してしまう。

2. 移動に関する意見・要望

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	<10	身/療	本人以外	現在、未就学児で週 2～3 回程度移動支援事業を利用していますが、支援事業受給者証を使用し、月の負担上限月額が少なくても、タクシー代として別の使用料を支払っています。このタクシー代が高額であり、もう少し利用したくても月の負担額が大きくなり、利用できないという現状があります。このタクシー代、、、どうにかありませんか、、、？相談支援専門の方にとてもお世話になっています。市からの情報提供が少なく、この専門員の方からの情報がすべてというところなんです。市からの情報発信をもう少ししていただくのと、相談支援専門員の増員と専門員の方に手厚い支援をお願いします。＊出雲市の福祉推進課の窓口に行くと、担当の方がいらっしゃらないときはたらい回しにされることが多く、複数回窓口に行くことがありました。課の中である程度の知識は職員の皆さんが持つ必要はあると思います。私たちの方が詳しく知っていることが度々ありますよ。
2	出雲地域	男性	<10		本人以外	日中一時支援で自宅以外の送迎ができないのが困っている。自宅の身だと、ひとりになる時間が出来るので不安。発作が起きたり、訪問者が突然来たりすると不安な為。
3	出雲地域	男性	10代		本人以外	利用している事業所に移動支援事業があったが、人員確保が出来ず、利用できない状況である。需要と供給が伴っておらず、困ることがあるのが現状。
4	出雲地域	男性	30代	療	本人以外	今は両親ともに元気ですので、不便を感じずいる。ただ、親と出ない外出の機会があるとまた良い事かと・・・支援を利用して月一回のお楽しみ外出としています。買い物やカラオケ、ドライブ等にいつもと違う道を通ったりして楽しんでいます。ヘルパーさんの盛り上げでテンションアップして自分が行ってみたい所を言えるようになってきていると思います。
5	出雲地域	男性	30代	療	本人以外	入所施設対象の方も移動支援が使えと良いと思います。
6	出雲地域	男性	40代	身	本人	・建物のバリアフリー化の一層の推進 スロープ、多目的トイレ、駐車場を民間のお店、飲食店などにも増々普及をお願いします。既存の建物でも市立図書館の車いす駐車場が入り口から遠いのが不便です。斐川図書館のように玄関のすぐそばに設置を希望します。 ・ノンステップバスの導入を検討していただきたい 松江市のように、出雲市内の主な公共施設や病院、ショッピングセンターなどを巡回するノンステップバスの導入を検討していただきたい。障がい者のみならず高齢者にも利用が広がると予想される。 ・県外の障がい者の講演会を年に一度は開催 県外で何かしらの分野で活動・活躍中の当事者の方を市内にお呼びして講演などしていただくことで、地元の当事者や周りの人々に良い刺激や元気を与えられると思います。
7	出雲地域	男性	50代	身	本人	透析患者は、週 3 回病院に通院していますが、その通院移動が大変で、移送サービスは多額の費用が必要な状況です。負担軽減方法をお願いしたい。
8	出雲地域	男性	80代	身	本人	利用する者にとっては、福祉バスの利用日が週に 3 回はできたらいいと思います。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
9	出雲地域	女性	<10	療	本人以外	日中一時、放デー、移動支援サービスを利用させて頂き、生活が何とか成り立っていますこと大変感謝しています。しかしその利用については、両親の就労などの理由ではなく、あくまで本人にとって必要かどうかで上限が決まっていたり、契約が進んでいたりしていると聞いています。私自身はある程度整っている状況ですが、サービスが受けられず、やむなく仕事を辞職した話も聞いています。また利用料金ですが、収入によって変わることは問題ないと思いますが、¥4,600 の設定はあまりに安すぎるように思います。そのために利用者増になっている部分もあるのではないのでしょうか。本人にとってどの程度必要かを平等に公正に判断するのは難しいように思います。また、障害を持っている子をもつ親に仕事への道を付けて頂きたいです。そこで、①上限決定に、家族の状況も考慮していただきたい。②¥4,600 の引き上げをお願いしたいと思います。必要な人に必要なサービスがいきわたるよう、福祉のお金がより公正に適正に使われるよう今後もよろしくお願いします。
10	出雲地域	女性	20代	身	本人	もう少し移動支援を使いやすくしてほしい（金額的にも、予約の取りやすさにしても）。市役所 2 階の市民税課で所得証明書等の書類を書くスペースがあるが、車いすでも入れるように 1 つぐらいい椅子をぬいてほしい。
11	出雲地域	女性	20代	身	—	助成金等のお知らせが行政から発信されず、利用できないことも多い。もっと個別で利用できる制度・サービスが分かるようにしてほしい。介護者への支援が少ない。負担が大きすぎる（特に家族）。介護される側も、逆に気を使ってしまう、何かするにもあきらめてしまうことが多い。もっと気軽に外出の援助や外出先での介助をしてもらえるサービスを利用できるようにしてほしい。現在、大学で資格を取得するために勉強中であるが、資格を取得しても車いすであると資格を活かした就労ができるのか就職先への不安が大きい。サービスを利用してでも、自分の取得した資格を活かして仕事がしたい。
12	出雲地域	女性	20代	身/療	本人以外	移動支援を利用していたが、予約の電話を入れてもいつもいっぱい予約が取れず辞めた。また機会があれば利用したいと思う。
13	出雲地域	女性	70代	身	本人	私は現在自分で運転して出歩いておりますが、免許を返納した場合は不安です。歩行が少々困難なので。でもあまり福祉に頼るのは良くないかなと今は思っています。
14	出雲地域	女性	70代	身	本人	今のところは特に介護してもらっていないので十分なアンケートの回答ができなかった。しかし福祉により今後楽しい生活を送りたいと思います。運転免許証を反してから外出に不自由な点多々あり困っている状況です。
15	平田地域	男性	<10	療	本人以外	移動支援事業を利用することができるので療育施設へ行くことができる。学校へ迎え、送りをしてもらえることで助かっている。相談支援事業では、色々な関係機関との調整をしてもらっているのよ。相談や情報提供などしてもらえ手厚く支援してもらっていると思う。
16	平田地域	女性	30代	精	本人	私は松江市出身ですが、松江市では市内在住で、障がい者手帳を持っている人は、市内の路線バスが無料で乗車できる「優待バスカード」を発行してくれます。出雲市は松江市に比べてバスの便数が少ないので障がいを持った方がバスで出かける機会が少ないのかもしれませんが、このような無料バスカードを作ってもらえると障がいを持った方も外へ出る機会が増えるし、バスを利用したいと思う人も増え良いと思います。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
17	平田地域	女性	60代	身	本人	今の所は別にありません。車に乗れなくなった時は、困るかもしれません。
18	斐川地域	男性	20代	療	本人以外	送迎をしてくれる通所の事業所を増やして欲しい。(家まで)気に入っても送迎がない為に入れない事がある。それとも仕事の為の移動支援はお金が返ってくる制度が欲しい。市の職員の方が、相談した時は親身になって欲しい。いろんな情報もこれからではなく提供して欲しい。
19	斐川地域	女性	80代	身	本人	現在は家族、配偶者、子ども夫婦、孫とともに暮らしているのでお互いに助けたり、助けられたりしての生活。従って三世代生活の良い点が多々あります。障害と言っても足が不自由(膝関節置換術・両足)ではありますが、術後リハビリ等で歩行は普通に何とかなるが、走る、早足、立ち、座るはちょっと困ることが多い。現在認知症もなく運転をし外出もできるので特に障害として困ることは少ないが、免許返納後、交通手段がなくなる。バスは通っていない、鉄道は目の前を通過しても駅まで数キロ、官公庁・スーパーなども遠くなるので一番に困ることです。生活バス試行があったけど、中心を走っていたのでは周辺は全く恩恵なし。従って乗る人も少ないため廃止された。タクシー券は大変良いと思いますが限定されているので利用範囲を拡大してほしい。困る点：スーパー・公共施設でのトイレ(洋式化にしてほしい)また、階段を少なく、又は段差を低く。道路のマンホールがつまずき易い(下水道工事後補装の関係?)。良い点：出雲は福祉の面では恵まれている方だと思います。

3. 障がい者福祉タクシーに関する意見・要望

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	20代	身/療	本人以外	出雲市の生涯福祉は他県他市より充実していると世間一般の方から聞かされています。一時期松江市にいたときにそのことを知りました。タクシー券は出雲市ならではのシステムでありがたいと思いました。他の円券は、その地域でのシステムなので詳しい事は分からないのですが、現在のサービス事業所での出会いがなかったら、今日の生活はなかったと思っております。どこの施設を利用しても、それぞれにしっかりと対応をいただいておりますので、日々安心して施設へ送り出すことができ、又、私共（祖母、祖父）（母がいないとき）にも、配慮していただき、本当に助かっております。出会えるチャンスを皆様にも、又、子どもの事、家事情等、隠さずしっかりと話して対応していただけるように個々が考えなくてはいけないことと思っております。日々、助けていただき、ありがとうございます。又、福祉課に相談できることは大切です。
2	出雲地域	男性	60代	身	本人	私は島根医大の眼科（身体障害者2級）、内分泌科、神経内科へ現在通院をしています。医療費の負担軽減の認定を受けています。目が不自由ですができるだけ自分で用事を片付けるようにしていますが時々娘に介護してもらっています。病院へ一緒に行ったり、物を取ってもらったり、字を読んでもらったりで世話になっています。その他社会福祉等の活用は、一切しておりません。目以外は薬のためか数値は安定しておりますので元気です。今後タクシーの割安の件を相談したいと思います。
3	出雲地域	男性	80代	身	本人	出雲市の社会福祉、格別に障がい者に関わる皆様方のこのアンケート調書を拝見し、一方ならぬご配慮独力が読み取れお世話を頂く我々感謝申し上げます。申し訳ありませんが私障害福祉に関する勉強不足で内容を充分理解できていませんので的確な意見要望ができません。声掛け運動をお願いします。要望：障害福祉タクシー利用券について 年間枚数 36枚 ふつうタクシー週 3-4回通院 往復 10km 強 1回 6枚使用 できれば枚数を多くしてください。通院個人で検討しています。免許休中
4	出雲地域	男性	80代	身	本人以外	障がい者本人が自宅で家族と一緒に良いと言っている限りそれを聞くしかありません。それでもまだ自分で着替えができたり杖で歩けたりとがんばっています。透析ということで週に3回必ず病院に通っています。介護タクシーに助けられています。
5	出雲地域	女性	30代	精	本人	・出雲市に精神障がい者・知的障がい者を受け入れてくれる「ショートステイ」がほしいです。・タクシー券が少なすぎる。家から目的地までが遠すぎるので高額な料金になるし、頻繁に外出することもできない。そして、ヘルパーさんの分の代金も発生するので（ただしヘルパーの昼食のお金は発生しない）その他の映画、カラオケ等、いちご狩りとかも料金はこっちが負担しないといけないため、月に1回の外出でも、高額な料金になります。現在住んでいる家からお店や病院等の行き先に合わせて個々にでもタクシー券の枚数を決めてもらいたいです。←タクシー券の発行する枚数のこと！
6	出雲地域	女性	60代	身	本人	視覚障害者に対してのタクシー券をぜひ課税世帯にも交付してほしい。視覚障害者は自転車にも乗れず外出には一歩たりとも外には出られませんので。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
7	出雲地域	女性	70代	身	本人	障がい者用の駐車場スペースが少ない（健常者の方がとめている）。厳重に注意して、確実に確保できるようにしてほしいです。タクシー券が今の配布枚数では足りなく、外出が思うようにできなく困っているので増やしてほしい。障害年金だけの収入で家賃や公共料金などを支払したりすると、食費や外出を抑えるようになり、不安を抱えている。10月より、消費税も上がるので不安が募るばかりです。不安なく安心した生活を送りたいです。
8	出雲地域	女性	70代	身	本人	タクシー券の交付枚数を増やしてほしい。
9	出雲地域	女性	70代	身	本人	主人が昭和63年（10月3日）、脳梗塞で（48歳）の時、右半身動けなくなり、病院でリハビリを頑張つて、言葉、足は歩けるようになりましたが、年はそのままでも自分なりに20年位は、自分の事はなるべくするようにしていましたが、この10年は、みなさんにお世話になり、もとより私も頑張りました。自分が心臓を悪くてペースメーカーを入れた主人をショートステイをお願いして、まだデイサービス、週に3回お風呂が家で出来なくなり、お願いしました。いろいろな物をかりる事が出来て良かったです。私が歩くことが出来ないので、タクシーを使っています。主人がいる時は、二人で乗っていて二人前でしたけど、今、私の分はわずかでタクシー券が欲しいのです。
10	平田地域	男性	40代	療	本人	タクシー券を増やしてほしい。商品券が欲しい。
11	平田地域	男性	70代	身	本人	いつもありがとうございます。感謝です。公正公平を特に希望いたします。特に障がい者福祉タクシー制度○本当に必要な方に届いていますか？○日常は自転車で外出されている方が・・・（朝のモーニング、夜のスナック等・・・）福祉タクシー券で（車いすで）市役所の福祉課、病院？等へ外出されます。本当に必要な方が家族の車で通院等でされています。
12	湖陵地域	男性	10代	療	本人以外	通学、外出支援（タクシー）が出雲市独自のサービスと知りとてもありがたいと思いました。タクシー代は高く負担です。一回利用5000円のときもありました。毎回家族が付き添うことも難しいので、電話一本で自宅まで来ていただき外出（目的地）へ一人で行ける支援はとてもいいと思っています。都会のように交通機関が発達しておらず、また歩いて移動にも限界があるので、本人も外出困難さを感じています。今後も障がい者が自宅、または地域で生活できるように支援していただくとありがたいと思っています。
13	湖陵地域	男性	50代	身/療	本人	タクシー券が多くなってほしい。
14	斐川地域	男性	50代	精	本人	もう少し福祉タクシー券を増やしてほしい。買い物等で片道1,000円にしても往復2,000円。9回でタクシー券がなくなる。月に2回も買い物等に使うと足りない。1年間で36枚は少なすぎる。
15	斐川地域	女性	70代	身	—	出雲市のタクシー券は自由に使え、とてもありがたいです。自立の助けになりました。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
16	斐川地域	女性	80代	身	本人	現在は家族、配偶者、子ども夫婦、孫とともに暮らしているのでお互いに助けたり、助けられたりしての生活。従って三世代生活の良い点が多々あります。障害と言っても足が不自由（膝関節置換術・両足）ではありますが、術後リハビリ等で歩行は普通に何とかなるが、走る、早足、立ち、座るはちょっと困ることが多い。現在認知症もなく運転をし外出もできるので特に障害として困ることは少ないが、免許返納後、交通手段がなくなる。バスは通っていない、鉄道は目の前を通過しても駅まで数キロ、官公庁・スーパーなども遠くなるので一番に困ることです。生活バス試行があったけど、中心を走っていたのでは周辺は全く恩恵なし。従って乗る人も少ないため廃止された。タクシー券は大変良いと思いますが限定されているので利用範囲を拡大してほしい。困る点：スーパー・公共施設でのトイレ（洋式化にしてほしい）また、階段を少なく、又は段差を低く。道路のマンホールがつまずき易い（下水道工事後補装の関係？）。良い点：出雲は福祉の面では恵まれている方だと思います。

4. 親亡き後に関する意見・要望

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	<10	身/療	本人以外	我が子は医療行為が必要な為、保育園に入れることができませんでした。集団活動をさせてもらうことができず残念でした。そのようなことのないよう、障がいある、なしに関わらず等しく、子どもの希望に沿うようにしてもらいたいです。将来自立した生活は、無理だと思います。私たち両親が支えきれなくなった時を考えると不安です。居場所、余暇の過ごしなど考えができません。親への説明会などがあるとありがたいです。
2	出雲地域	男性	10代	療	本人以外	今は親と一緒に暮らしていけるが、将来、自立した生活、グループホームや入所できるところ、生活できるところを作ってほしい。
3	出雲地域	男性	20代	身/精	本人	日中、一時支援事業所がもっとあればいい。あるいは定員増。親なき後の受け入れ先の充実。
4	出雲地域	男性	20代	療	本人以外	本人の代わりに親がアンケートに答えさせていただきます。親の希望として、現在は親と生活していて、すべての親の責任で見守り、生活ができていますが、親が亡き後・・・今後自立することが困難ですので・・・施設にお世話になる以外考えられません。（兄弟はいますが・・・）親が決めたタイミングですぐに施設に入所できるようなくみであってほしいです。（順番待ちがあると聞いているので）しかし、親が元気である間は家庭で安心して生活させてやりたいので、がんばりたいと思っています。※これは福祉とは関係ないのですが、障害年金の判定で不満をもっています。実態が伝わらず、低い判定の年金を受けることになり、つらいです。市の福祉の方からも年金審査のとき助言なりできるしくみがあればいいのに・・・思いました。
5	出雲地域	男性	30代	身	本人以外	出雲市の福祉という訳ではないですが、デイサービス先が正月、お盆、土日、祝が全て休みであり、また、リハビリ（身体）がないので改善してもらえたらと思います。親亡き後、どうしたらいいのかが心配。市にショートステイ先がなくて不自由（介護保険対象でない為）。デイサービス受け入れ先がない（現在利用している他に）。
6	出雲地域	男性	30代	身	本人以外	今後、親もいつ病気等で解除できない日が出るかわからないので、短期入所ができる施設があるといいと思っています。親族等の協力で今まではなんとか乗り切ってきましたが、いつまで頼れるかは不安があるので、親に何かあったら道連れにしたいと思うこともあります…。よろしくお願いします！
7	出雲地域	女性	30代	身/療	本人以外	・自分が利用できるサービスや制度等をもっと教えてほしい。・将来的に介護者（今は親）いなくなった時相談できる人を今から準備しておきたい
8	平田地域	男性	30代	療	本人以外	高齢者の福祉施設はたくさん来ています。障がい者のグループホームは少なく、親亡き後、親が高齢になり、在宅では生活が困難になった場合、将来的に心配があります。親の方も現在、車の運転もでき、一緒に連れて出かけることもできます。そのこと一つ取っても時間の問題の様に思います。ぜひ近い所に入所施設、グループホームが出来ますことをお願い致します。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
9	平田地域	女性	20代	療	本人以外	現在、在宅で生活をしています。遠い将来には、入所利用になると思いますが、極力、ギリギリのところまでは家族と一緒に暮らしたいと思います。制度としては、障がい者が住みやすい地域にはなりつつあるように思いますが、まだまだ偏見のある土地柄だと思われます。他の市町村に比べ、サービスに不足も感じます。家族として、本人を見るにつけたたび、不自由、不憫さを感じることがあります。が、本人は、それを当然と思い、健生者の何倍も、時には泣きながらがんばることもあります。どうか、この先、家族が少なくなっても、いなくなっても、障害を持つものが普通に、安心して、不便なく、悲しくないよう、つらくないよう、さびしくないよう、日々暮らせることを切に願います。障がい者は、私の大切なひとり娘です。よろしくよろしく、お願い致します。
10	多伎地域	男性	40代	療	本人以外	やはり親の死後が一番心配。本人も動けなくなったらどうしたらいいか困っています。
11	大社地域	男性	50代	療	本人以外	保護者です。いつもお世話になっております。S16,4,3 生まれの母親ですが、おかげ様でまだ元気に働いていますが、後期高齢者の身、故いつ何があるかわかりません。その節はよろしくお願い致します。
12	斐川地域	男性	20代	療	本人以外	今はさまざまなサービスが受けられ、苦情はバチが当たるほどありがたいです。でも障がいの内容によっては、まだまだしてほしいサービスもあります。うちの子の利用は施設サービスでのショートステイ、母親の勤務の日の集合場所への送り（朝のみ）です。帰りは迎えに行ってもらっても、サービスが送迎のみで日中一時は受け入れができないので、親の仕事時間を短くして4:00には迎えに行きます。たとえ入所しても心配は尽きないので今はこのままでよいかと思っています。ですが、親はいつかなくなります。涙をのんで、次の段階へと進めなければならない日が来るとってはいます。
13	斐川地域	男性	20代	療	本人以外	今は支援を活用して、うまく生活できていますが、今後どうなっていくのか不安もあります（母）。

5. 学校・教育に関する意見・要望

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	10代	療育	本人以外	福祉の枠外になってしまうことかもしれませんが、中学を卒業後の進路についてです。今の制度では知的発達障害のある子は普通高校はあきらめ、養護学校に進む子がほとんどです。でも養護学校では高校卒業の資格は取れませんし、就職先も限られています。普通高校と養護学校の中間に位置するような高校ができればと思っています。
2	出雲地域	男性	10代		本人以外	障がい者への支援内容のわかりにくさ。保幼職員でも、県中看護師でも知らない、わからないことがたくさんあります。支援事業の利用にたどり着くまでに、本児が幼稚園年少（3歳児検診）より症までかかりました。その間そういう支援があることがわからず。発クリから市民リハに行き（この間通常級、幼、小1、小2、その間は連携も手厚かった）、小3より入級が決まるとリハビリも終了。医師からも「問題ないので、来院しなくても良い。学校で相談を」と言われました。中学入学のこともあり、ハートピアの相談窓口へ連絡。そこから市の窓口へ。そこでやっと支援員さんが付き、学校との連携が付きしました。病院も医大へと変わりました。タブレット学習も必要とすぐにわかりました。ハートピアに通うことを願っていますが、人気が高く入れません。今通っている療育とは学びの違いを感じます。ハートピアの技術を他施設にも広めることはできないのでしょうか。ハートピアと学校の連携を見ても、大きく差があるように見え、うちの子は不運なのではと感じます。中学高校での情緒級の子供たちの人権を大切にしてもらわなくては社会へ出てからのことも不安しかありません。教育委員会へも関わることです。どうか雲南市に学んでください。
3	出雲地域	男性	10代		本人以外	利用している福祉事業所は特性を理解し、要望をくみ取り対応してくれるが、学校との連携がとれていない。生活の主体は学校であり、将来に大きく影響するので福祉と学校の連携を強くしてほしい。
4	出雲地域	男性	10代	療	本人以外	近くに一緒に気軽に遊べる友達を作ることが困難。学校で友達になっても遠方からの通学等で放課後に一緒に過ごすことも難しい。様々な制度があっても親は日中仕事があり相談や説明を聞きに行くことすら難しい。仕事が終わってからの夜の時間帯にでも相談ができると助かる。
5	出雲地域	女性	10代	療	本人以外	料金のランクが2つしかないもう少し増やして欲しい。また利用料の減額を望む。目に見えない障がいを持っている子どもがいることを市民に理解してもらえるように広報等に載せてほしい。ショートステイなどができる施設を増やして欲しい。親が病気の時など、困っている。デイサービスで勉強を教えてもいいことにして欲しい。障害のある子どもは勉強できなくてもいいのか？学校でのつきそい等柔軟な対応が出来るようにしてほしい。子どもたち各々の対応を事業所が頑張っているのに市が認めてくれないことが多すぎる。事業所のことを応援してほしい。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
6	出雲地域	女性	10代		—	高校、大学に進学した際も、小・中学校のような支援体制を希望します。補聴器の価格が他の補正のための器具（眼鏡）と比べて高額、補助（福祉用の補聴器）はあるが選択肢が少なく、機能も数世代前になるため希望するものは購入できない状況です。対象の補聴器を増やす、補助の間隔（5年間）を短くするなどの対応を希望します。また自治体により有利不利がないようにしていただきたいです。身体障害者手帳で6級の難聴の場合、高度難聴用の支援金額です。左右差のある場合、6級でも重度難聴用の補聴器を片耳は購入が必要のため、負担金額が大きくなります。個別の状況により、支援金額を増やしていただくよう希望します。
7	出雲地域	女性	30代	療	本人以外	障害のある子が将来生活できる支援ができる学校を増やしてほしい。就職口もどんどん増やしてほしい。
8	斐川地域	男性	<10		本人以外	周辺の方々の理解があるかどうかだけでも状況は変わると思う。まずはこういう人がいるんだと思ってもらえるだけで違うと思う。学校の支援学級の補助の方をもう少し増やして頂きたいです。
9	平田地域	男性	<10		本人以外	障がい児の場合だと、特に福祉と教育の関わりは大きいのにその繋がりが無い。特に教育現場が福祉について知らなすぎる。小学校の先生に福祉サービスの話をしても、その制度のことを知らないのは問題だと思う。保育所等訪問支援など利用しても現場の先生の理解がなければ何の意味もない。ただ、サービスをするだけではなく、教育との連繋がすごく必要だと思う。障がい児の福祉サービスでの意見、苦情があった場合、市は責任をもって対応をしてほしい。以前、市は関係ないと言われたので、そこはきちんと対応してほしい。丸投げは虐待とかにもつながっていく。施設への指導もしてほしい。
10	平田地域	女性	10代	精	本人	特別支援学校の名前を養護から変えてほしい。養護は知的障害の■■■■になってしまうため、知的以外の人がかわいそうである。特別支援から上の学校へ行きたい人のためにそういう支援もしてほしい。学校の関係で上の学校に行かなくてもいい就職ができるようにしてほしい。資格とか取りにくい人が多いから資格を取れるようにしてほしい。資格なくても働けるとか。新しい事業所にも期待したい。（モノづくりしかない人）とか色々なアイデアを制作するとか。精神障害者■■■■の■■■■してほしい。ヘルプマークの考え方とか、もうちょっと広げる。 【注：■■は読み取れなかった文字】
11	大社地域	女性	<10	身	—	小学校への入学を悩んでいます（養護学校）。本来であれば出雲養護に通うのが一番いいと思うのですが、松江の方が、病院隣接、リハビリ（訓練）ありと聞き、便利さを考えて松江へ行きたいと思うようになりました。ただ、移動時に発作が起きたら、と心配になる事もあり、悩みは尽きません。もっと出雲も安心して預けられる環境になると良いなと思っています。

6. 施設入所に関する意見・要望

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	<10		本人以外	受け皿が少なすぎるため、入りたい所に入れない。職員さんを見ていて余裕がないように見えます。
2	出雲地域	男性	30代	身	本人以外	今後、親もいつ病気等で解除できない日が出るかわからないので、短期入所ができる施設があるといいと思っています。親族等の協力で今まではなんとか乗り切ってきましたが、いつまで頼れるかは不安があるので、親に何かあったら道連れにしたいと思うこともあります…。よろしくお願いします！
3	出雲地域	男性	50代	身/療/精	本人以外	ある施設に、以前、ショートステイさせてもらったが、弟の行動に問題があるとして、ショートステイを断られて、すごく困った。弟も、その施設に行くのを嫌がるようになった。相談員さんに相談しても、次のショートステイ先をまだ決めてもらっていない。弟は昨年から3回も病気入院したので、一日も早く次のショートステイ先を決めて、2、3ヶ月に1回はおためしにショートステイに行かせて、新しい施設に慣れさせておきたい。平田の出雲市総合医療センター内のプレーグに、現在デイサービスに通っているが、弟に対して厳しく、ちょっとしたことがあると、まるで来るのをやめてほしい、対処してほしいという感じのことを言われるので、すごい困ります。弟はデイサービスに、どこにも行けなくなるのではと心配です。弟の相談員さんは、土日祝日におやすみなので、何かあったときに、土日祝は相談できないので非常に困っています。土日祝日でも、相談できるシステムを作ってください。何のための相談員かわかりません。土日祝日に何かあったら、どうしたらよいか教えてください。相談員さんは公務員なのでしょうか？公の役に立たなかったら、意味がありません。弱者の立場に立ってないです。
4	出雲地域	男性	60代	身	本人	人工透析患者です。将来一人になったとき、身の回りのことが何もできなくなった場合、受け入れてもらえる施設があるのか、週3回送迎の必要な透析患者は特に特別養護老人ホームなどは入りにくいと聞きます。災害時、避難所で我々食事制限の多い者に対し考慮した食べ物が提供されるのか？
5	出雲地域	男性	80代	身	本人以外	九年前に脳梗塞と診断され、左半身麻痺になりました。頭の方が半分梗塞になり、そのために感情のコントロールが難しいというより、できない状況です。そんな事なので、夫婦二人暮らしの私共はショートステイとか、たまには入所（1ヶ月位）を頼みたいのですが、施設の方で断られてしまいます。大変だから頼んでいるのに、あっさり「うちでは無理です。」と断られます。病気には色々あります。何もしゃべれない人、又しゃべるようになって困っている者もいます。何とかできないもののでしょうか。
6	出雲地域	女性	20代	身/療	本人以外	日中一時支援は、少しずつ利用できるようになりましたが、短期入所は、施設の方での受け入れが難しくてまだ利用できてないです。家族が介護できなくなった時、過ごせる場所がなくなると不安です。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
7	出雲地域	女性	50代	療	本人以外	母親が他界後、父（満 88 歳）と弟（満 57 歳・中学校勤務）との 3 人暮らし、障がい者が自閉症（会話が出来ない）行動が少ない。自宅ではテレビ視聴、ごろ寝で過ごしている。外出を嫌がる。排便の失敗がある。1 人での入浴が出来かねる。子宮摘出術後、体重が増え血圧が高くなり、肝臓に障害があるの診断。母親が居なくなり、細かな世話が父・弟だけでは出来かねる状態。施設の入所、グループホームへの入居を希望しているが順番待ちの状態。母親が入院中は短期入所を週 2～3 回させてもらい助かったが、現在は月 2～3 日しか受け入れてもらえない。自宅では、十分な介護が出来かねる状態になりつつある。
8	出雲地域	女性	50代	療	本人以外	高等学校（高等部）を卒業したあとの作業所を考えたとき、どこも満杯で受け入れ先が増えると思います。短期入所（ショートステイ）を利用しています。申込時に空きがないと断られると聞きます。受け入れ人数がもう少し増えたらと思います。人材が不足している現状では大変かと理解できますので。希望です。
9	平田地域	女性	30代	身	本人以外	在宅できなくなった時、入所できるところがない。今サンホームしかなく、入所待ちの状態と聞いています。他にもう一ヶ所でも入所できる所があれば嬉しいです。検討ください。作ってください。よろしくお願い致します。障がい者福祉タクシー券の枚数を増やして頂きたい。日中一時支援、希望通りの日に通える様になりたい。
10	湖陵地域	女性	70代	精	本人以外	本人は今、海星病院に入院しています。数年前は一人で暮らしておりましたが、脳こうそくを発病を機に、精神状態も不安定になり、それ以降入院です（入院 3 年です）。今は精神も安定しておりますが、今後入所する施設がなく、いろいろ家族で探し真っしたが、なくて困っている状態です。主治医の先生はそんなに気にされなくても次が見つかるまでは大丈夫ですのと言ってくださってますが、当面は良いですが、先行きが心配です。老人施設は介護認定 3 以上でないと入所ができないし、精神の入所施設はないし、大変です。市役所の福祉課にも相談に行ったことはありますが最後は家族で探してくださいと言われ、施設の書いてあるパンフレットを渡されました。

7. アンケートに関する意見・要望

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	10代		本人以外	このようなアンケートをして下さることで、困っている方が何に対してわからなくて、不安なのかを判断する良い資料になると思います。（このアンケートが回ってきた人は幸せです。）息子が小さかったころは、制度はあっても、自分が困ったとき自分が動いて調べたり、知ろうと動かない限りはせっかくのよい制度も知ることができませんでした。知ろうとしなくても誰もが情報を与えられるくらい制度が広がり、また分かりやすくなれば今よりさらに助かる人も増えると思います。息子は障がい者福祉の制度によって、十分立派に成長してくれました。感謝の気持ちでいっぱいです。助けようとしてくださる皆さまがいるからこそその成長でした。これからも、どんな人も暮らしやすい出雲市になるよう、力を貸してくださるとうれしく思います。いつもありがとうございます。
2	出雲地域	男性	30代	療	本人以外	アンケートの間ですが、行政の方は通常よく使っている言葉かもしれませんが、家族にとっては???というところも多くあります。（例えば区分とかは、どの証書を見れば分かったか）アンケートを送り付けるのではなく、相談員さんが決まっている人には家庭訪問とか TEL での聞き取り調査をしたら疑問点も詳しくわかるのではないのでしょうか。個人情報の関連もあるかと思いますが、本当のことが書ければいいのですがよく分からないからと回答される方が問題があるのではないのでしょうか。
3	出雲地域	男性	60代	身	本人	このアンケートで何を基礎にして今後の福祉施策として活用されるのでしょうか。設問が相当な重症者に特定されているように思われる。例えば、上半身は誠に元気ですが、下半身が不自由で車椅子でしか行動できない人にはあまり効果的な設問ではないように思われる。又、この（株）エブリプラン様と市役所の関係は何かありますか？Web サイトでみるとエブリプラン様にはアンケート専門の事業は見られません。予算消耗のためのお役所仕事の様口しか思えない。障がい者にはそれぞれの障害があるわけで通り一辺のアンケートではアンケートにならないし、今後の施策の資料にはならない。カネ（税金）が無駄である。
4	出雲地域	男性	80代		本人以外	アンケート記入が分かりにくい。理解できるようお願いしたい。
5	出雲地域	女性	20代	療	本人以外	知的障害があるが、抵抗するので病院に連れて行くのも大変。訪問医療のようなものがあれば助かる。あんっけーとは利用していないサービスの名称になじみがないので利用者証のどの部分を見ればいいのか迷った。現在利用しているサービスはアンケートでなくても実態が把握できるのではないかな？
6	出雲地域	女性	20代	身	本人以外	このようなアンケートを通じて障がいを持つ人について生の声を届けることができるとは良いことと思いました。どんなサービスがあるのか、どんな制度があるのか等、分からないことが分からない方がいらっしやと思います。私もそうかもしれませんので、受ける事ができる可能性があるものの情報を行政側から広く発信していただきたいと思います。
7	平田地域	男性	60代	身	本人	今後とも、サービスの向上に努めてください。アンケート調査はもっと簡単で分かりやすいものをお願いします。
8	平田地域	女性	<10	療	本人以外	税金のムダです。この紙代で福祉サービスをもっと良くして下さい。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
9	斐川地域	男性	80代	身	本人以外	設問に対しての対象者がわかりにくいアンケートでした。障がい者福祉というように言われていますがあまり役場等積極的とは感じられません。

8. 日中一時支援に関する意見・要望

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	<10		本人以外	日中一時支援で自宅以外の送迎ができないのが困っている。自宅の身だと、ひとりになる時間が出来るので不安。発作が起きたり、訪問者が突然来たりすると不安な為。
2	出雲地域	男性	20代	身/精	本人	日中、一時支援事業所がもっとあればいい。あるいは定員増。親なき後の受け入れ先の充実。
3	出雲地域	女性	<10	療	本人以外	日中一時、放デー、移動支援サービスを利用させて頂き、生活が何とか成り立っていますこと大変感謝しています。しかしその利用については、両親の就労などの理由ではなく、あくまで本人にとって必要かどうかで上限が決まっていたり、契約が進んでいたりしていると聞いています。私自身はある程度整っている状況ですが、サービスが受けられず、やむなく仕事を辞職した話も聞いています。また利用料金ですが、収入によって変わることは問題ないと思いますが、¥4,600の設定はあまりに安すぎるように思います。そのために利用者増になっている部分もあるのではないのでしょうか。本人にとってどの程度必要かを平等に公正に判断するのは難しいように思います。また、障害を持っている子をもつ親に仕事への道を付けて頂きたいです。そこで、①上限決定に、家族の状況も考慮していただきたい。②¥4,600の引き上げをお願いしたいと思います。必要な人に必要なサービスがいきわたるよう、福祉のお金がより公正に適正に使われるよう今後もよろしくお願いします。
4	平田地域	女性	20代	療	本人以外	もう少し親の負担を少なくして、もっと日中一時、ショートステイが利用できる施設を増やしてほしい。日中一時、ショートステイが使えないと町内行事ができなくとても困っています。
5	湖陵地域	男性	20代	療	本人以外	日中一時支援、ショートステイは土日に利用しようと思っても施設によっては断られることがあると聞く。それは重度の人が多く、施設の都合もあると思うが、土日に利用しやすい施設があると良い。
6	斐川地域	男性	20代	療	本人以外	今はさまざまなサービスが受けられ、苦情はパチが当たるほどありがたいです。でも障がいの内容によっては、まだまだしてほしいサービスもあります。うちの子の利用は施設サービスでのショートステイ、母親の勤務の日の集合場所への送り（朝のみ）です。帰りは迎えに行ってもらっても、サービスが送迎のみで日中一時は受け入れができないので、親の仕事時間を短くして4:00には迎えに行きます。たとえ入所しても心配は尽きないので今はこのままでよいかと思っています。ですが、親はいつかなくなります。涙をのんで、次の段階へと進めなければならない日が来ると思ってはいます。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
7	斐川地域	男性	20代	療	本人以外	・障がい者の作業所に、セットで日中一時支援サービスを提供してほしいです。作業所はPM4:00で終了です。その後は、別の場所に預けるか、就業をあきらめるかしかない。日中一時サービスを提供している事業所が少ない。児童デイサービスは、たくさんあるが…。(もうかる?)・土曜、日曜に障がい者を預ける場所を作してほしい。・災害が発生した時に、避難所を障がい者のために準備してほしい。しきり(パーティーン)とかあるだけで、だいぶちがう。・障がい者専用の公営の住宅を建設してほしい。(60歳以下希望)今現在市営住宅ですが、住環境が悪い。エレベーターもないし、近所に気をつかう生活は疲れた。体調不良を招く。騒音に対して寛容でない人が多い。(高齢の人)行政は介入したがない…。真昼間に片付けしてただけで、「やかましい」とか怒鳴られた。おかしいと思う。市営住宅に一人暮らしの高齢の人とかばかり入居させないでほしい。自治会の役員はしないし、まわりの人が負担が重くなる。

9. 就労支援に関する意見・要望

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	<10	身/精	本人以外	障がいのある子どもが大人になった時に就労支援がとても必要です。受け入れる企業などの理解が少ないと思っています。障がいが見えにくい子どもが一人で生きて生活する為、支援や免除など充実して欲しいと思います。
2	出雲地域	男性	10代	療	本人以外	就労継続支援A型の事業所が少ないので、今後増えてほしいと思います。
3	出雲地域	男性	10代	療	本人以外	障がいの度合いによって支援も変わります。もう少し細かく分けて、支援方法を考えてほしい。今はまだ小学生ですが、就労に向けた支援をもう少し、タイプ別で早々に始めてほしい。パソコンなどの支援、訓練に力を入れてほしい。専門的な知識を持った方が少ないように思います。障がいにも色々あるので、専門知識のある方がもっと現場に増えてほしいと思います。障がい者による、何か事業も（会社）も増えるといいなと思います。
4	出雲地域	男性	10代	療	本人以外	就労に向けての説明会を増やして欲しい。受け入れてくれる企業を増やして欲しい。
5	出雲地域	女性	20代	身	—	助成金等のお知らせが行政から発信されず、利用できないことも多い。もっと個別で利用できる制度・サービスが分かるようにしてほしい。介護者への支援が少ない。負担が大きすぎる（特に家族）。介護される側も、逆に気を使ってしまい、何かするにもあきらめてしまうことが多い。もっと気軽に外出の援助や外出先での介助をしてもらえるサービスを利用できるようにしてほしい。現在、大学で資格を取得するために勉強中であるが、資格を取得しても車いすであると資格を活かした就労ができるのか就職先への不安が大きい。サービスを利用してでも、自分の取得した資格を活かして仕事がしたい。
6	出雲地域	女性	30代	療	本人以外	障害のある子が将来生活できる支援ができる学校を増やしてほしい。就職口もどんどん増やしてほしい。
7	平田地域	女性	10代	精	本人	特別支援学校の名前を養護から変えてほしい。養護は知的障害の■■■になってしまうため、知的以外の人がかわいそうである。特別支援から上の学校へ行きたい人のためにそういう支援もしてほしい。学校の関係で上の学校に行かなくてもいい就職ができるようにしてほしい。資格とか取りにくい人が多いから資格を取れるようにしてほしい。資格なくても働けるとか。新しい事業所にも期待したい。（モノづくりしかない人）とか色々なアイデアを制作するとか。精神障害者■■■の■■■してほしい。ヘルプマークの考え方とか、もうちょっと広げる。

【注：■■■は読み取れなかった文字】

10. イベント・土日等の居場所に関する意見・要望

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	10代	療	本人以外	今、中学3年生になり、卒業のことを少しずつ考えています。高等部まではありがたいことに預かってもらえるところがあるので、仕事も今のまま続けられるそうです。卒後の事業所を探すと、帰ってくる時間が今より早くなってくるので、仕事の仕方をどうしようかと思っています。また、兄弟の行事のため、土日など預けたいと思うのですが、土日も過ごせる事業所が現在はとても少ない。ほとんどありません。兄弟一人ひとりのすごしや、習い事などの時間も大切にすることで、家族みんなが満足感を得ることができ障害のある兄弟も大切にしてくれるかと思っています。もっと休みの日にも受け入れてくれる事業所を増やしてほしいです。障がいのある子にもっといろいろな体験をさせてやりたく思います。音楽や演劇にも触れさせたいです。かといって常に静かに過ごすこと（長時間）は難しい面もあります。ですがそういった子たちも気軽に足を運べるイベントや催しをしてほしいです。
2	出雲地域	男性	10代	療	本人以外	養護学校高等部に卒業し、就労Bを利用。朝9:30迎え、帰りは16:00前に帰宅。夕方することがなく、家で一人留守番ができない為、家族は仕事を辞めて、朝の迎えまでと夕方帰宅してからの見守りをしている。学校に通っている間は放課後デイがあり、学校の登校も早い時間に出発していたので、家族も仕事に出ていたが。卒業すると、生活の質が落ちたように思う。就労B、生活介護の時間延長か、または、夕方、土日を営業する事業所を作してほしい。
3	出雲地域	男性	30代	療	本人以外	土日日中通所が休みの時行く場所が欲しい。
4	出雲地域	女性	40代	療	本人以外	18歳以上の大人が利用できる施設に土日を預かってもらえる施設が少なく18歳以上になると土日の本人と家族の外出が困難になる。家族は仕事以外の休みの日に引きこもるしかなくなり、精神的に辛い。
5	斐川地域	男性	20代	療	本人以外	・障がい者の作業所に、セットで日中一時支援サービスを提供してほしいです。作業所はPM4:00で終了です。その後は、別の場所に預けるか、就業をあきらめるかしかない。日中一時サービスを提供している事業所が少ない。児童デイサービスは、たくさんあるが…。(もうかる?) ・土曜、日曜に障がい者を預ける場所を作してほしい。・災害が発生した時に、避難所を障がい者のために準備してほしい。しきり(パーテーション)とかあるだけで、だいぶちがう。 ・障がい者専用の公営の住宅を建設してほしい。(60歳以下希望)今現在市営住宅ですが、住環境が悪い。エレベーターもないし、近所に気をつかう生活は疲れた。体調不良を招く。騒音に対して寛容でない人が多い。(高齢の人)行政は介入しながらない…?真昼間に片付けしてただけで、「やかましい」とか怒鳴られた。おかしいと思う。市営住宅に一人暮らしの高齢の人とかばっかり入居させないでほしい。自治会の役員はしないし、まわりの人が負担が重くなる。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
6	斐川地域	女性	30代	療	本人以外	出雲市は障害者福祉に関して、色々な施策をおこなっておられ、住みやすい地域だと思う。色々な制度を利用し、在宅での生活をしていますが、土曜日、日曜日のヘルパーさんの利用をお願いしても、うけていただけるヘルパーさんが少なく、余暇活動ができない。家族がつねに土・日曜日につれて出かけることはできないので、ヘルパーさんをお願いしたいが残念だ。どこの事業所も人手不足で無理はいえないので、障がいをもっている人もボランティア等の介助を得て、何か楽しめるイベントがあると、うれしい。

11. 医療的ケアに関する意見・要望

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	女性	<10	身	本人以外	障がい児を持ってみてはじめて、いろいろなサービスや制度があることを知りました。昔に比べれば、おそらくだいぶ充実しているとは思いますが、県中のショートステイサービスが、より利用しやすくなると喜びます。大人のショートステイ施設はあっても、子どもの施設（医的ケアあり）は、なかなか出雲市にないのが残念です。今後も医療ケア児は、増加の一途だと思しますので、よりよいサービス、制度の充実を切に願います。
2	出雲地域	女性	20代	身/療	本人以外	出雲市は医療ケアが必要な方など重度心身障害児者（とくに者）の受け入れ先が少なく出雲市以外へ出かけてはならないことが多い。出雲に住んでいてもなかなか出雲市民という感じにはなれない
3	出雲地域	女性	60代	身/療	本人以外	H15 から障害児も居宅サービスの利用が可能になり、移動支援や訪問入浴も利用できる様になって、本当に助かっています。年齢が上がるにしたがって、医療的ケアも加わり、母親も年齢を重ねてくると介護の負担を感じるようになってきました。担当の相談支援専門員の方はとてもいい方で一生懸命支えてくださっていますので、ありがたいです。今のところ何の問題もなく過ごせていて幸せです。ただ障害児の医療的ケアの必要な児へのサービスが不十分な気がします。これからどんどん重度で医療的に依存度の高い児が増えていくので対応を考えてもらわなければいけないと思っています。家族支援を含めた児への支援を考えてもらいたいです。障がい児を抱えた両親の離婚も増えているし、母親の抱えている悩みは相当大きいです。どうかよろしくお願いします。

12. その他の意見・要望

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	10代	療	本人以外	申請手続きが面倒です。(以前住んでいた松江市と比べて) 同じ県内なのに統一性がなくて不便です。
2	出雲地域	男性	10代	療	本人以外	さまざまな制度があることは大変ありがたいですが、制度の仕組みについて複雑でなかなか理解できず、福祉事業所の方々に任せてばかりです。もう少し簡素化できないでしょうか。
3	出雲地域	男性	10代	療	本人以外	福祉サービスや手続きなどで市役所を訪れた際に、職員の対応で不快な思いをしたことが何度かありました。プライベートな内容(障害名など)を大きな声で話したり、17時ごろ(就業時間終わる前に)に行ったらあきらかにめんどろそうな対応をされたり、こういうアンケートもいいですが、まずは職員さんや住民の方の正しい理解や対応が大切だと思います。
4	出雲地域	男性	10代	療	本人以外	近くに一緒に気軽に遊べる友達を作ることが困難。学校で友達になっても遠方からの通学等で放課後に一緒に過ごすことも難しい。様々な制度があっても親は日中仕事があり相談や説明を聞きに行くことすら難しい。仕事が終わってからの夜の時間帯にでも相談ができると助かる。
5	出雲地域	男性	10代		本人以外	障がいを持った子どもと親を支えてくださって、とてもありがたいと思っています。子どもの進路や学校生活について一緒に悩んだり、アドバイスしてくださる支援員さんにたくさんの力をいただいています。ありがとうございます。自立支援医療受給者証をいただいているのですが、使うことができる医療機関が限られていて、個人病院で漢方薬をいただいているのは対象外です。医療機関が広がるとうれしいです。
6	出雲地域	男性	20代	精	本人	障がい者年金の審査が厳しいと思う。
7	出雲地域	男性	20代	身/療	本人	福祉の制度が毎年、悪くなるばかりですね。生活がしづらくなりました。手当なども消費税みたいに値上げして頂けると嬉しいです。家族も仕事したくても出来ないということもあります。また保険…受給者証等の切り替えを市役所まで行けないので、何とか考えてもらえると嬉しいです。
8	出雲地域	男性	20代	身/療	本人以外	選挙の投票が難しい。不在者投票しに行ったが、対象者ではないと言われたので、今後も選挙の投票は難しい。身体的理由も有りだが知的な理由で投票が難しい人はたくさんいます。
9	出雲地域	男性	20代	療	本人以外	国からの障がい者年金等、保障はあるが、月6万弱では、生活困難である。市からも補助があればいいと思う。知的障がい者の行き場がない。作業所等、もっと力を入れてほしい。もっと知的障がい(発達障がい)について、だいたいの理解できるような講演をたくさんしてほしい。身体と違い、ADHDなどは、会話もできるし、ぱっと見は普通に見える。しかし集中ができない。コミュニケーションがダメ「わがままな人」でと勘違いされてしまう。でも本人は、それについて説明も弁解も出来ない。もっと世間の方々が障がいについて知ってほしい。またそれを支えている親(家族)の気持ちを知ってもらえるようにしてほしい。
10	出雲地域	男性	30代	身	本人	福祉サービスが多くあると思うが、サービスの種類、内容などが分かりにくい。また、申請してからサービスの利用までに時間がかかることが多いので、短縮できるようお願いしたい。
11	出雲地域	男性	30代	療	本人以外	地域で生活できる環境づくりを希望します。地域では、まだ受け入れてもらえない環境や理解してもらえない所が多くあります。本人や家族の努力だけでは、難しい場面があります。地域と普段から接する機会を設けていただくことを要望します。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
12	出雲地域	男性	50代	身	本人	たくさんの意見があると思いますが、出雲市が我々障がい者の立ち場に立った細かい政策をしていただきたいです。
13	出雲地域	男性	50代	身/療	本人	障がい者内容を理解して支援してほしい。家族等が見ていない所では障がい者をバカにしている。
14	出雲地域	男性	60代	精	本人	どこも変わらなかった。お金がかかる一方で同じだったから。
15	出雲地域	男性	60代	精	本人	電話対応、断られた時も応用に。
16	出雲地域	男性	60代	身	本人	生活介護での入浴回数をもう少し増やしてほしい。
17	出雲地域	男性	60代	身	本人	生活面ではあまり困らないが、病院で詳しい話をしたい時、質問などを知りたい時、専門用語が多い時に内容が分からず困ってしまうので、ポルトガル語の通訳と一緒にいると助かります。
18	出雲地域	男性	60代	身	本人以外	出雲市からの福祉サービスには、ただただ感謝しかありません。本当にありがとうございます。将来の不安は大きいですが、出雲市からの手厚いサポートがなければ”今”が生きられません。本当に感謝しております。もし要望があったら、このアンケートの問いが分かりにくく、事業の内容サービスの内容の文字が小さくて老眼には辛かったです。質問が分かりにくいので間違えて答えていたら申し訳ないです。
19	出雲地域	男性	60代	療	本人以外	年齢を超えると障がい者施設を利用できなくなり、高齢者の施設に移動になるが、できればそのまま障がい者の施設利用できると嬉しい。就労支援ですが、過去に力仕事に従事したことがあります。時給 100 円台で 1 日何百円しかもらえないところに、弁当・飲み物持参で拘束されるのはひどい話だと思います。知的障害はあっても軽度だし、身体は健康なのに、搾取されているのではと思ったほどですが、他も同じだと聞き、あきれてしまいました。現在は時々友人の紹介で草刈り等のアルバイトで、1 日 5,500 円もらえるときもあり、本人もバカバカしく思っているようです。
20	出雲地域	男性	70代	身	本人以外	成年後見について：成年後見センターに行き相談をしたが、お金（費用）のことばかり言われ、お金が無ければ制度を利用できない事が分かり失望しました。社会福祉協議会・人権相談について：当事者（障がい者）の意見を聞かず、親族やケアマネの意見ばかりを聞いて判断され、全く人権相談の窓口としての機能を果たしていない現実で失望しました。障がい者虐待防止法について：市の福祉推進課に担当はありますが、及び腰の対応に失望しました。
21	出雲地域	男性	80代		本人以外	特養並みの利用料に民間施設もしてほしい
22	出雲地域	女性	<10	身/療	本人以外	需要が増えても供給が伴ってない様に感じます。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
23	出雲地域	女性	<10	療	本人以外	日中一時、放デー、移動支援サービスを利用させて頂き、生活が何とか成り立っていますこと大変感謝しています。しかしその利用については、両親の就労などの理由ではなく、あくまで本人にとって必要かどうかで上限が決まっていたり、契約が進んでいたりしていると聞いています。私自身はある程度整っている状況ですが、サービスが受けられず、やむなく仕事を辞職した話も聞いています。また利用料金ですが、収入によって変わることは問題ないと思いますが、¥4,600 の設定はあまりに安すぎるように思います。そのために利用者増になっている部分もあるのではないのでしょうか。本人にとってどの程度必要かを平等に公正に判断するのは難しいように思います。また、障害を持っている子をもつ親に仕事への道を付けて頂きたいです。そこで、①上限決定に、家族の状況も考慮していただきたい。②¥4,600 の引き上げをお願いしたいと思います。必要な人に必要なサービスがいきわたるよう、福祉のお金がより公正に適正に使われるよう今後もよろしくお願いします。
24	出雲地域	女性	<10	療	本人以外	幼稚園や小学校等において介助や見守りが必要であるにもかかわらず、行政側の都合、予算がないと言われ、対応がしてもらえないのは困る。必要時にサービスが受けられないのは困る。安心して通学できない。
25	出雲地域	女性	10代	療	本人以外	人手がもう少しほしいです。
26	出雲地域	女性	10代	療	本人以外	今、高3の女の子です。卒業後、B型の事業所で働けるように、今現場実習など頑張っています。卒業後、成人を迎えた時、一般の成人した人との成人式の参加が少々難しいです（色々、障がいがあるので・・・）障がいのある成人の子の成人式はできないのでしょうか。（例えば、会場を別にして、もしくは時間をずらすとか）母親として、成人式を娘と迎えたいです。無理をして娘に一般の方の成人式の参加にはあまり周囲に迷惑をかけたくない・・・という気持ちもありますので・・・。
27	出雲地域	女性	10代	療	本人以外	18歳以上になると生活介護の利用となりますので、それまでの放課後デイは夕方18時ごろまで利用できるのに、生活介護は16時ごろまでが多いです。保護者が介護しないとイケないのに共働きで難しいです。生活介護の時間を長くしていただけないのでしょうか。
28	出雲地域	女性	10代		—	高校、大学に進学した際も、小・中学校のような支援体制を希望します。補聴器の価格が他の補正のための器具（眼鏡）と比べて高額、補助（福祉用の補聴器）はあるが選択肢が少なく、機能も数世代前になるため希望するものは購入できない状況です。対象の補聴器を増やす、補助の間隔（5年間）を短くするなどの対応を希望します。また自治体により有利不利がないようにしていただきたいです。身体障害者手帳で6級の難聴の場合、高度難聴用の支援金額です。左右差のある場合、6級でも重度難聴用の補聴器を片耳は購入が必要のため、負担金額が大きくなります。個別の状況により、支援金額を増やしていただくよう希望します。
29	出雲地域	女性	10代	療	本人以外	料金のランクが2つしかないもう少し増やして欲しい。また利用料の減額を望む。目に見えない障がいを持っている子どもがいることを市民に理解してもらえるように広報等に載せてほしい。ショートステイなどができる施設を増やして欲しい。親が病気の時など、困っている。デイサービスで勉強を教えてもいいことにして欲しい。障害のある子どもは勉強できなくてもいいのか？学校でのつきそい等柔軟な対応が出来るようにしてほしい。子どもたち各々の対応を事業所が頑張っているのに市が認めてくれないことが多すぎる。事業所のことを応援してほしい。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
30	出雲地域	女性	20代	精	本人	人それぞれの環境があるのに、相談を受ける側の人は時々他の人と比べて「あの人よりひどくない」だから大丈夫って。時々、ちゃんと個人にあった支援をしていたのかな？って疑問に思う瞬間はありました。
31	出雲地域	女性	30代	精	本人	行政の人が普通の人で、障害に対しての知識がないので、話にならない。色々な所をたらい回しにするのはやめてほしい。嫌な顔されているのは伝わるので嫌な思いをする。市役所の福祉課なら障害についてもっと知ってから相手をしてほしい。良い印象はまるでないし、できれば利用したくない。☆親の私が窓口に行った時も不安そうに相手されました。
32	出雲地域	女性	30代	精	本人	病院や市役所等、年金等の手続きがわからないので、その度、つきそってほしいです。
33	出雲地域	女性	30代	精	本人以外	障がい者福祉サービスを利用したい時、すぐ利用したいと考えている場合、審査などあり、利用するまでに時間がかかるなという印象です。
34	出雲地域	女性	30代	身/療	本人以外	日頃より、お世話になっております。小さい事ですが、封書で届く書類の封筒がきれいにはがれるので「回収箱」でも置いてあれば再利用してもらえるのでは・・・と思っていますが？先日、市役所から書類に不備（役所側の）があったので返送用の封筒を入れておきますので、記入後、返信してほしいとのTELがありました。確かに返信用封筒は入っていましたが、今回の封筒のように両面テープなどはってなく、家中を探してセロテープを貼って返信しました。この心遣いのなさは福祉の仕事をしている方として残念に思いました。
35	出雲地域	女性	30代	身/療	本人以外	最近、福祉サービスが向上してきています。有難いことです。短期入所、タイムステイ（日中一時支援）、グループホーム、施設入所…。出雲市内で本人の能力に合わせ「生活訓練」があるといいと思います。自分のできる事が少しでも増えることは、生活の豊かさが生まれます。
36	出雲地域	女性	30代	療	本人以外	保育園や老人施設は、あちこち建設されるが、知的障がい者が入所できる所が少ない気がする。早急に預けたい場合、対応できる場所がない。タクシー代の値上がりで使いづらい。
37	出雲地域	女性	30代	身/療	本人以外	福祉の職業で活躍している方には頭が下がる思いですが、比較的高齢の方が第一線で頑張っている職場もあると感じます。後継者はいくせいしてあるのか？とか、障害の種類（特に難病の場合）加算を付けてあげてほしいとか思います。特に訪問入浴事業では1回の入浴で約15,000円。それを3人で行っている。訪問看護では1回10,000円有識者であるという点はあると思うが、お世話になっている職種の利用料を比較すると納得のいかない点もあります。相対的に出雲市の福祉には家計がとても助けられていて感謝しています。
38	出雲地域	女性	30代	身/療	本人以外	最近、福祉サービスが向上してきています。有難いことです。短期入所、タイムステイ（日中一時支援）、グループホーム、施設入所…。出雲市内で本人の能力に合わせ「生活訓練」があるといいと思います。自分のできる事が少しでも増えることは、生活の豊かさが生まれます。
39	出雲地域	女性	40代	身	本人以外	自立支援の障がい者の施設がなく、色々な枠を少し広げてほしいと思います。日頃の支援に対してはとても感謝しております。。これからもよろしくお願い致します。
40	出雲地域	女性	40代	療	本人以外	排泄が難しく、紙おむつの補助をできればしてほしい。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
41	出雲地域	女性	40代	療/精	本人	市は障がい者にもっと親切に接するべきである。
42	出雲地域	女性	50代	精	本人	障がい者手帳の書き換え発行などで私の地元の広島県の保健福祉センターではそんなのでいいんですかと思うくらいすぐ手帳を渡すと保健婦さん（担当の）が訂正印を押して1分くらいで手帳の更新をしてくれていたのですが、こちらの島根県の方に来ると何度か足を運んでやっとのことで手帳の更新をするというぐあいで大変です。病気から乗用車の運転ができないので雨の日でも自転車で行っています。それと不思議なのですが障がい者の方でも運転ができる方がおられて割引とかしてもらっているのが不思議です。私は3級ですが運転ができないので配偶者に迷惑をかけています。広島で最初は手帳は1級だったのですが、2級によくなり、わずかな障害厚生年金が3級だったので手帳も島根県で3級になり安月給の主人の自動車税の免除ありません。自立支援も患者カードに戻してほしいです。生活は苦しいです。広島市みたいに島根県も無償にしてくだされば、高齢者さんの負担が2割に上がるので申し訳ないのですが、幼児無償化とかもあるので、消費税も上がるし、幼児教育を無償化にしくなくても若いうちなら元気もあるし、お金を稼ぐことができると思うのですが。私だけではなく子どものいない家庭の人はそう思うと思います。政府の言っている福祉の充実はだましている。治る見込みのない病気でも毎回更新がいるのでしょうか？
43	出雲地域	女性	60代	身	—	道路や駅に階段や段差が多いように思います。この辺をよくしてもらったらいいいと思います。よろしくお願いいたします。
44	出雲地域	女性	70代	身	本人	ホームヘルパー利用について。もう少し範囲を広げたサービスでもできるようにしてほしい。（ストーブに灯油を入れてくれる、絨毯・ござの出し入れ、花の水替え・水やりなど）
45	出雲地域	女性	70代		本人	私自身は、障害が軽いので今のところ障がい者福祉に関してほぼ利用していません。ただ、年齢を重ねてこの障害が複次的に障害が重くなった時に、再検査を受けて障害程度が挙げただけなのか不安を持っています。障がい者福祉が今のところほぼ申請式になっています。障がい者が高齢となったり、独居になったりした時の丁寧な声掛け式の福祉になるよう要望します。
46	平田地域	男性	10代	身	—	必要なもの（座位保持装置、バギーなど）がすぐに作ってもらえない。1年かかる。子供の成長は個人差もあり介護する側はとても困ります。今も我慢して歩行器使ってます。申請するのにも嫌な顔され申請できない。誰のための福祉でしょうか。出雲市は福祉の水準が低いです。松江の病院に行くと「出雲市」というと装具等も申請難しいといわれ、Drも嫌な気持ちになっておられます。改善をお願いします。
47	平田地域	女性	<10	療	本人以外	税金のムダです。この紙代で福祉サービスをもっと良くして下さい。
48	平田地域	女性	10代		本人以外	地域によって、利用できる施設が少なかったり、送迎範囲が狭く、地域を超えて利用が出来なかったり、定員オーバーで、利用できない事が多く、対応に疑問を持っても、他に頼めない為、利用を続けている。相談支援員へ日常の状況について伝えるが、学校他関係機関とどのように連携をとっているのか、実際に話をして話しているのか（利用している事業所以外）、全く伝わってこないし、会話にも出ない。こちらの話だけ計画書を作成して受けているように感じる（事業所も同様）。
49	佐田地域	男性	70代		本人	現在、補聴器を付けていますがだんだん聞こえが悪くなり、少しでも補助していただき安く買えるようになりますか。困っています。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
50	佐田地域	男性	80代	身	本人以外	特にないですが道路の整備をしてほしい。なぜかというといと老いた者が車で通院する際に道路が悪い事、崖の石の落下に老いた者は通院するのはいやがる。早く道路整備をしてほしい。
51	湖陵地域	男性	<10		本人以外	出雲市は発達支援については手厚くしてくださっていると思っています。ありがとうございます。ここで書くことではないかもしれませんが、長男も障がい者福祉サービスを利用しています。今は利用をしていませんが、以前利用した放課後デイサービスの施設で、食で発達障害の状態が良くなる等とおっしゃっていて非常に不信感を覚えました。根拠のない事をうたっている専門のサービス施設があることについては疑問を感じます。
52	湖陵地域	女性	10代	身	本人以外	福祉全体、収入の多くない私としては、もう少し充実してくださるとありがたいのですが、そこまで出雲市は福祉面で生活しやすいと感じたことはあまりありません。市から届くお便りの量にもびっくりします。それも仕方のない事なのかもしれませんが、そんな面は簡素化していけないのですか？同じ部署なのに、同じ時期に何部も出されるなら一度にまとめられたら見る方もありがたいのですが…。相談員の方にはいつもよくしてもらっていて、助けてもらっています。それは本当に感謝しています。
53	大社地域	男性	<10	療	本人以外	紙おむつ代は、就学援助されないと知って驚いた。これから先もずっと紙おむつが必要なので、そんな費用も支給されると助かる。チャイルドシートや、買い物カート（バギー）などのレンタルがあれば嬉しい。赤ちゃん用はあっても、児童用のものはないので、とても不便だし、車の移動は危険。
54	大社地域	女性	<10	身	—	小学校への入学を悩んでいます（養護学校）。本来であれば出雲養護に通うのが一番いいと思うのですが、松江の方が、病院隣接、リハビリ（訓練）ありと聞き、便利さを考えて松江へ行きたいと思うようになりました。ただ、移動時に発作が起きたら、と心配になる事もあり、悩みは尽きません。もっと出雲も安心して預けられる環境になると良いなと思っています。
55	大社地域	女性	50代	身/精	本人以外	精神科の医院でもケアマネージャーさんも本人の訴えばかり聞いて、家族から日常生活を聞く事がないように思います。夜眠れないと本人が言っても、よく眠っていたり昼間寝て夜眠れないのはあたりまえの事です。障がい者家族のケアってありますか。費用が負担になることは出来ません。
56	大社地域	女性	60代	身	本人	先日、関東の病院に行ったら千葉とか神奈川の人達の方が障がい者福祉のサービスがはるかによかった。
57	斐川地域	男性	<10		本人以外	もっと利用しやすくしてほしい
58	斐川地域	男性	10代		本人以外	現在は、中学校にも短時間ではありますが、通えるようになりましたが、不登校の折には、様々なサービスを利用させていただき、感謝しております。利用はさせていただいていましたが、自分の勉強不足で出雲市の障がい者福祉についてよくわかっていない部分もありました。勉強会や交流会があるとありがたいなと思いました。
59	斐川地域	男性	10代		本人以外	地域の中でも安心して生活できるよう今後も相談にのってもらいたい。これから進学するにも相談や支援を希望している。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
60	斐川地域	男性	60代	身	本人以外	以前は出雲市の障害福祉に対する窓口の対応が無知と無神経の対応で、悔しさで泣くことも多かったです。本当に人の気持ちはわからない人たちばかりで、こんな人たちが市役所勤務なのかと思うと、腹が立つことばかりでした。残念でしょうがなかったです。ただ最近になり、窓口の対応も少しずつ良くなってきており、やっと気持ちが通じる職員さんが来られた、と嬉しく感じています。安心しています。
61	斐川地域	女性	<10	療	本人以外	本人（子供）は知的障がいですが、元気で明るく、日々支援校で頑張っています。確かに同年齢の子どもに比べれば、すべての物事を理解するには非常に多くの時間がかかります。突然の変更（思考とは違った事態）にも対応する力は弱いですが、しかし一度覚えると忘れません。間違えないように慎重で確実です。「速さ」を重視する現代では、この子供のような「遅さ」は生産性を欠く存在でしょう。しかし人には一人ひとり特性があり特技があります。その人のもつ力をよく見定め、適所に置いたならばこの人の力は大きく発揮されることと思います。そして「人のために役立つ」ことがこの人の生きる力となります。「障害があるから出来ないだろう。働かなくてもいい。」は本人にはつらい事です。「障害があってもできる事」をやって社会の一員として働かせてやって下さい。出雲市の施設の掃除でも、学校給食の野菜作りでもやれる人は沢山います。出雲市として障害者の雇用に力を注いでください。この人たちは間違いなく善良な市民です。この人たちの力を発揮させる場を与えて下さい。この人たちの力に目を向けて下さい。お願い致します。
62	斐川地域	女性	30代	身/療	本人以外	いつも丁寧にかかわって下さり、感謝しています。強いて言えば・・・さらにユーザーの立場に立った施策やサービスの提供。介護者の高齢化に伴って生じる課題の解決。就学前後のつなぎ。

13. 出雲市へのお礼、感謝のコメント

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
1	出雲地域	男性	<10	療	本人以外	高等学校を卒業して、働くようになってからのサービスがよく分からないところも多いですが、相談員さんと話をすると、困っていることを解決するサービスを紹介していただけるので安心しています。施設の方にもとても親切にいただいているので、親子で悩むことなく相談できるので心強いです。
2	出雲地域	男性	<10		本人以外	とてもいい施設ばかりでお世話になっている方々もとても優しく誠実で、子供に対してもいつも熱心に指導してくださってます。本当にありがたいと思っています。
3	出雲地域	男性	10代	療	本人以外	近頃色々な事業所が増え、良くも悪くもニュースになったりしていますが、私達障がい児の親は、福祉サービスがあって、福祉の制度があってはじめて安心して生活できています。我が家は10年以上CSいずもさんにお世話になっていますが、CSさんの支援がなくなれば生活は立ち行かなくなります。もっと・・・とは望みません。これから先もハンディのある子ども達、その家族、それを支える事業所のみなさん、みんなが安心できる社会である事を望みます。よろしくお願いします。
4	出雲地域	男性	10代		本人以外	障がいを持った子どもと親を支えてくださって、とてもありがたいと思っています。子どもの進路や学校生活について一緒に悩んだり、アドバイスしてくださる支援員さんにたくさんの力をいただいています。ありがとうございます。自立支援医療受給者証をいただいているのですが、使うことができる医療機関が限られていて、個人病院で漢方薬をいただいているのは対象外です。医療機関が広がるとうれしいです。
5	出雲地域	男性	20代	療	本人	いつもありがとうございます。毎日楽しいです。
6	出雲地域	男性	60代	身	本人以外	出雲市からの福祉サービスには、ただただ感謝しかありません。本当にありがとうございます。将来の不安は大きいですが、出雲市からの手厚いサポートがなければ”今”が生きられません。本当に感謝しております。もし要望があるとしたら、このアンケートの問いが分かりにくく、事業の内容サービスの内容の文字が小さくて老眼には辛かったです。質問が分かりにくいので間違って答えていたら申し訳ないです。
7	出雲地域	男性	70代	身	本人	満足しています
8	出雲地域	男性	70代	身	本人	ありません。ありがとうございます。
9	出雲地域	男性	70代	身	本人以外	主人が12年前に67歳で視力障害になりまして大変です。私が高齢で体力もないので出雲市の福祉事業をいろいろと利用させていただいてありがたいです。これからもよろしくお願いいたします。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
10	出雲地域	女性	<10	療	本人以外	日中一時、放デー、移動支援サービスを利用させて頂き、生活が何とか成り立っていますこと大変感謝しています。しかしその利用については、両親の就労などの理由ではなく、あくまで本人にとって必要かどうかで上限が決まっていたり、契約が進んでいたりしていると聞いています。私自身はある程度整っている状況ですが、サービスが受けられず、やむなく仕事を辞職した話も聞いています。また利用料金ですが、収入によって変わることは問題ないと思いますが、¥4,600 の設定はあまりに安すぎるように思います。そのために利用者増になっている部分もあるのではないのでしょうか。本人にとってどの程度必要かを平等に公正に判断するのは難しいように思います。また、障害を持っている子をもつ親に仕事への道を付けて頂きたいです。そこで、①上限決定に、家族の状況も考慮していただきたい。②¥4,600 の引き上げをお願いしたいと思います。必要な人に必要なサービスがいきわたるよう、福祉のお金がより公正に適正に使われるよう今後よろしくお願い致します。
11	出雲地域	女性	10代	身/療	本人以外	出雲市は、病院（大きな）もあり、サービス事業所も増え、今のところ親にとってはありがたいです。学校が終わると、どうなっていくかばかりが心配です。本人は家が好き。でも生活していくためにも親も働き、妹を育て、日々回していけるだろうかと年々心細くも。でも等の本人は人生でいうこれからが華の若者です。何ら不自由が生まれつきあるだけで好きなもの、好きな場所、好きな人、たくさんたくさんできました。「人の役にも立ちたい」、「お店したい」と夢はつきません。出雲の若者の一人として、彼女が輝く将来をおくることこそが、行政にははにとっても役目、責務だなあと、毎日笑顔と年頃の反抗期のやり取りから思っております。
12	出雲地域	女性	10代	療	本人以外	親の希望通り、いつも利用させていただいています。子供が楽しめるよう安全にも配慮して下さり、楽しく過ごすことができ、安心していられます。ありがとうございます。
13	出雲地域	女性	20代	身/療	本人以外	いつもお世話になりありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。
14	出雲地域	女性	30代	精	本人以外	福祉サービスを利用させてもらって感謝しています。色々なサービスがあるようですが、どの制度が利用できるのか分からないので、相談員さんに尋ねてみようと思いました。
15	出雲地域	女性	30代	身/療	本人以外	福祉の職業で活躍している方には頭が下がる思いですが、比較的高齢の方が第一線で頑張っている職場もあると感じます。後継者はいくせいしてあるのか？とか、障害の種類（特に難病の場合）加算を付けてあげてほしいとか思います。特に訪問入浴事業では1回の入浴で約15,000円。それを3人で行っている。訪問看護では1回10,000円有識者であるという点はあると思うが、お世話になっている職種の利用料を比較すると納得のいかない点もあります。相対的に出雲市の福祉には家計がとても助けられていて感謝しています。
16	出雲地域	女性	30代	身/療	本人以外	最近、福祉サービスが向上してきています。有難いことです。短期入所、タイムステイ（日中一時支援）、グループホーム、施設入所…。出雲市内で本人の能力に合わせ「生活訓練」があるといいと思います。自分のできる事が少しでも増えることは、生活の豊かさが生まれます。
17	出雲地域	女性	40代	身	本人以外	自立支援の障がい者の施設がなく、色々な枠を少し広げてほしいと思います。日頃の支援に対してはとても感謝しております。これからもよろしくお願い致します。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
18	出雲地域	女性	70代	身	本人	私は主人、子供家族と、現在では楽しく過ごしています。軽度の障害ですので、自分としては障害を感じるのが少ない状況です。障がい者福祉については十分だと感じています。
19	出雲地域	女性	70代	身	本人	福祉制度を該当するものを利用させていただき、ありがたく思っています。
20	平田地域	男性	<10		本人以外	移動支援事業を利用することができるので療育施設へ行くことができる。学校へ迎え、送りをしてもらえることで助かっている。相談支援事業では、色々な関係機関との調整をしてもらっているのだよい。相談や情報提供などしてもらえ手厚く支援してもらっていると思う。
21	平田地域	女性	20代	精	本人	サービスを受ける側にとって大切な思いやりや気配りが今の環境でとても満足している。充実した生活を送れるのもありがたいし、すごく幸せに感じます。些細なことでも周りが気づいてくれれば、こちらとなる方は、前に進むこともできる。これからの方向で変わっていくのも自分自身と人とのかわりがきっかけになってくるとそう思います。あとは、やっぱり最後は一人で決めないで、近くにおられる方や、身近な人と話すことだと思います。
22	湖陵地域	男性	<10		本人以外	出雲市は発達支援については手厚くしてくださっていると思っています。ありがとうございます。ここで書くことではないかもしれませんが、長男も障がい者福祉サービスを利用しています。今は利用をしていませんが、以前利用した放課後デイサービスの施設で、食で発達障害の状態が良くなる等とおっしゃっていて非常に不信感を覚えました。根拠のない事をうたっている専門のサービス施設があることについては疑問を感じます。
23	大社地域	女性	10代		本人	現在 46 歳。発達障がいがあります。46 年間隠し続けて誰にも言わず、誰にも頼らず、頼れる人が居ない（人に言えなかった）。小学 3 年生の時、学校の先生と親に助けを求めました。ちゃんと先生の話聞いていても自分の頭(耳)に勉強の内容が残らないと相談しても、「あなたが悪い、ちゃんと話を聞いていないからよ」と言われ、小学 3 年で親と先生を頼るのをやめました。いろんな問題行動を起こしたけどダメでした。その時に決めたのです。自分で何とかしないと誰も助けてくれない。苦しかった。孤独でした。いつも普通の人ってどんな人だろうと思いながら生きてきました。結婚はしましたが、子ども 3 人が皆障がいを持っています。結局、離婚しましたけど。子ども達によく言っていますが、今の子ども達は幸せだよ。学校でも社会でも支援が手厚い。私たち、昔の時代は、学校でも家でも社会でも孤独。障がいをひたすら隠して生きてきました。大人の発達障がいでも苦しんでいる人が多いと思います。気軽に集まれる場所や相談が出来る方がおられるといいです。安心ですね。それからいつも子ども達（障がいを持っています）に支援して頂き、ありがとうございます。私、いつも感謝しています。私も今の時代に生まれたかった。自分に合った勉強がしたかったと思う気持ちが強いです。今の子ども達が羨ましい。
24	大社地域	女性	60代	精	本人	満足してます
25	斐川地域	男性	10代		本人以外	現在は、中学校にも短時間ではありますが、通えるようになりましたが、不登校の折には、様々なサービスを利用させていただき、感謝しております。利用はさせていただいていましたが、自分の勉強不足で出雲市の障がい者福祉についてよくわかっていない部分もありました。勉強会や交流会があるとありがたいと思いました。

番号	居住地域	性別	年齢	手帳	回答者	記載内容
26	斐川地域	男性	20代	療	本人以外	一昔前に比べれば、制度が整い、地域社会に支えていただきながら、子供を育てていくことができ感謝しています。今後は一つ一つの事業所が質を高め、家族と協力しながら障がい者の未来が穏やかで楽しいものになるようにと願って止みません。そのためのお力添えをどうかよろしくお願いいたします。
27	斐川地域	女性	30代	身/療	本人以外	いつも丁寧にかかわって下さり、感謝しています。強いて言えば・・・さらにユーザーの立場に立った施策やサービスの提供。介護者の高齢化に伴って生じる課題の解決。就学前後のつなぎ。
28	斐川地域	女性	50代	身	本人	いつもお世話になっております。ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。
29	斐川地域	女性	70代	身	—	出雲市のタクシー券は自由に使え、とてもありがたいです。自立の助けになりました。
30	—	—	—	身	—	地区で障がい者の会に入会しています。地区の障害者の会の会長を初め地区の子どもと一緒に年に数回程スポーツをしたり、出雲市での福祉大会に出席したりで相互のコミュニケーションを取って活動にその都度楽しい思いをして暮らしております。私は今年 85 歳になりますが毎日の生活をも会を通して元気に暮らしております。今後何年生きられるか数年よろしくお願いいたします。

地域生活支援拠点整備にかかる諸準備

～地域生活支援拠点整備プロジェクトチーム第3回会議結果から～

- 1 開催日時 令和元年11月27日（水）10：00～12：30
- 2 会場 市役所本庁舎3階 市民応接室
- 3 出席者 山本座長ほかプロジェクトチーム構成員
- 4 議 事

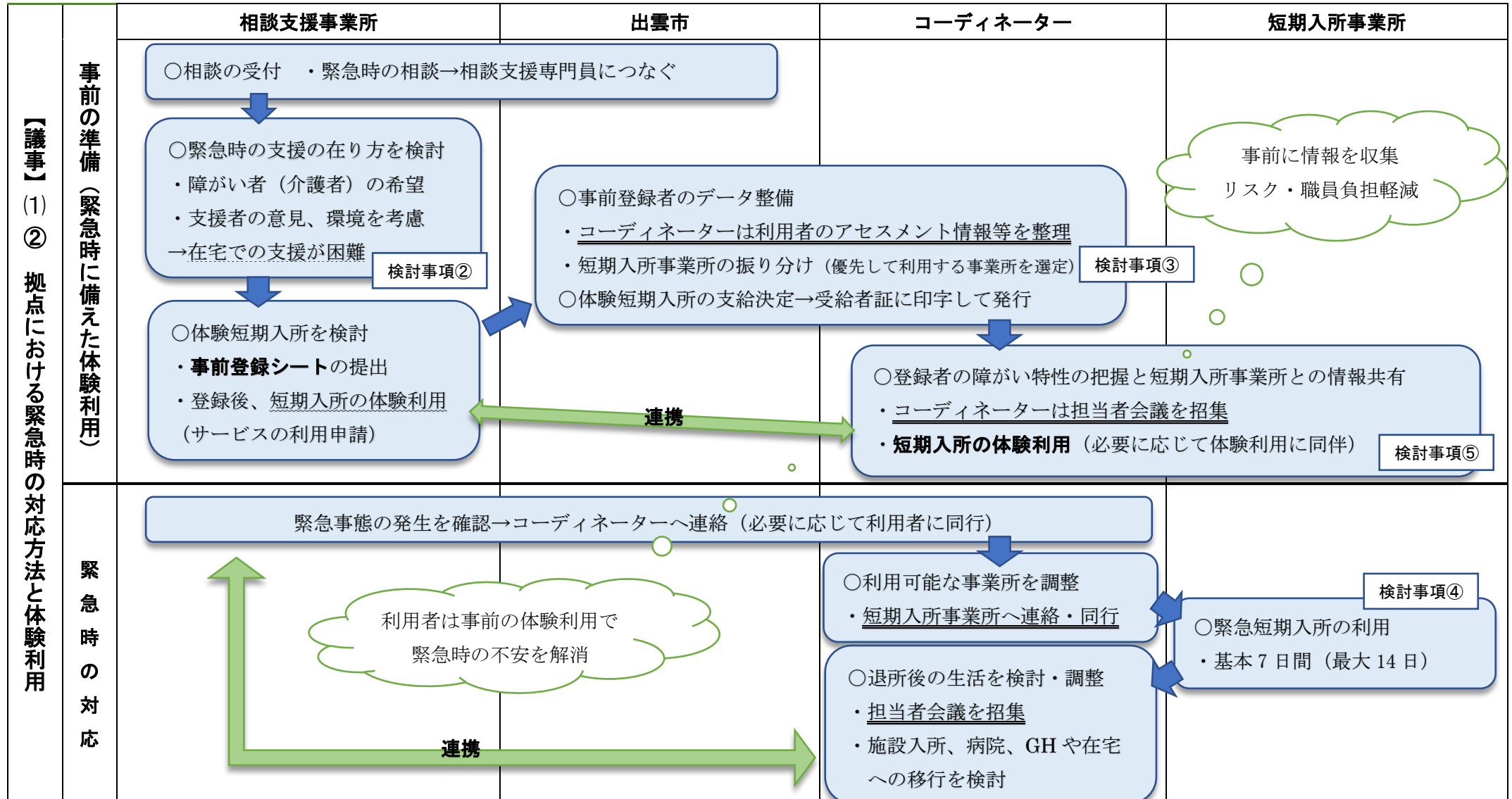
議 事	事務局案	構成員からの検討事項、意見
(1) ① 拠点における 緊急時の定義	親（介護者）の死亡・入院、緊急の不在により、急に通常の在宅生活を送ることが困難になった場合	検討事項① 一人暮らしの方の定義も検討
(1) ② 拠点における 緊急時の対応 方法と体験利用	・緊急時に備えた事前準備として、対象者の事前登録を行い、短期入所の体験利用を行う。 ・緊急時の受け皿として7日間を上限とする緊急短期入所の利用	検討事項② 事前登録者の定義が不明確なため、事前登録が必要かどうかの定義を明確にする。 検討事項③ 体験利用した事業所を緊急時に利用できない場合があるため、複数の短期入所事業所利用を勧める。断らない支援をするために短期入所事業所の輪番制も検討する。 検討事項④ 緊急短期入所の利用期間について、利用期間の上限よりも確実に短期入所後の支援を検討することが重要なため3日以内に担当者会議を開催するなどのルールを検討 検討事項⑤ 短期入所事業所において、通常の短期入所に加えて事前登録者の体験利用を受けるには、人員配置に係る支援が必要
(2) コーディネーターの役割	・事前登録者のアセスメント情報の整理 ・体験短期入所利用のための担当者会議の招集 ・緊急時の短期入所事業所の連絡と利用同行 ・退所後の生活を検討するための担当者会議の招集	意見 相談支援専門員が役割を担う方向で検討して欲しいが、個人ではなく、事業所に委託していく方向で調整してほしい。

5 今後の予定

- (1) じりつ専門部会等で検討：令和元年12月12日（木）、令和2年1月9日（木）
- (2) 第4回地域生活支援拠点プロジェクトチーム会議で協議：令和2年2月6日（水）
- (3) 令和元年度第3回出雲市障がい者施策推進協議会に報告：令和2年3月11日（月）

検討事項①

【議事】（１）① 拠点における緊急時の定義：親（介護者）の死亡・入院、緊急の不在により、急に通常の在宅生活を送ることが困難になった場合（※虐待は除く）



【議事】（２）コーディネーターの役割：表中、二重下線で表示

利用者基本情報 (愛知県知多圏域で作成されたシート:愛知県大府市から入手)

ふりがな			男 ・ 女	平成 年 月 日生(歳)	
氏名	(普段の呼び名)				
住所	〒 —		電話番号 (携帯電話)		
種別	☐ 知的 ☐ 精神 ☐ 身体 ☐ 発達 ☐ 高次脳		手帳	判定	
障がい名 または病名	知的障がい 自閉症		所属 (施設等)		
障がい 程度区分	区分 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 (18歳未満 児童区分 1 ・ 2 ・ 3)		障がい 基礎・更生 年金	生活保護	有 ・ 無

緊急 連絡先	日中 (: ~ :)	氏名 (続柄:)	電話番号
	夜間 (: ~ :)	氏名 (続柄:)	電話番号

かかりつけ の病院	医療機関名 診療科 主治医				
既往歴	過去2年間の入院 有・無 具体的に : 手術 (有 ・ 無)		現在の治 療内容		
てんかん 有 ・ 無	頻 度		アレルギー 有 ・ 無	誘 因	蕎麦・さば・たまご・牛乳・小麦粉 その他 禁忌食品等を具体的に:
	発作の様子			症状	
	誘因・兆候			程度	
	予後の対応 注意事項				
服薬	① 安定剤	(朝・昼・夕・寝る前)(食前・食間・食後)	平熱	℃	
	②	(朝・昼・夕・寝る前)(食前・食間・食後)	身長	cm	
	③	(朝・昼・夕・寝る前)(食前・食間・食後)	体重	kg	
	④	(朝・昼・夕・寝る前)(食前・食間・食後)	喫煙	有 (1日 本) ・ 無	
	⑤頓服薬	(どんな時 ・どれだけ)	飲酒	有 (1日 cc) ・ 無	
	⑥座薬	(どんな時 ・どれだけ)			
服薬についての注意事項: 服薬介助必要					
食事	ご飯量	※茶碗1杯(約150グラム)を「1」とした場合の量			
	食事形態 への配慮	要 (全て ・ 固い物のみ ・ 野菜のみ ・ 肉魚のみ) (一口大 ・ 粗刻み ・ 極きざみ ・ ペースト ・ 液体栄養食) ・ 不要 (とろみ剤 : 要 ・ 不要)			
	好きな 食べ物		苦手な 食べ物		
1日の 生活リズム	7:00 7:40 10:00 12:00 14:00 16:00 18:00 20:00 21:30 24:00				
	普段の生活で好きなこと、得意なこと。家庭での役割など。				

利 用 者 状 況 確 認 表

運動	麻痺 運動制限	無し	左上肢	右上肢	左下肢	右下肢	その他
	姿勢保持	座ることができない	手助けがあれば座っていることができる	独りで座っていることができる	つかまり立ちができる	独り立ちができる	片足立ちができる
	移 動	寝たきり	寝返りを打つことができる	這うことができる	つたい歩きができる	独りで歩くが走ることができない	普通に歩き走ることができる
	手の運動	両手ともに非常に不自由で物を取ることができない	片手は非常に不自由だが一方は物を取ることができる	両手ともやや不自由だが物は取ることができる	片手はやや不自由だが一方は普通に使うことができる	特に障がいはないが細かいことはできない	手は普通に使うことができる
コミュニケーション	表 出	泣き声のみ	赤ちゃん言葉が出る	片言の単語を言うことができる	いくつかの単語を言うことができる	二語文を言うことができる	日常会話ができる
	理 解	相手の言葉や表情が全く理解することができない	言葉や表情を少しは理解できる	単語と身振りから相手の意図を理解することができる	尋ねられたものを指すことができる	指示されたものを取ってくることができる	日常会話を理解することができる
身辺処理	① 排 泄	オムツを使用し、知らせることができない	体で知らせることができる	直前に知らせることができる	小便是独りでできるが大便は紙を使うことができない	大小便とも独りでできるがともに失敗する	大小便とも独りでできる
	② 食 事	独りで食べることができない	手づかみで食べる	スプーンを使うことはできるがよくこぼす	スプーンを使い、あまりこぼさずに食べることができる	握り箸でも独りで食べようとする	箸を使って普通に食べることができる
	③ 着脱衣	全くできない	手助けに対して協力しようとする	簡単なものは自分で脱ぐことができる	少し介助すれば着ることができる	ほぼ独りで着ることができるが後の点検が必要	着脱ともに独りでできる
	④ 入 浴	独りで浴槽に浸かっていることができない	浴槽に浸かっているが洗うことができない	手足をなんとか洗うことができる	身体の前面を洗うことができる	背中を洗うことはできるが頭は洗うことができない	全部独りで洗うことができる
	⑤ 洗 面	全くできない	手で水をすくうが顔へ持っていくことができない	手を顔に持っていきがこすることができない	部分的に洗うことができる	ほぼ独りで洗うことができるが拭くことができない	独りで洗い、拭くことができる
	⑥ 歯磨き	全くできない	歯ブラシを持つことはできる	歯ブラシを口に入れることはできるが動かすことができない	前歯をなんとか磨くことができる	不十分ではあるが奥歯も磨くことができる	独りで全部磨くことができる
	⑦ 生 理 (有・無)	独りで処理することができない	知らせることはできないが支援には協力する	知らせることはできる	独りで処理しようとするが失敗が多い	独りで処理できるが時に点検を必要とする	独りできちんと処理することができる
	⑧ 就 寝	寝返りの支援や就寝中に起きることがある等、常時支援が必要	寝返りの支援や就寝中に起きることがある等、見守り程度の支援が必要	エアマットや服薬等で見守り程度の支援で就寝することができる	エアマットや服薬等で就寝中の支援は必要ない	ほぼ独りでできるが就寝・起床の声かけが必要	独りで準備し、就寝・起床することができる
夜間・睡眠	(1) 外出先でも熟睡できる (2) 自宅以外では眠れない時がある (3) 昼夜逆転等、睡眠障害がある						
特別な医療	人工呼吸器	気管切開	ストマ	胃瘻	褥瘡	その他	
生 活 活 動	(1) 集団生活可能 (2) 家族以外にも馴染みやすい (3) 家族以外には馴染まない						
	好きな事や楽しみ (1)音楽・カラオケ (2)テレビ観賞 (3)散歩 (5)ドライブ (6)絵画 (7)読書・マンガ						
歩行介助	有・無	介助の様子					
夜 尿	有・無	(1) 夜尿起こし 要 _____ 回 _____ 時ごろ ・ 不要 (2) 寝具などの対応(夜尿シート) 要 ・ 不要 (3) オムツ・パッド 使用 ・ 不使用					
他 害 (対人・対物)	有・無	要因と対応					
多 動 こ だ わ り	有・無	こだわりの対象・その時の様子・対応					
パニック	有・無	要因と対応・予後					
不安行動 (幻聴・妄想等)	有・無	その時の様子と対応					
離設 (エスケープ等)	有・無	どこに向かうか 対応方法					